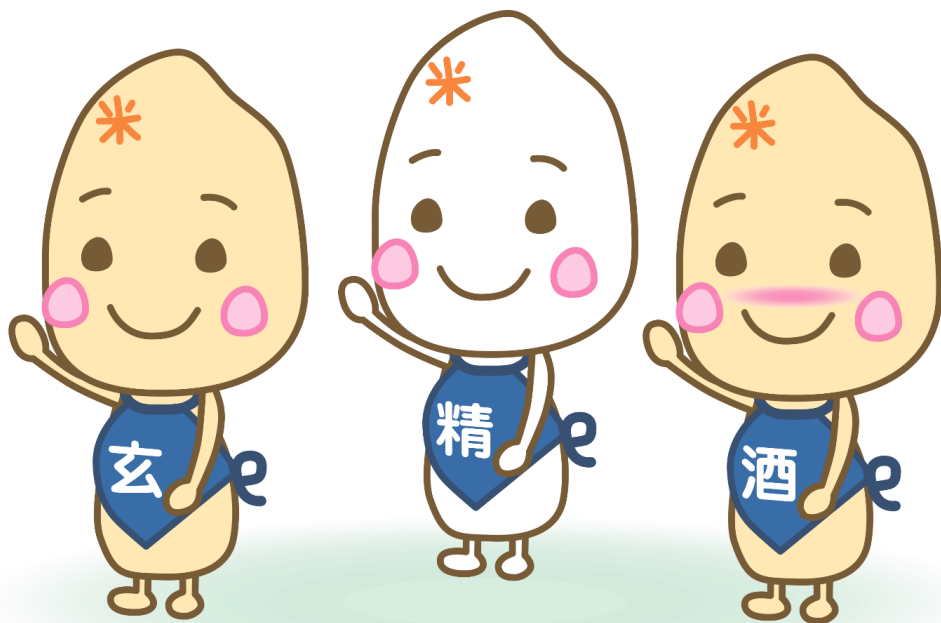


取扱説明書

米品質管理データベースソフト

2 x64 / 2+ x64

RQCD100 / 100(+)






＜警告用語の種類と意味＞

作業者への危険および財産の損害防止の注意を呼びかけるために、次の 2 つの方法で警告します。

- (1) 取扱説明書への警告文の記載
- (2) 本製品上への警告ラベル貼付

警告文および警告ラベルは、誤った取り扱いをした場合に生じる危険や損害の程度を区分して説明しています。

警告用語の区分と定義を理解し、その内容（指示）に従ってください。

区 分	定 義
 危 険	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険がある内容を示しています。
 警 告	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注 意	この標示に従わなかった場合、人がけがを負う可能性がある内容を示しています。

その他の標示	定 義
<u>取扱注意</u>	この標示に従わなかった場合、本製品の損傷や故障、または原料の損傷が生じる可能性がある内容を示しています。
<u>補 足</u>	使用上役立つ補足説明を示します。

重要なお知らせ

本製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

1. 本製品を安全に使用していただくための事項

警 告

- (1) この取扱説明書を読み、理解するまでは本ソフトウェア及び機器の操作および保守・点検を行わないでください。
- (2) この取扱説明書は本ソフトウェア及び機器の操作を行う場合に、いつでも調べられるよう大切に保管してください。
- (3) 本ソフトウェア及び機器の操作および保守・点検を行う場合は、必ずこの取扱説明書の指示・注意に従ってください。もし、疑問点や不明な点がある場合には、最寄りの営業所に問い合わせるまで、作業を進めないでください。
- (4) 事故を防止するため、本来の意図された以外の利用や、この取扱説明書に記載している以外の運転、清掃および保守・点検作業はしないでください。
- (5) この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、怪我や損害が発生しても、株式会社サタケは一切その責任を負いません。

2. 取扱説明書に関する事項

警 告

- (1) 本書は日本語を母国語とする人を対象に作成しています。
日本語を母国語としない人に操作をさせる場合は、お客様の責任で作業者に、本書に記載された警告の内容および操作方法を説明し、理解させてください。
- (2) 本製品を譲渡される場合は、次の所有者に本書を必ず渡してください。
- (3) 本書はいつでも調べられるよう大切に保管してください。
本書を紛失・損傷した場合、速やかに巻末の「緊急時の連絡先」に発注してください。
- (4) 本書の内容について万一ご不明な点や誤りなどお気づきの点や、ご質問がございましたら、巻末の「緊急時の連絡先」にご連絡ください。

補 足

- (1) 本書に記載されているイラストや表示は、見やすくするための誇張や省略などがあり実際とは異なる場合があります。
- (2) 本書において、万一、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたします。お手数ですが、巻末の「緊急時の連絡先」までご連絡ください。
なお、その際は本製品名称も合わせてご連絡ください。

ご使用前に

1. 許諾事項及び禁止事項

本使用許諾契約の対象となるソフトウェア(以下、単に「本ソフトウェア」といいます)は、サタケ及び本ソフトウェアの使用許諾権者の所有物であり、著作権法によって保護されています。サタケは本ソフトウェアの所有権を引き続き保持しますが、本使用許諾契約に同意したお客様に、本ソフトウェアの一定の使用権を設定します。本使用許諾契約が許諾補遺条項によって修正される場合を除き、設定される本ソフトウェアの使用権は以下の通りです。

＜許諾事項＞

- (1) 本ソフトウェアのコピーを一つだけ、一台のパソコンで使用する。
- (2) 本ソフトウェアをネットワーク上で使用すること。ただし、ネットワークを介して本ソフトウェアを使用出来る全てのパソコンが、本ソフトウェアの使用を正式に許可されている場合に限りします。
- (3) サタケに対する書面による通知の後、本ソフトウェアを他人(法人を含む)に永久的に譲渡すること、ただし譲り受け人が本使用許諾契約に同意した場合に限りします。

＜禁止事項＞

- (1) 本ソフトウェアに附属しているマニュアルなどの文書をコピーすること。
- (2) 本ソフトウェアの一部または全部を問わず、再使用許諾、貸与、または、リースをすること。リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、翻訳、または、本ソフトウェアのソースコードを調べる行為、もしくは、本ソフトウェアから派生品を制作すること。本ソフトウェアのバージョンアップ用の記録媒体または以前のバージョンとそっくり置き換えられる新バージョンを受け取った場合に、その後も本ソフトウェアの以前のバージョンまたはそのコピーを使用すること。ただし、以前のバージョンを何らかの慈善団体に寄付する場合で、その慈善団体が寄贈された製品の唯一のエンド・ユーザーになること、および本使用許諾契約に従うことに書面によって同意している場合は、この限りではありません。本ソフトウェアのバージョンアップの際に、以前のバージョンをこのような方法で寄贈しないかぎり、以前のバージョンの全てのコピーは破棄しなければなりません。
- (3) 本ソフトウェアに付属のプロテクトキー（USBメモリ）の警告シールを剥ぎ取ってはけません。また警告シールを剥ぎ取り、ライトプロテクトスイッチをOFFに切り替えてはけません。警告シールが剥がされた場合には保証を受けることが出来ません。



シールは剥がさないでください。

2. 保障

この保証内容に違反する事態が生じた場合、お客様の唯一の救済方法として、サタケは保証期間内に返送を受けた瑕疵のある媒体の代品を提供するか、本ソフトウェアのご購入代金の払い戻しをいたします。ただし、どちらの方法を採るかはサタケが決定するものとします。サタケは本ソフトウェアがお客様の要望にかなうものであること、本ソフトウェアの操作に障害が発生しないこと、及び、本ソフトウェアの内容に誤りがないことを保証するものでもありません。

3. 損害賠償の免責

本書記載の救済方法によりその目的が達成できるかどうかにかかわらず、サタケは、特別損害、偶発的損害、間接損害、または、これに類似する損害に対する一切の責任を負いません。そのような損害には、本ソフトウェアの使用またはその使用不能により生じたお客様の得べかりし利益の喪失やデータ消失も含まれます。そのような損害が生じる可能性についてサタケが以前から警告を受けていたとしても、損害に対する責任をサタケが負うことはありません。

国によっては、上記のような偶発的、間接的な損害に対する責任の限定または免除を認めていないことがあります。お客様がそのような国にお住まいの場合は、上記の責任限定・免責規定は適用されないことがあります。

いかなる場合にせよ、サタケの賠償責任が、本ソフトウェアのご購入代金を超えることはありません。上記の責任限定・免責規定は、お客様が本ソフトウェアを返品するか否かにかかわらず適用されます。

目 次

警告用語の種類と意味.....	i
重要なお知らせ	ii
保証とアフターサービス	iii
1 インストール・アンインストール.....	1
1.1 はじめに.....	1
1.2 インストールの方法と設定	2
1.2.1 インストール手順の確認.....	2
1.2.2 最新バージョンの確認	2
1.2.3 旧バージョンのアンインストール (バージョンアップ時).....	3
1.2.4 米品質管理データベースソフト 2 / 2+のインストール.....	3
1.2.5 アクセスデータベースエンジンのインストール	6
1.2.6 穀粒判別器 USB 通信ドライバのインストール	8
1.2.7 穀粒判別器通信用 IP アドレスの設定	12
1.2.8 米鑑定ユニット通信用 IP アドレスの設定	14
1.2.9 USB シリアルコンバータードライバのインストール.....	16
1.3 アンインストールの方法について	17
1.3.1 米品質管理データベースソフト 2 / 2+のアンインストール.....	17
1.3.2 アクセスデータベースエンジンのアンインストール	17
1.3.3 USB シリアルコンバータードライバのアンインストール	17
2 ソフトウェアの起動と画面選択.....	18
2.1 データコンバート.....	18
2.2 ソフトウェアの起動	19
2.3 各種測定画面.....	20
3 運転前の設定	21
3.1 穀粒判別器シリアル通信設定	21
3.2 穀粒判別器本体の通信設定変更	22
3.3 米鑑定ユニット通信設定 (2+の場合)	23
3.4 米粒食味計シリアル通信設定	25
3.5 米粒食味計本体の通信設定変更	27
4 設定画面の操作	28
4.1 設定画面の表示	28
4.2 表示設定 1.....	29
4.2.1 自由項目の検索設定.....	30

4.2.2 穀粒判別器の表示設定	31
4.3 表示設定 2.....	32
4.3.1 食味計の表示項目及び名称変更	33
4.3.2 米鑑定ユニットの表示項目	34
4.3.3 QR コードの表示と表示項目	35
4.4 印刷設定.....	43
4.4.1 一覧印刷設定	44
4.5 マスタ設定	45
4.5.1 マスタ編集欄	46
4.5.2 CSV 取り込み	47
4.6 通信設定.....	49
4.7 保存設定.....	50
4.7.1 データベースの移動.....	51
4.7.2 データベースの読込フォルダの変更	52
4.7.3 CSV 個別データの保存	53
4.7.4 QR コード画像保存	55
5 保守画面の操作	57
5.1 保守画面の表示	57
5.2 測定データ読込み.....	58
5.3 マスターデータ移動	59
5.4 マスターデータ読込み.....	60
5.5 バックアップ.....	61
6 測定画面の操作	62
6.1 測定方法について.....	62
6.2 測定結果画面.....	65
6.3 QR コードの表示ボタン.....	67
6.4 履歴移動ボタン	68
6.5 サンプル詳細欄	69
6.5.1 サンプル詳細	70
6.5.2 穀粒判別器設定／米鑑定ユニット設定	72
6.6 画像表示について.....	77
6.6.1 受信画像の表示.....	77
6.6.2 画像表示の機能.....	78
6.7 印刷(単票印刷について	82
7 一覧画面の操作	84
7.1 一覧画面.....	85
7.1.1 測定データの選択方法	86

7.1.2 一覧項目の表示設定	87
7.2 検索設定	88
7.3 画像表示	90
7.4 印刷	91
7.5 CSV 出力	92
7.5.1 CSV 出力設定	94
7.6 分布グラフ	96
7.6.1 分布グラフ画面	96
7.6.2 分布グラフの操作	97
7.7 粒選シミュレータ	98
7.7.1 表示方法	98
7.7.2 粒選シミュレータ画面	99
7.8 データ削除	102
7.9 データ出力	103
8 測定分類について	104
8.1 うるち玄米の測定分類	104
8.2 うるち精米の測定分類	105
8.3 醸造用玄米の測定分類	105
9 困ったときには (Q & A)	106

1 インストール・アンインストール

1.1 はじめに

米品質管理データベースソフト2及び 米品質管理データベースソフト2+は以下機器を操作するためのソフトウェアです。購入された商品がどちらのタイプかお確かめの上、手順書をご確認ください。

品 名	型 式	接続可能機器
米品質管理データベースソフト2	RQCD100	<ul style="list-style-type: none"> ・穀粒判別器(RGQI100 型) ・米粒食味計
米品質管理データベースソフト2+	RQCD100(+)	<ul style="list-style-type: none"> ・穀粒判別器(RGQI100 型) ・米粒食味計 ・米鑑定ユニット

※上記ソフトは Windows10、11 の 64 ビット用です。

本製品をご利用いただく上で必要となる以下のソフトウェアを順にインストールします。

- (1) 米品質管理データベースソフト2 / 2+
- (2) アクセスデータベースエンジン
- (3) 穀粒判別器 USB ドライバー
- (4) 米粒食味計通信用 UC232A ドライバー

取扱注意

ソフトウェアは必ず本書の手順に従ってインストールしてください。

- ソフトウェアをインストールする場合、管理者権限のあるユーザー(Administrators 権限)でログオンする必要があります。
- パソコンの再起動の指示が表示された場合、再起動を行ってください。
- ソフトウェアのインストールを行う場合、起動中の他のソフトウェアを終了させてください。
- セキュリティの関係でインストール出来ない場合は貴社システム部門に確認してください。

※ パソコン・OS の違いにより画面が本書と異なることがございますがご了承ください。

1.2 インストールの方法と設定

1.2.1 インストール手順の確認

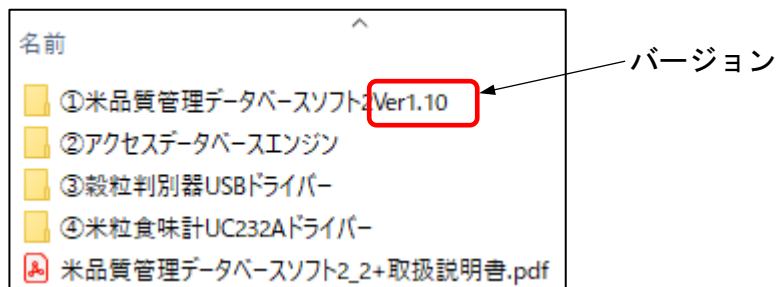
- (1) 本ソフトウェアパッケージに付属の USB メモリをパソコンに接続してください。

※ USB メモリの中にインストーラーと取扱説明書が保存されています。

また USB メモリはソフトウェアのプロテクトキーの機能を有しています。

プロテクトキー： USB メモリがパソコンに接続されている場合に本ソフトウェアが動作します。

- (2) USB メモリの中身をエクスプローラーで開きます。



- (3) 本ソフトウェアのバージョン(Ver○.○○)を確認します。

- (4) USB メモリ内の『米品質管理データベースソフト 2_2+取扱説明書.pdf』の手順に従い、本ソフトウェア及びドライバーをインストールします。

1.2.2 最新バージョンの確認

- (1) サタケホームページにて、米品質管理データベースソフト 2 もしくは米品質管理データベースソフト 2+の最新バージョンが公開されていないか確認します。

(※インターネット接続が必須です。)

<https://satake-japan.co.jp/support/download.html>

- (2) ホームページに公開されているバージョンの方が新しい場合はそちらをダウンロードしてください。ダウンロードした後に解凍し、フォルダの中身を開いてください。



USB メモリの中身と同じ構成になっています。

1.2.3 旧バージョンのアンインストール (バージョンアップ時)

新規インストールの場合は P3「1.2.4 米品質管理データベースソフト 2 / 2+のインストール」へ進みます。旧バージョンがインストールされている場合はアンインストールを行います。下記の手順に従って旧バージョンのアンインストールを行ってください。

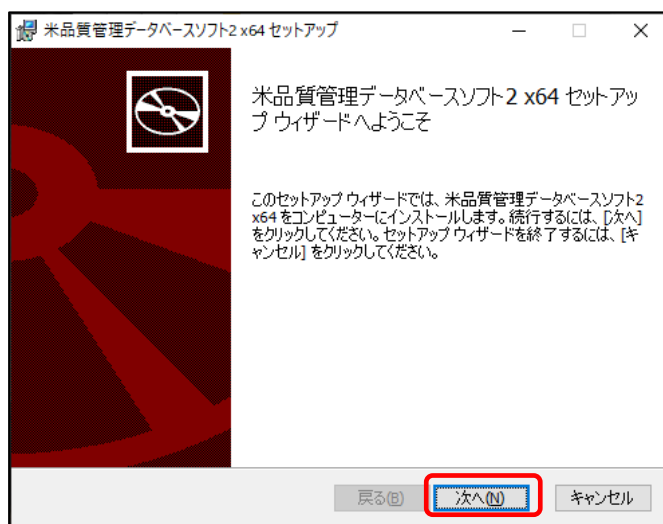
※ バージョンアップ前のデータは、保存先を変更せずにインストールすれば引き継がれます。

- (1) 「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」もしくは「アプリと機能」を開きます。
- (2) 「米品質管理データベースソフト 2」もしくは「米品質管理データベースソフト 2+」を選択して、アンインストールを行います。

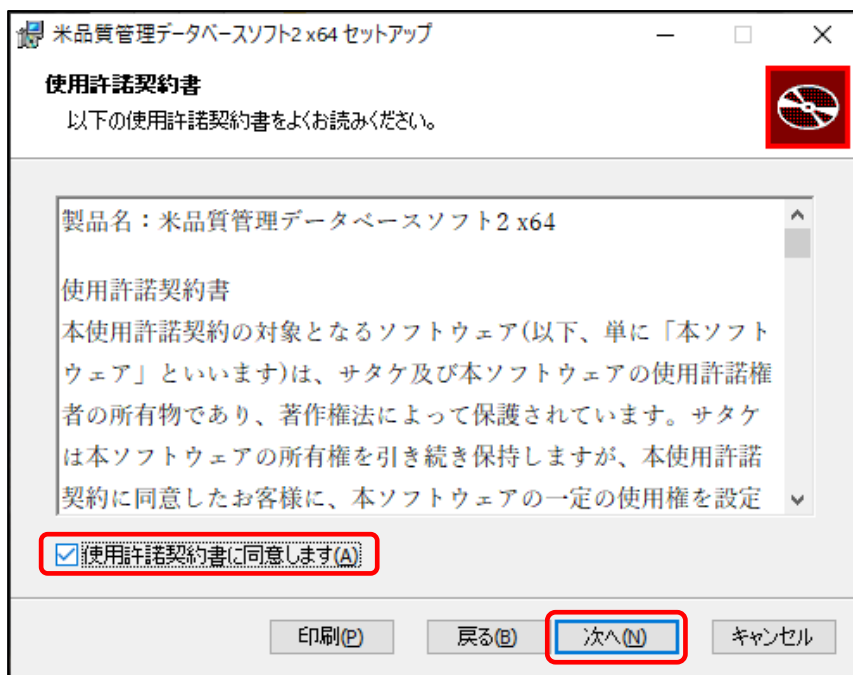


1.2.4 米品質管理データベースソフト 2 / 2+のインストール

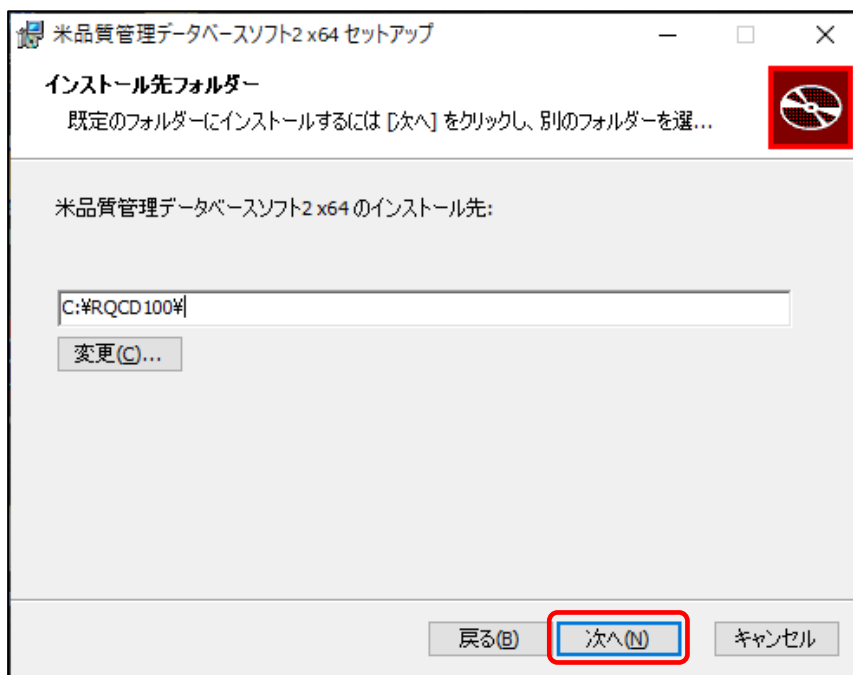
- (1) 「米品質管理データベースソフト 2 / 2+」 ソフトウェアをインストールします。USBメモリ内の「①米品質管理データベースソフト 2/2+Ver〇.〇〇」 - 「setup.msi」 をダブルクリックして実行します。
- (2) 「次へ(N)」 をクリックします。



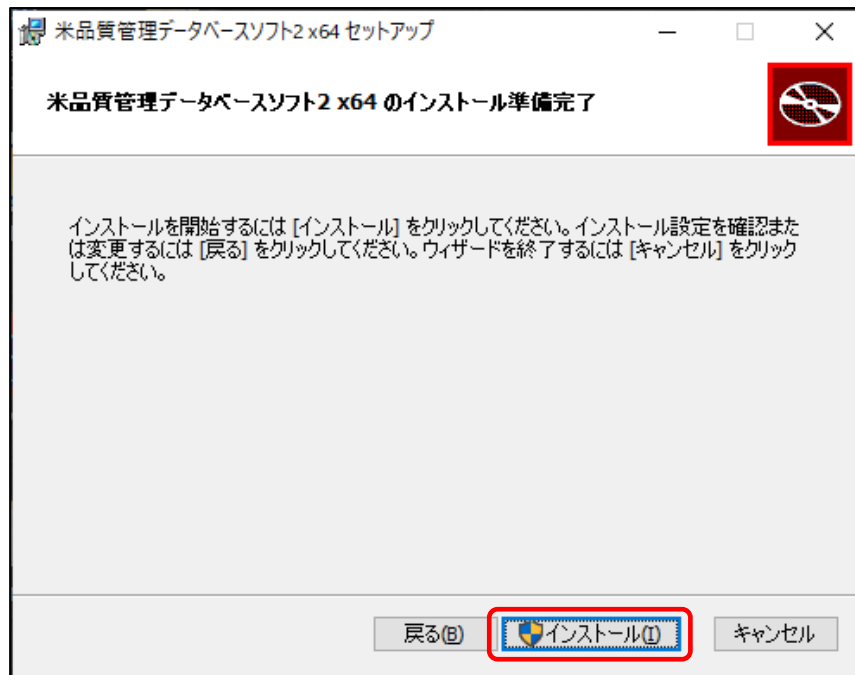
- (3) 使用許諾契約書の確認を行い、「使用許諾契約書に同意します(A)」にチェックを入れて「次へ(N)」をクリックします。



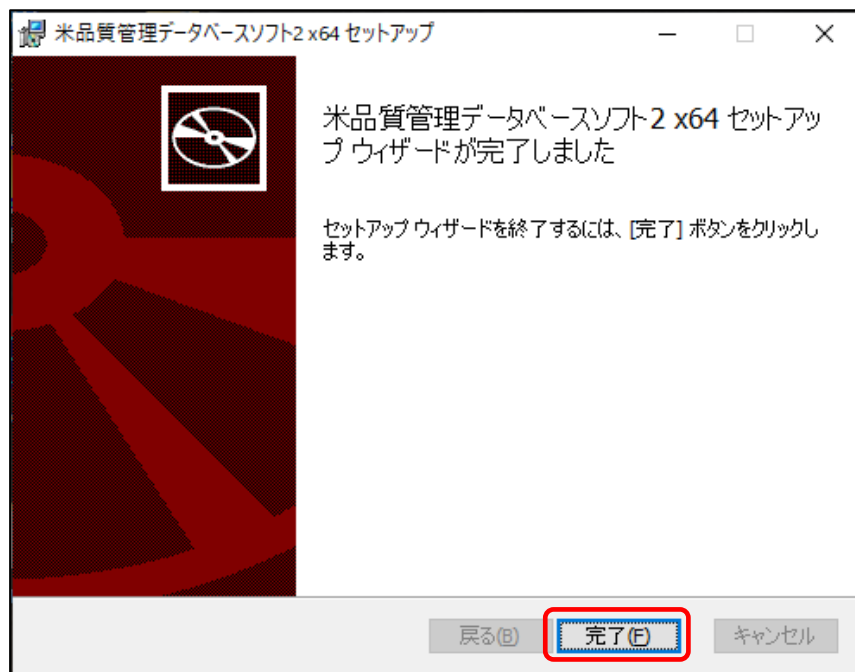
- (4) 通常はCドライブのRQCD100フォルダにインストールするように設定されています。ドライブを確認し問題がなければ「次へ(N)」をクリックします。※インストール先は変更せずにインストールすることをお勧めします。



- (5) 「インストール(I)」 をクリックします。



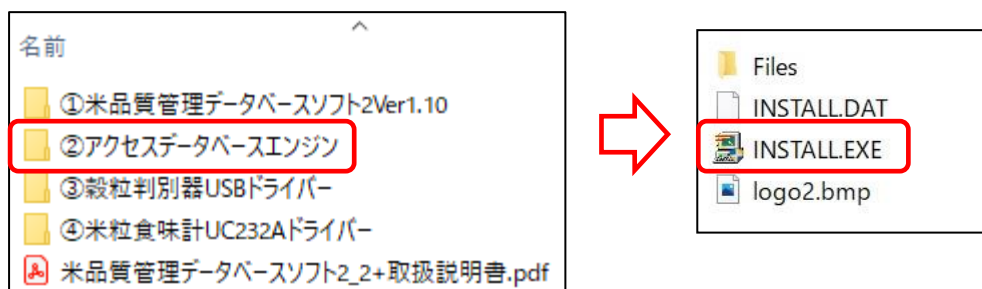
- (6) 「完了(F)」 をクリックします。本ソフトウェアのインストールは完了です。



1.2.5 アクセスデータベースエンジンのインストール

新規インストールの場合は、アクセスデータベースエンジンもインストールを行ってください。バージョンアップの場合は不要です。Microsoft Access のデータベースを使用するのに必要なソフトウェアになります。

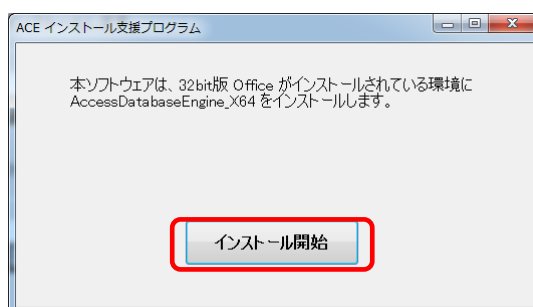
- (1) USB メモリ内の「②アクセスデータベースエンジン」－「INSTALL.EXE」をダブルクリックします。



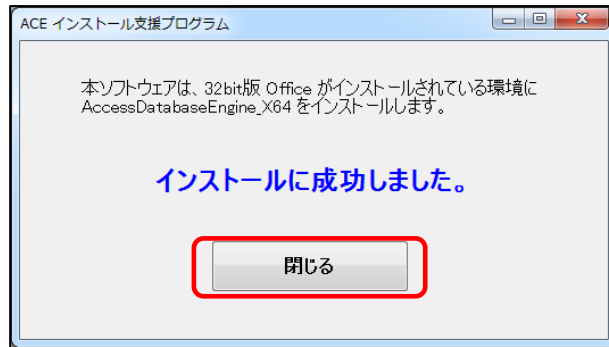
- (2) デスクトップに出来たアイコン「米品質管理 DB エンジンインストール」をダブルクリックします。



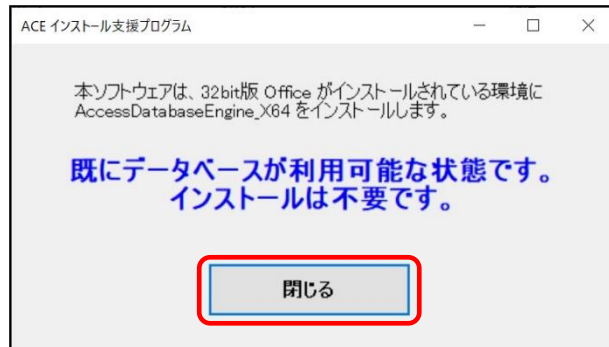
- (3) 「インストール開始」をクリックします。



- (4) インストール完了後、「閉じる」をクリックします。インストール完了後は「米品質管理 DB エンジンを実インストール」アイコンを削除しても構いません。



下記の画面が出た場合は、既にインストール済みのため、「閉じる」をクリックして、次のステップに進んでください。



1.2.6 穀粒判別器 USB 通信ドライバーのインストール

※ 穀粒判別器と接続する場合に行います。新規インストールの場合は、このドライバーのインストールも行ってください。バージョンアップの場合は不要です。

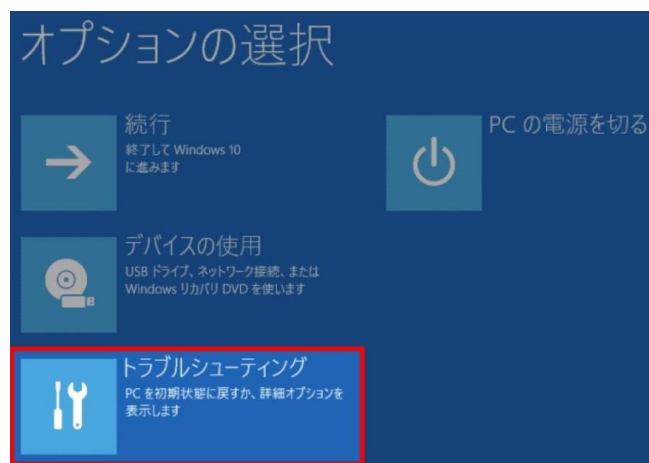
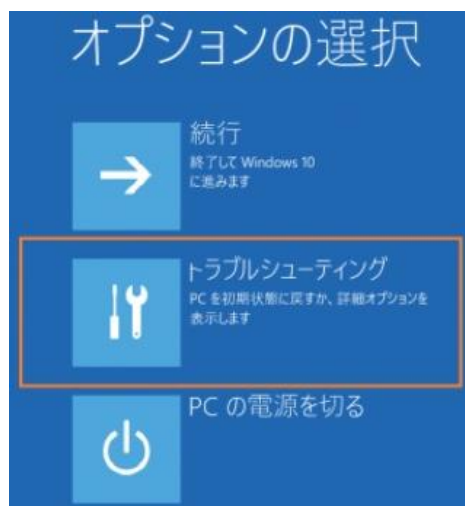
- (1) 穀粒判別器とパソコンを USB ケーブルで接続します。



- (2) 『デジタル署名の無効化』を行います。

※無効化を行わないとドライバーがインストール出来ません。下記画面と選択項目が異なり進め方がわからない場合、使用する OS 名と『デジタル署名の無効化』でインターネット検索を行ってください。OS のバージョンにより画面が異なる可能性があります。

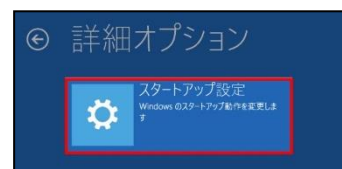
- 1) Shift キーを押しながら、Windows の「再起動」をクリックします。
- 2) オプションの選択画面が出るので「トラブルシューティング」をクリックします。



- 3) 「詳細オプション」をクリックします。



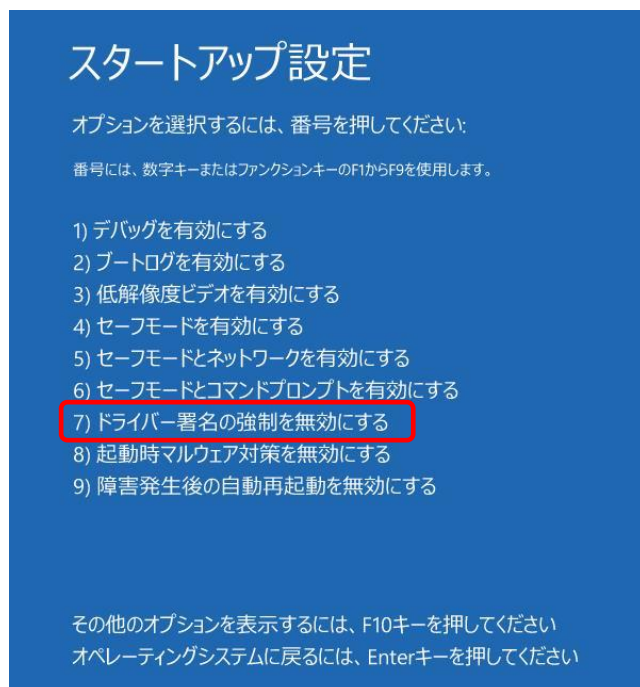
- 4) 「スタートアップ設定」をクリックします。「スタートアップ設定」がない場合、「その他の修復オプションを表示」をクリックします。



- 5) 「再起動」をクリックします。



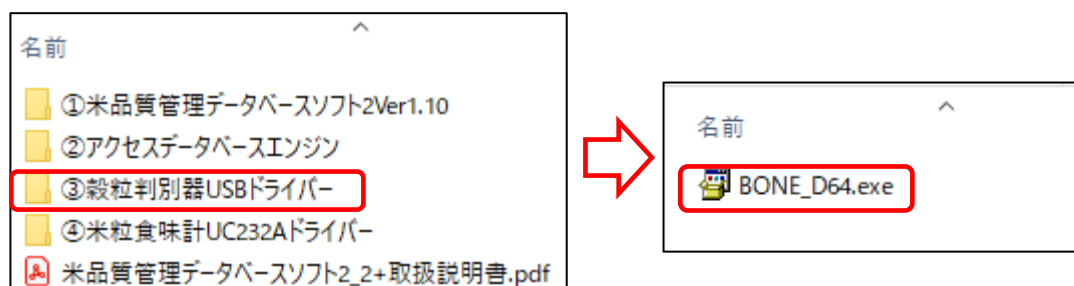
- 6) 「7」もしくは「F7」を押します。(ドライバー署名の強制を無効にする)



- 7) スタートアップ設定起動時に「BitLocker 回復キー」を要求されることがあります。その場合は、「BitLocker 回復キー」を入力してください。わからない場合は、マイクロソフトアカウントから確認するか、パソコンの管理部門に確認するようにしてください。



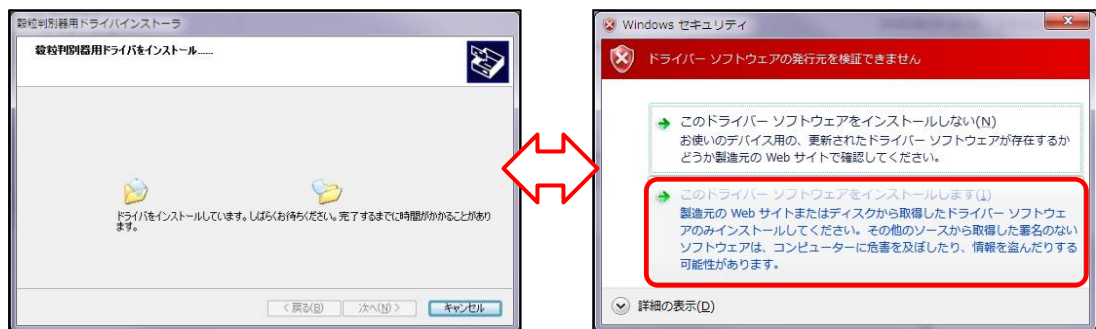
- (3) 穀粒判別器の USB 通信ドライバーをインストールします。USB メモリ内の「③穀粒判別器 USB ドライバー」 > 「BONE_D64.exe」をダブルクリックして実行します。



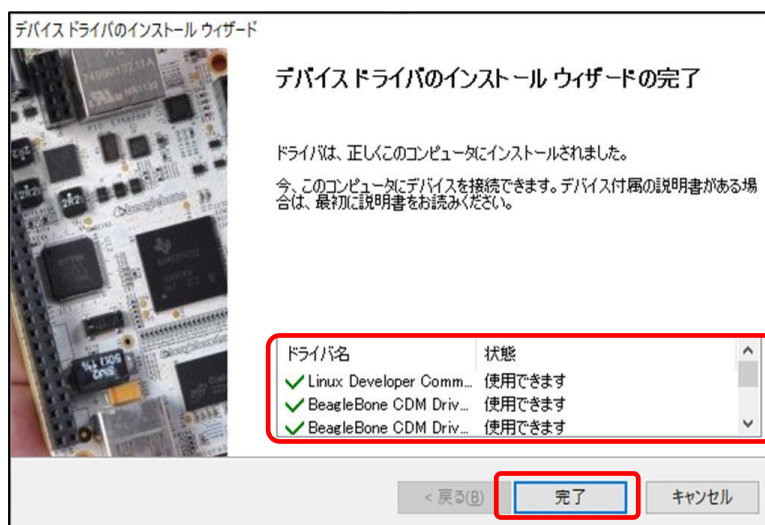
- (4) 「次へ(N)>」をクリックします。



- (5) 「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」が数回出るので、全て「このドライバーソフトウェアをインストールします(I)」をクリックします。



- (6) 全ての項目の『状態』が『使用できます』になっていれば完了です。



1.2.7 穀粒判別器通信用 IP アドレスの設定

※ 穀粒判別器と接続する場合に行います。

穀粒判別器をパソコンと USB ケーブルで接続してから行ってください。

- (1) 「コントロールパネル」の「ネットワークとインターネット」の「ネットワーク接続」を開きます。



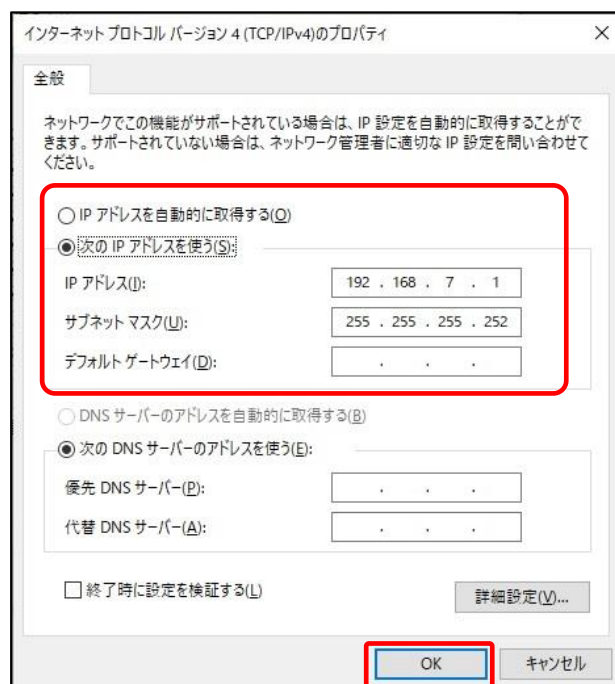
- (2) 「Linux USB Ethernet/RNDIS Gadget」と書かれているネットワークをダブルクリックで開きます。
- (3) 「プロパティ」をクリックします。



- (4) 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」をダブルクリックで開きます。



- (5) 「次の IP アドレスを使う(S)」にチェックを入れます。
「IP アドレス」に「192.168.7.1」と入力します。
「サブネットマスク」に「255.255.255.252」と入力します。
「OK」をクリックで設定は完了です。

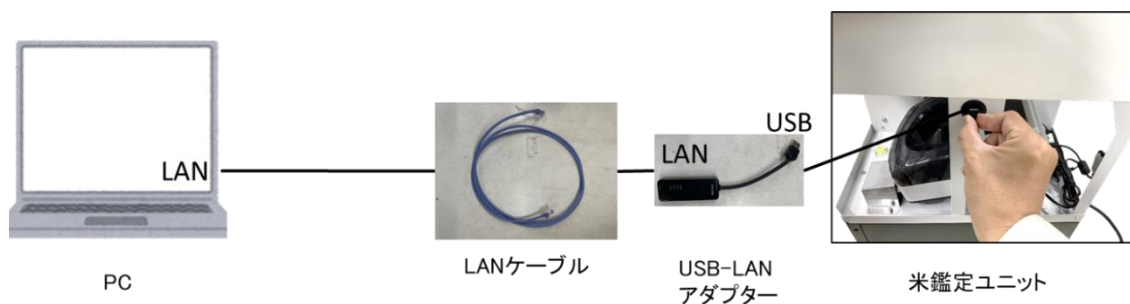


1.2.8 米鑑定ユニット通信用 IP アドレスの設定

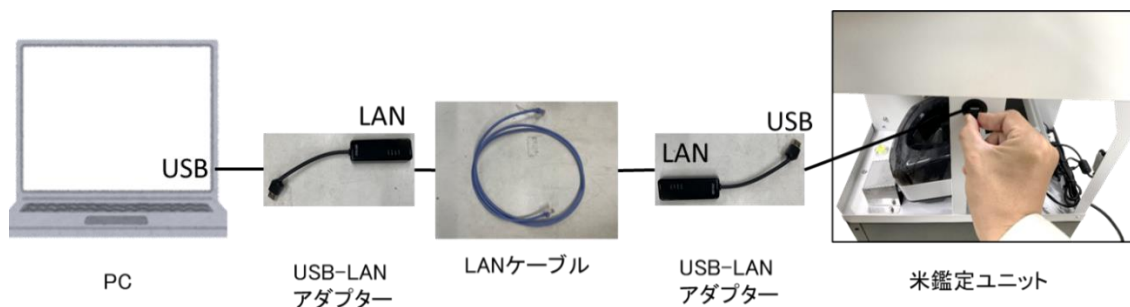
※ 米品質管理データベースソフト 2+をご使用で、米鑑定ユニットと接続する場合に行います。

(1) 米鑑定ユニットとパソコンとの電源を入れ、下記のように接続してから行ってください。

1) パソコンに LAN 端子がある場合

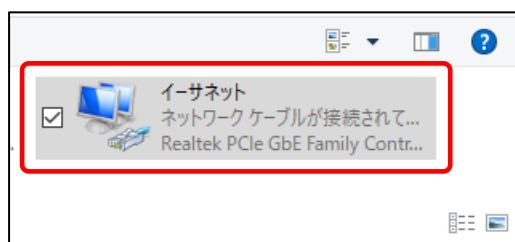


2) 2 パソコンに LAN 端子がない場合



(2) 「コントロールパネル」の「ネットワークとインターネット」の「ネットワーク接続」を開きます。

パソコンに LAN 端子がある場合

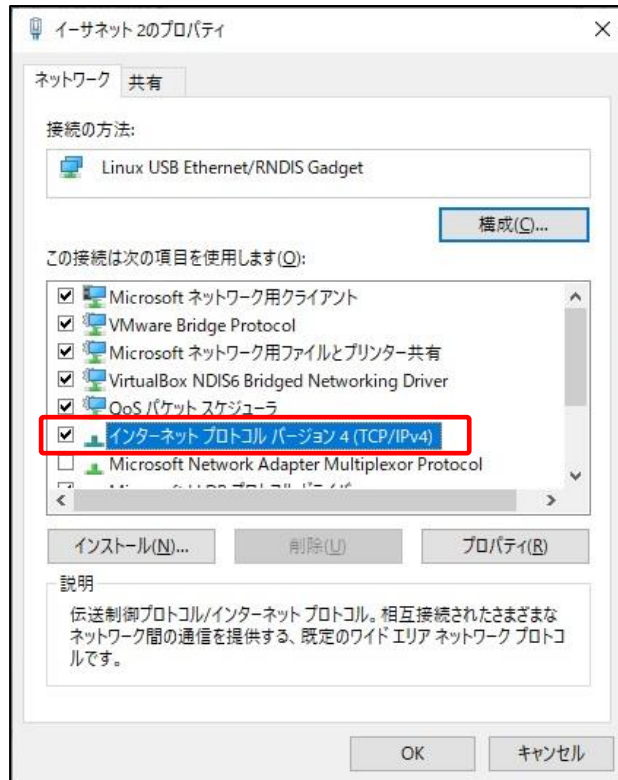


パソコンに LAN 端子がない場合

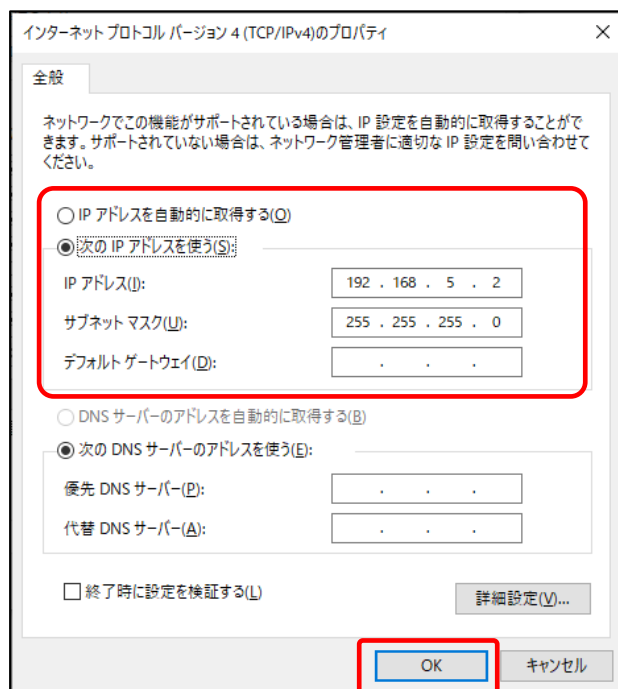


(3) 「Realtek PCIe GbE Family…」、または「ASIX AX88179 USB 3.0 to Gigabit…」と書かれているネットワークをダブルクリックで開きます。

- (4) 「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」をダブルクリックで開きます。



- (5) 「次の IP アドレスを使う(S)」にチェックを入れます。
「IP アドレス」に「192.168.5.2」と入力します。
「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。
「OK」をクリックで設定は完了です。



1.2.9 USB シリアルコンバータードライバーのインストール

※ 米粒食味計と接続する場合に行います。

新規インストールの場合はこのドライバーもインストールを行ってください。

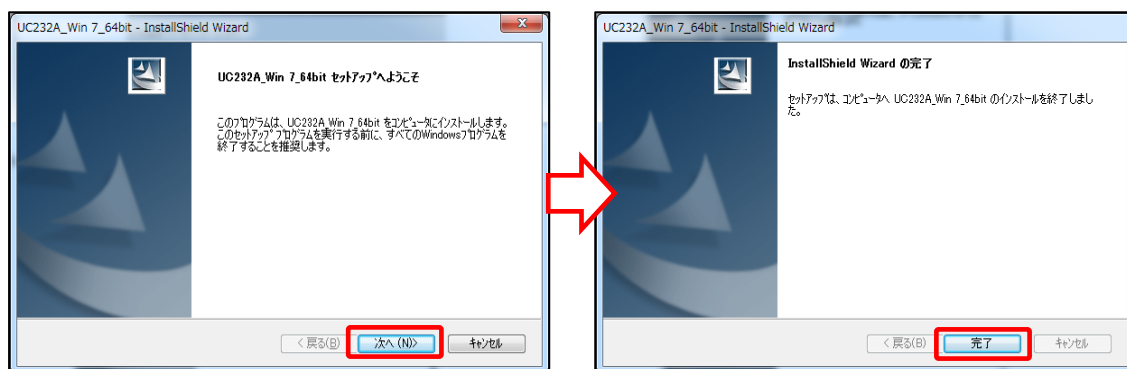
バージョンアップの場合は不要です。

ATEN 社製 USB シリアルコンバーターUC-232A をお使いのお客様はインストールしてください。ATEN 社 HP から最新版をダウンロードすることも可能です。

- (1) USB メモリ内の「④米粒食味計 UC232A ドライバー」>「UC232A_Windows_setup.exe」をダブルクリックします。



- (2) 『次へ(N)>』をクリックし、インストールが完了したら『完了』をクリックします。



1.3 アンインストールの方法について

1.3.1 米品質管理データベースソフト 2 / 2+のアンインストール

- (1) 「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」もしくは「アプリと機能」を開きます。
- (2) 「米品質管理データベースソフト 2」もしくは「米品質管理データベースソフト 2+」を選択して、アンインストールを行います。



1.3.2 アクセスデータベースエンジンのアンインストール

- (1) 「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」もしくは「アプリと機能」を開きます。
- (2) 「米品質管理データベースエンジン」を選択して、アンインストールを行います。
- (3) 「Microsoft Access database engine 2010」を選択して、アンインストールを行います。

1.3.3 USB シリアルコンバータードライバのアンインストール

- (1) 「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」もしくは「アプリと機能」を開きます。
- (2) 「UC232A_Win○_64bit」を選択してアンインストールを行います。

2 ソフトウェアの起動と画面選択

米品質管理データベースソフト 2 / 2+（以下「本ソフトウェア」）の起動と画面選択について説明します。本ソフトウェアを起動するには、付属の USB メモリ をパソコンに接続しておく必要があります。

2.1 データコンバート

新規インストールの場合は P19「2.2 ソフトウェアの起動」に進みます。

デスクトップ上にある「サタケ米品質管理データベースソフト 2」または「サタケ米品質管理データベースソフト 2+」ショートカットアイコンをダブルクリックするか、スタートメニュー内にある同アイコンをクリックすると本ソフトウェアが起動します。

ソフトウェアバージョン 1.02 以下から 1.10 以上にバージョンアップした場合、起動時に旧バージョンのデータが存在すると新しいデータベースへの変換が行われます。

※ 変換前には必ずデータのバックアップを取るようにしてください。

（インストール先を変更していない場合は、C:¥RQCD100¥DATA フォルダを丸ごとコピーしてバックアップとして退避させてください。⇒DATA フォルダにマスタと全ての測定データが保存されています。）

- (1) 『開始』をクリックします。



- (2) 『アップデートが完了しました』が表示されたら『閉じる』をクリックします。



2.2 ソフトウェアの起動

デスクトップ上にある「サタケ米品質管理データベースソフト 2」または「サタケ米品質管理データベースソフト 2+」ショートカットアイコンをダブルクリックするか、スタートメニュー内にある同アイコンをクリックすると、本ソフトウェアが起動します。

＜サタケ米品質管理データベースソフト 2+の場合＞



表 2-1 各部名称

No.	名 称	機 能
①	測定画面の表示	「うるち玄米測定」、「うるち精米測定」、「醸造用玄米測定」、「その他測定」をクリックすると、各測定画面が表示されます。
②	設定・保守画面の設定	「設定」、「保守」をクリックすると、本ソフトウェアの設定や、保守に関する画面が表示されます。
③	ソフトウェアの終了	「終了」をクリックすると、本ソフトウェアを終了します。
④	ソフトバージョン	本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

2.3 各種測定画面

米品質管理データベースソフト 2 の場合

① うるち玄米測定

② うるち精米測定

③ 醸造用玄米測定

④ その他測定

米粒食味計は醸造用玄米非対応

その他測定は穀粒判別器非対応

補 足

- 醸造用玄米測定は、穀粒判別器が醸造用玄米対応の場合にのみ使用可能です。
- 醸造用玄米測定では、米粒食味計が醸造用玄米に対応した場合、設定で非表示→表示変更して使用することが可能です。
- 醸造用玄米測定では、米粒食味計は醸造用玄米非対応です。
- その他測定では、穀粒判別器非対応です。
- その他測定は、米粒食味計での小麦等の測定にお使いください。
- サタケ米品質管理データベースソフト 2+の場合、うるち玄米・うるち精米の測定画面上に米鑑定タブが追加されます。

3 運転前の設定

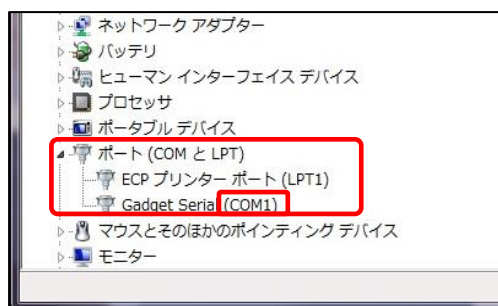
ソフトウェアインストール後に行う通信設定について説明します。

3.1 穀粒判別器シリアル通信設定

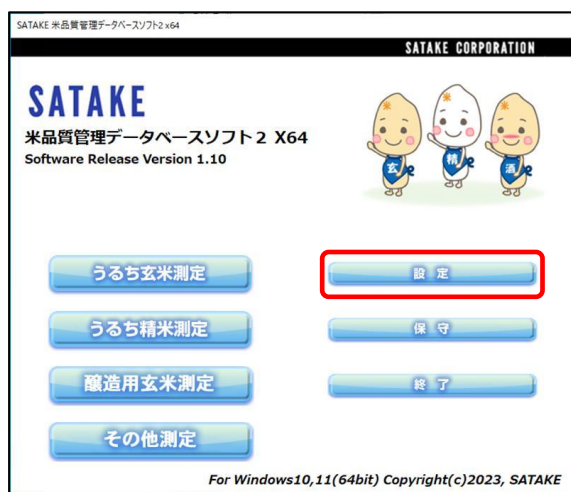
※ 穀粒判別器と接続する場合に行います。

- (1) 穀粒判別器とパソコンを USB ケーブルで接続します。
- (2) パソコンの「コントロールパネル」の「デバイスマネージャー」を開きます。
- (3) 「ポート(COM と LPT)」の「Gadget Serial」もしくは「SATAKE USB Serial」「USB シリアルデバイス」と表示される COM ポート番号を調べます。

下記の例では COM1 となっているので 1 番となります。「Gadget Serial」もしくは「SATAKE USB Serial」、「USB シリアルデバイス」が表示されない場合は、P8「1.2.6 穀粒判別器 USB 通信ドライバーのインストール」の手順を再度行ってください。



- (4) 本ソフトウェアを起動します。
- (5) 「設定」をクリックします。



(6) 「通信設定」をクリックします。

SATAKE 米品質管理データベースソフト v64

サンプル詳細の表示設定

- ☒ 米鑑定ユニット受付番号
- ☒ 穀粒判別器受付番号
- ☒ 食味計受付番号
- ☒ 受付コード
- ☒ 米鑑定ユニット測定日付
- ☒ 穀粒判別器測定日付
- ☒ 食味計測定日付
- ☒ 受付日付
- ☒ 年度
- ☒ ロットNo
- ☒ 品位
- ☒ 品種

自由項目の検索設定

☐ 自由項目を一括で検索する

穀粒判別器の表示設定

☐ 整粒、その他の表示

☐ 完全粒、異種異物の表示

☐ 機械検定の整粒表示

自由項目の名称変更

自由項目日付	自由項目日付
自由項目小数点1	自由項目小数点1
自由項目小数点2	自由項目小数点2
自由項目001	自由項目001
自由項目002	自由項目002
自由項目003	自由項目003
自由項目004	自由項目004

通信設定 (Red box)

表示設定1
表示設定2
印刷設定
マスタ設定
保存設定
閉じる

確定

(7) 「穀粒判別器」にチェックを入れ、「RS232C ポート番号」に先ほど調べた番号を入力して「確定」をクリックします。

SATAKE 米品質管理データベースソフト v64

食味計との通信方法

RS232Cポート番号: 2 ※1～999の数字で入力

☒ 穀粒判別器

RS232Cポート番号: 1 ※1～999の数字で入力

表示設定1
表示設定2
印刷設定
マスタ設定
通信設定
保存設定
閉じる

確定

3.2 穀粒判別器本体の通信設定変更

穀粒判別器本体の「メニュー」>「保守」>「シリアル通信設定」にて下記の通り設定します。
通信が出来ない場合、USB ケーブルを抜いて穀粒判別器を再起動してください。

Ver. パージョン情報

日付・時刻調整

判別の調整

清掃確認

液晶濃度調整

シリアル通信設定

情報① 情報② 履歴 基本設定 保守

シリアル通信の設定を行います

接続方法: なし RS232C USB

通信方法: RGQI通信 RA通信

通信速度: 115200bps 57600bps 9600bps

3.3 米鑑定ユニット通信設定（2+の場合）

※ 米鑑定ユニットと接続する場合に行います。

- (1) 米鑑定ユニットとパソコンを LAN ケーブルと LAN-USB アダプターで接続します。
詳しくは、P14「1.2.8 米鑑定ユニット通信用 IP アドレスの設定」を参照してください。
- (2) 本ソフトウェアを起動します。
- (3) 「設定」をクリックします。



- (4) 「通信設定」をクリックします。



(5) 米鑑定ユニットを選択し、「確定」をクリックします。

SATAKE 米品質管理データベースソフト2+ x64

食味計との通信方法

RS232Cポート番号 ※1～9990の範囲で入力

穀粒判別器・米鑑定ユニット切り替え

☐ 穀粒判別器

RS232Cポート番号 ※1～9990の範囲で入力

☒ 米鑑定ユニット

確定

表示設定 1
表示設定 2
印刷設定
マスタ設定
通信設定
保存設定
閉じる

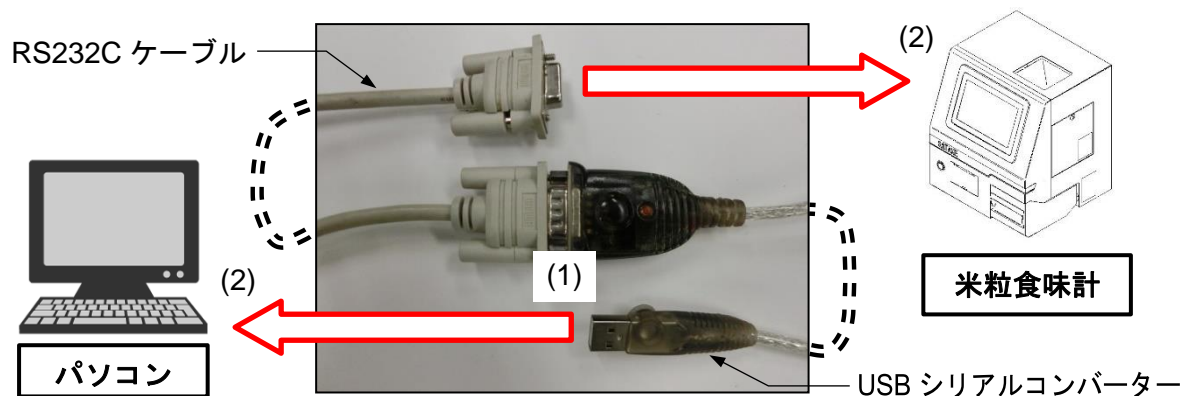
補 足

- 米品質管理データベースソフト 2 では、米鑑定ユニットの選択表示がありません。

3.4 米粒食味計シリアル通信設定

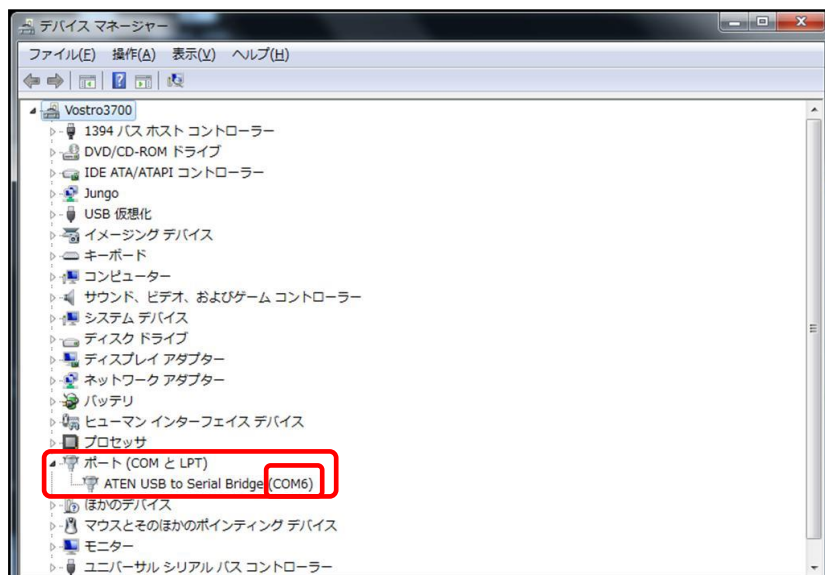
※ 米粒食味計と接続する場合に行います。

- (1) 写真のように RS232C ケーブル(別売り)と USB シリアルコンバーター(別売り)を接続します。
- (2) USB シリアルコンバーターUSB 側をパソコンに接続し、RS232C ケーブル側を米粒食味計に接続します。



運転前の設定

- (3) パソコンの「コントロールパネル」の「デバイスマネージャー」を開きます。
- (4) 「ポート(COM と LPT)」の COM ポート番号を調べます。下記の例では COM6 となっているので 6 番となります。



- (5) 本ソフトウェアを起動します。

(6) 「設定」をクリックします。



(7) 設定画面が表示されるので、「通信設定」をクリックします。



(8) 米粒食味計との通信方法の「RS232C ポート番号」に先ほど調べた番号を入力し「確定」をクリックします。



補 足

- パソコン側の USB の差し口(ポート)を変更した場合は、COM ポートの番号が変更される可能性があります。

3.5 米粒食味計本体の通信設定変更

米粒食味計の通信条件を設定します。

※ 通信設定が異なると、正常な通信ができません。

(1) RLTA10 型 – 米粒食味計本体の設定

1) 設定

「メニュー」⇒「設定」を選択します。

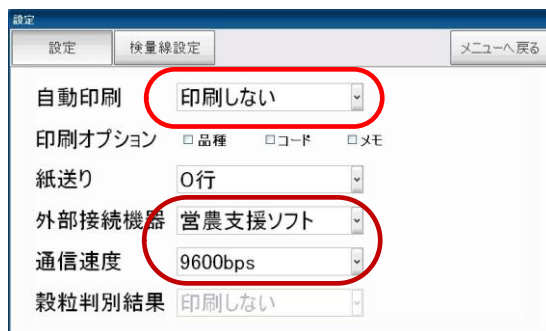


2) 通信設定

「自動印刷」⇒「印刷しない」（推奨）を選択します。

「外部接続機器」⇒「営農支援ソフト」を選択します。

「通信速度」⇒「9600bps」を選択します。



4 設定画面の操作

画面表示やサンプル詳細リスト（マスタ）の変更、通信設定、データ保存先等を設定出来ます。

4.1 設定画面の表示

起動画面の「設定」を選択します。



表 4-1 各部名称

No.	名 称	機 能	参照
①	表示設定 1	サンプル詳細項目の表示・非表示設定や、自由項目の検索設定、自由項目名称を設定出来ます。米品質管理データベースソフト 2+は、上記設定に加え、米鑑定ユニット測定タブでの穀粒判別器（項目）の表示設定が出来ます。	P29
②	表示設定 2	米粒食味計の表示項目の表示・非表示設定や、その他測定での名称の変更、QR コードの表示と表示項目の設定が出来ます。米品質管理データベースソフト 2+は、上記設定に加え、米鑑定ユニットの表示項目の設定が出来ます。	P32
③	印刷設定	印刷時のヘッダータイトル、フッタータイトルを編集出来ます。	P43
④	マスタ設定	サンプル詳細欄で選択するリスト内容(マスタ)を編集出来ます。	P45
⑤	通信設定	米粒食味計と穀粒判別器の通信設定が出来ます。米品質管理データベースソフト 2+は、上記設定に加え、米鑑定ユニットの通信設定が出来ます。	P49
⑥	保守設定	データベースの移動、データベース読込フォルダの変更、CSV 個別データ保存、QR コード画像保存の設定が出来ます。	P50

4.2 表示設定 1

サンプル詳細項目の表示・非表示設定や、自由項目の検索設定、自由項目名称を設定出来ます。
米品質管理データベースソフト 2+は、上記設定に加え、米鑑定ユニット測定タブでの穀粒判別器（項目）の表示設定が出来ます。

設定画面の操作

表 4-2 各部名称

No.	名 称	機 能	参照
①	測定画面上の表示項目	測定画面のサンプル詳細欄に表示されている項目を表示するか、非表示とするかを選択出来ます。表示する項目にチェックを入れてください。 ※米品質管理データベースソフト 2 は、米鑑定ユニット受付番号、米鑑定ユニット測定日付の表示項目がありません。	-
②	自由項目の検索設定	「自由項目を一括で検索する」にチェックを入れると、測定画面の自由項目 1 に入力した内容で自由項目 2～4 を連動して検索します。	P30
③	自由項目の名称変更	最大 7 文字まで入力が可能です。測定画面のサンプル詳細欄に表示されている自由項目の名称を自由に変更することが出来ます。	-
④	穀粒判別器の表示設定	※米品質管理データベースソフト 2+の場合にのみ表示します。 米鑑定ユニット測定タブでの穀粒判別器の項目表示、機械鑑定の整数表示の設定をします。	P31
⑤	設定変更の確定	各設定の変更後「確定」をクリックして、変更した設定を保存します。	-

4.2.1 自由項目の検索設定

「自由項目を一括で検索する」にチェックを入れると、測定画面の自由項目 1 に入力した内容で自由項目 2～4 を連動して検索します。



チェック

- (1) コードを入力し、自由項目 1 の「検索」をクリックします。

自由項目1	0	検索

自由項目2	0	検索

自由項目3	0	検索

自由項目4	0	検索

- (2) 自由項目 1 にて入力した内容で、自由項目 1 から 4 を検索します。

自由項目1	5	検索
自由1-5		
自由項目2	5	検索
自由2-5		
自由項目3	5	検索
自由3-5		
自由項目4	5	検索
自由4-5		

4.2.2 穀粒判別器の表示設定

※米品質管理データベースソフト 2+の場合にのみ表示します。

米鑑定ユニット測定タブでの穀粒判別器の項目表示、機械鑑定の整数表示の設定をします。

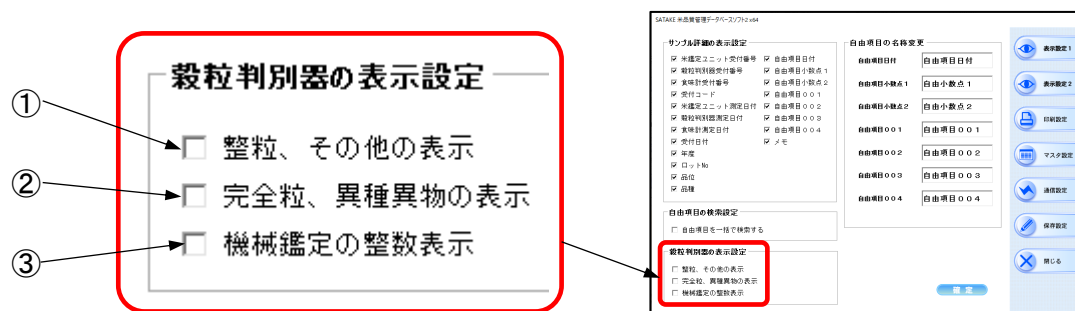


表 4-3 各部名称

No.	名 称	機 能
①	整粒、その他の表示	チェックを入れると、うるち玄米の米鑑定ユニット測定タブに整粒、その他の項目、値を表示します。(図 4-1 参照)
②	完全粒、異種異物の表示	チェックを入れると、うるち精米の米鑑定ユニット測定タブに完全粒、異種異物の項目、値を表示します。
③	機械鑑定の整数表示	チェックを入れると、うるち玄米の米鑑定ユニット測定タブで、穀粒判別器で 3 回測定した平均値のうち、死米、胴割粒、砕粒、白未熟粒の 4 項目が●印の場合、整数で表示します。(図 4-1 参照)

設定画面の操作

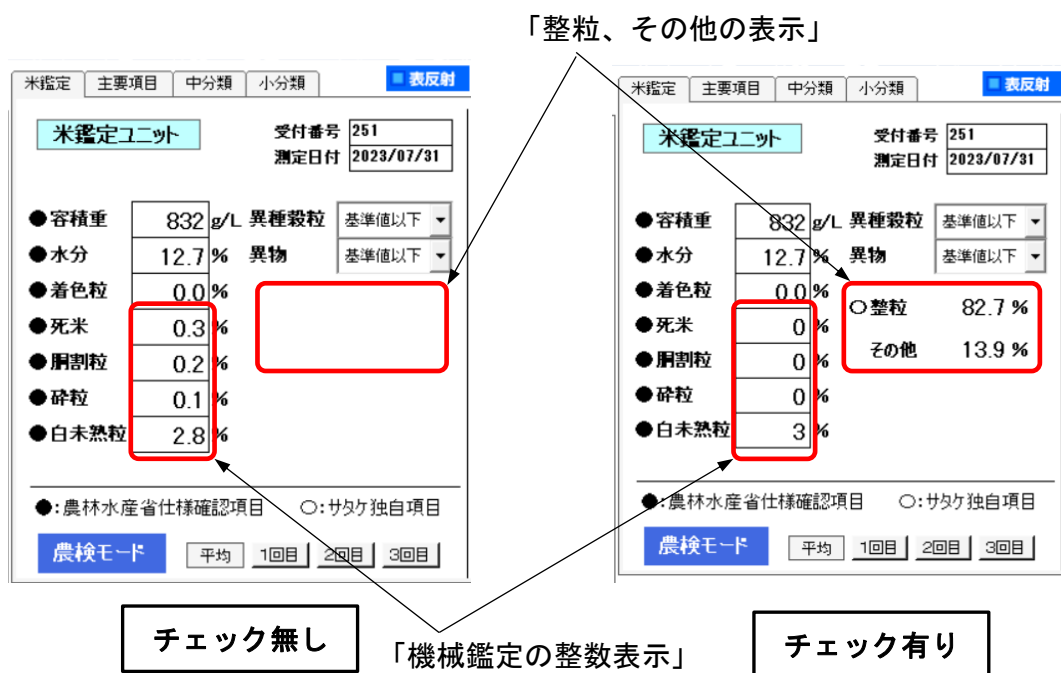


図 4-1 チェック有無の表示例

4.3 表示設定 2

米粒食味計の表示項目の表示・非表示設定や、その他測定での名称の変更、QR コードの表示と表示項目の設定が出来ます。米品質管理データベースソフト 2+は、上記設定に加え、米鑑定ユニットの表示項目の設定が出来ます。



表 4-4 各部名称

No.	名 称	機 能	参照
①	食味計の表示項目及び名称変更	測定画面ごとの食味計表示項目の選択と、その他測定画面では表示項目及び名称の設定が出来ます。	P33
②	米鑑定ユニットの表示項目	米品質管理データベースソフト 2+の場合にのみ表示します。米鑑定ユニットの水分分布を測定画面下のグラフに追加表示することが出来ます。印刷項目選択では、印刷したい項目を4種選択して印刷することが出来ます。	P34
③	QRコードの表示と表示項目	QRコードの表示と表示項目を設定します。	P35
④	確定ボタン	設定を変更する場合は、「確定」をクリックします。	-

4.3.1 食味計の表示項目及び名称変更

食味計の表示項目及び名称変更			
うるち玄米測定 <input checked="" type="checkbox"/> 食味値 <input checked="" type="checkbox"/> タンパク質 <input type="checkbox"/> 水分 <input checked="" type="checkbox"/> アミロース <input checked="" type="checkbox"/> 脂肪酸度	うるち精米測定 <input checked="" type="checkbox"/> 食味値 <input checked="" type="checkbox"/> タンパク質 <input type="checkbox"/> 水分 <input checked="" type="checkbox"/> アミロース	醸造用玄米測定 <input type="checkbox"/> 食味値 <input type="checkbox"/> タンパク質 <input type="checkbox"/> 水分 <input type="checkbox"/> アミロース <input type="checkbox"/> 脂肪酸度	その他測定 → その他測定 <input checked="" type="checkbox"/> 食味値 → 食味値 <input checked="" type="checkbox"/> タンパク質 → タンパク質 <input checked="" type="checkbox"/> 水分 → 水分 <input checked="" type="checkbox"/> アミロース → アミロース <input checked="" type="checkbox"/> 脂肪酸度 → 脂肪酸度

4.3.1.1 醸造用玄米測定

- 米粒食味計は醸造用玄米に対応しておりません。
- 米粒食味計の測定結果のデフォルト設定は、非表示となっております。
- 米粒食味計が醸造用玄米に対応した場合に使用することが出来ます。
- 表示項目をタンパク質のみにしたい場合は、「タンパク質」のチェックボックスにチェックを入れれば、測定画面にタンパク質のみ表示されます。

食味計 測定No

測定日付

➡

食味計 測定No

測定日付

タンパク質 % D/W/A

図 4-2 食味計項目の表示

4.3.1.2 その他測定

測定項目の名称を変更出来ます。米粒食味計が小麦等に対応している場合にご使用ください。ただし単位は変更出来ません。

食味計 測定No

測定日付

測定値1 point

測定値2 % D/W/A

測定値3 %

測定値4 %

測定値5 mg/100g

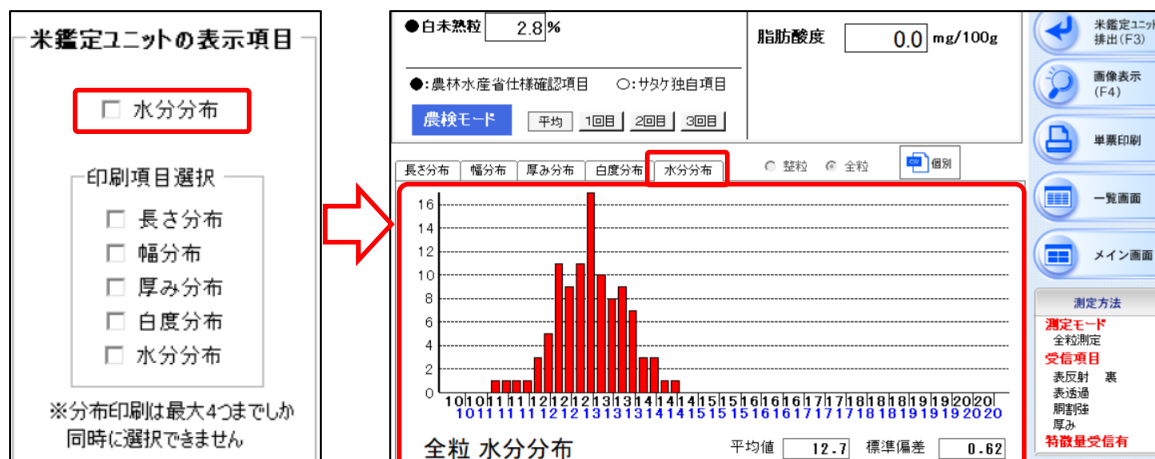
図 4-3 食味計項目名称の変更

4.3.2 米鑑定ユニットの表示項目

米品質管理データベースソフト 2+の場合にのみ表示します。

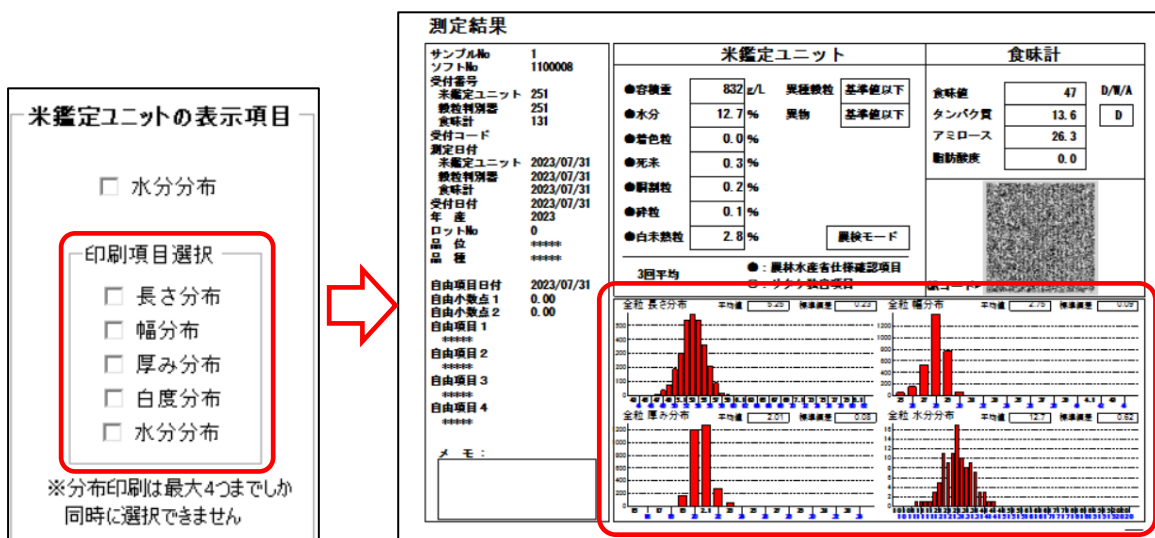
4.3.2.1 水分分布

水分分布にチェックを入れると、うるち玄米・うるち精米の測定画面下のヒストグラムに米鑑定ユニット水分計で測定した水分分布を追加します。全粒での表示です。

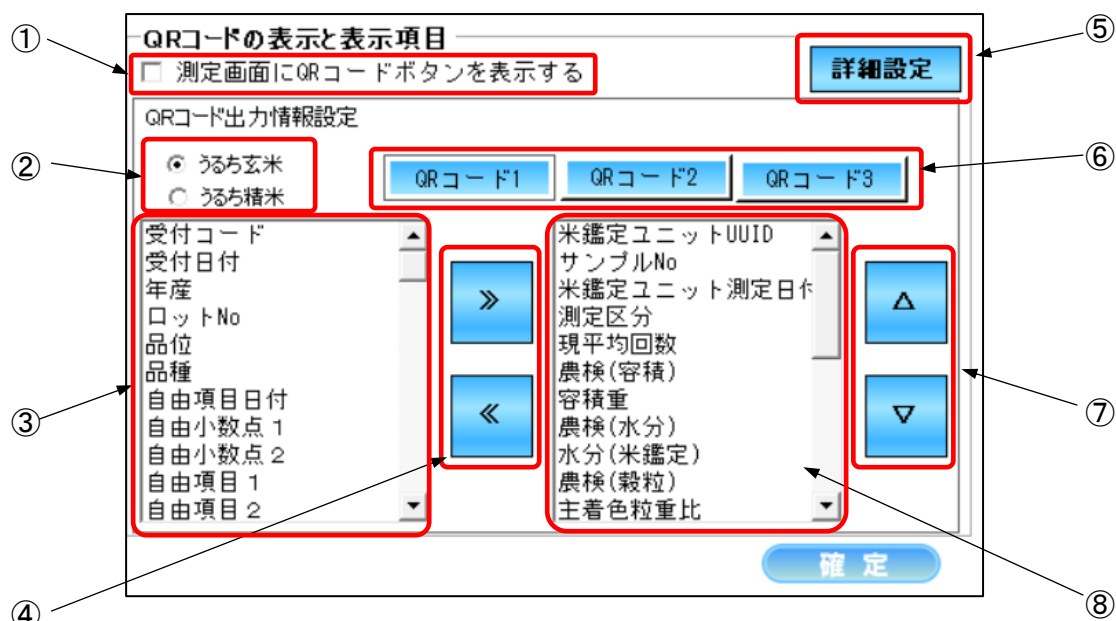


4.3.2.2 印刷項目選択

単票印刷時のヒストグラム表示項目 4 種を選びます。長さ分布、幅分布、厚み分布、白度分布、水分分布の中から 4 種の分布を選びます。



4.3.3 QR コードの表示と表示項目



設定画面の操作

表 4-5 各部名称

No.	名 称	機 能	参照
①	測定画面に QR コードボタンを表示する	チェックを入れると、うるち玄米・うるち精米の測定画面中段に「QR コード表示」ボタンを表示します。	P36
②	米の種類	うるち玄米かうるち精米を選択します。	-
③	QR コードの候補項目	うるち玄米で 106 項目、うるち精米で 95 項目あります。 ※QR コードに項目を入れすぎると、読取機によっては読取できなくなることがあります。	P37
④	項目の取捨	項目の取捨選択ができます。	-
⑤	詳細設定	詳細設定で、項目の表示名、区切り（項目と値間、項目と項目間）、文字コードの設定が QR コード毎に出来ます。	P39
⑥	QR コードの種類	うるち玄米・うるち精米で各 3 種類（QR コード 1, QR コード 2, QR コード 3）設定出来ます。QR コード 1 には初期設定値があります。QR コード 2,3 については未設定です。詳しくは、P37「4.3.3.2 QR コードの候補項目」の表下に記載します。	-
⑦	項目の順序	項目の順序変更ができます。	-
⑧	表示項目欄	QR コードに入れる項目と順序を表します。	-

4.3.3.1 測定画面に QR コードボタンを表示する

チェックを入れると、うるち玄米・うるち精米の測定画面中段に「QR コード表示」ボタンが表れます。

QRコードの表示と表示項目

☒ 測定画面にQRコードボタンを表示する

詳細設定

QRコード出力情報設定

☒ うち玄米
☒ うち精米

QRコード1 QRコード2 QRコード3

受付コード
 受付日付
 年産
 ロットNo
 品位
 品種
 自由項目1日付
 自由小数点1
 自由小数点2
 自由項目1
 自由項目2

米鑑定ユニットUID
 サンプルNo
 米鑑定ユニット測定日付
 測定区分
 現平均回数
 農検(容積)
 容積重
 農検(水分)
 水分(米鑑定)
 農検(穀粒)
 主着色粒重比

確定

チェックを入れる

[illegible] QR

QRコード表示ボタン

4.3.3.2 QR コードの候補項目

・うるち玄米

No	画面表示項目名称	項目名称(初期値)	文字制限
1	サンプルNo	サンプルNo	6
2	受付コード	受付コード	5
3	受付日付	受付日付	4
4	年産	年産	2
5	ロットNo	ロットNo	5
6	品位	品位	2
7	品種	品種	2
8	自由項目日付	自由項目日付	7
9	自由小数点1	自由小数点1	7
10	自由小数点2	自由小数点2	7
11	自由項目1	自由項目1	7
12	自由項目2	自由項目2	7
13	自由項目3	自由項目3	7
14	自由項目4	自由項目4	7
15	米鑑定ユニット受付番号	受付番号(米鑑定)	11 ※
16	米鑑定ユニット測定日付	測定日付(米鑑定)	11 ※
17	測定区分	測定区分	4 ※
18	農検(容積)	農検(容積)	6 ※
19	容積重	容積重	3 ※
20	農検(水分)	農検(水分)	6 ※
21	水分(米鑑定)	水分(米鑑定)	7 ※
22	米鑑定ユニット型式	米鑑定ユニット型式	9 ※
23	米鑑定ユニット機体番号	製造番号(米鑑定)	11 ※
24	米鑑定ユニット精度確認日	精度確認日(米鑑定)	12 ※
25	米鑑定ユニットUUID	レコードID(米鑑定)	11 ※
26	穀粒判別器受付番号	受付番号(穀粒)	9
27	穀粒判別器測定日付	測定日付(穀粒)	9
28	農検(穀粒)	農検(穀粒)	6
29	主整粒重比	整粒	4
30	主着色粒重比	着色粒	5
31	主死米重比	死米	4
32	主胴割粒重比	胴割粒	5
33	主砕粒重比	砕粒	4
34	主白未熟重比	白未熟粒	5
35	主異種穀粒	異種	4 ※
36	主異物	異物	2 ※
37	中整粒重比	整粒	2
38	中未熟粒重比	未熟粒	2
39	中被害粒重比	被害粒	2
40	中死米重比	死米	2
41	中着色粒重比	着色粒	2
42	中胴割重比	胴割粒	3
43	整粒重比	整粒	2
44	乳白粒重比	乳白	5
45	基部未熟粒重比	基部	7
46	背腹白粒重比	背腹	6
47	青未熟粒重比	青未	6
48	その他未熟粒重比	他未	8
49	砕粒重比	砕粒	4
50	その他被害粒重比	他被	8

No	画面表示項目名称	項目名称(初期値)	文字制限
51	青死米重比	青死	5
52	白死米重比	白死	5
53	全面着色粒重比	全着	7
54	部分着色粒重比	部着	7
55	胴割粒重量比	胴割粒	5
56	全粒長さ平均値	長(全)ave.	8
57	全粒長さ標準偏差	長(全)sd.	7
58	整粒長さ平均値	長(整)ave.	8
59	整粒長さ標準偏差	長(整)sd.	7
60	全粒幅平均値	幅(全)ave.	8
61	全粒幅標準偏差	幅(全)sd.	7
62	整粒幅平均値	幅(整)ave.	8
63	整粒幅標準偏差	幅(整)sd.	7
64	全粒厚み平均値	厚(全)ave.	8
65	全粒厚み標準偏差	厚(全)sd.	7
66	整粒厚み平均値	厚(整)ave.	8
67	整粒厚み標準偏差	厚(整)sd.	7
68	全粒表面積平均値	表面(全)ave.	9 ※
69	全粒表面積標準偏差	表面(全)sd.	8 ※
70	整粒表面積平均値	表面(整)ave.	9 ※
71	整粒表面積標準偏差	表面(整)sd.	8 ※
72	全粒横面積平均値	横面(全)ave.	9 ※
73	全粒横面積標準偏差	横面(全)sd.	8 ※
74	整粒横面積平均値	横面(整)ave.	9 ※
75	整粒横面積標準偏差	横面(整)sd.	8 ※
76	全粒推定体積平均値	体積(全)ave.	9 ※
77	全粒推定体積標準偏差	体積(全)sd.	8 ※
78	整粒推定体積平均値	体積(整)ave.	9 ※
79	整粒推定体積標準偏差	体積(整)sd.	8 ※
80	全粒縦横比平均値	縦横比(全)ave.	10 ※
81	全粒縦横比標準偏差	縦横比(全)sd.	9 ※
82	整粒縦横比平均値	縦横比(整)ave.	10 ※
83	整粒縦横比標準偏差	縦横比(整)sd.	9 ※
84	全粒白度平均値	白度(全)ave.	9
85	全粒白度標準偏差	白度(全)sd.	8
86	整粒白度平均値	白度(整)ave.	9
87	整粒白度標準偏差	白度(整)sd.	8
88	全粒水分平均値	水分(全)ave.	9 ※
89	全粒水分標準偏差	水分(全)sd.	8 ※
90	測定粒数	測定粒数	4
91	検量線番号	検量線	5
92	穀粒判別器型式	穀粒判別器型式	7
93	穀粒判別器機体番号	製造番号(穀粒)	9
94	穀粒判別器精度確認日	精度確認日(穀粒)	10 ※
95	穀粒判別器UUID	レコードID(穀粒)	9
96	現平均回数	測定回数	5
97	食味計受付番号	受付番号(食味)	7
98	食味計測定日付	測定日付(食味)	7
99	食味値	食味値	3
100	タンパク質	タンパク質	5
101	(D/W/A)	(D/W/A)	7
102	水分(食味計)	水分(食味)	7
103	アミロース	アミロース	5
104	脂肪酸度	脂肪酸度	4
105	メモ	メモ	2
106	メーカー	メーカー	4

設定画面の操作

※は、米鑑定ユニット通信時にのみ値がある項目です。

QR コード 1 に下記順番で初期設定しています。QR コード 2,3 については未設定です。

米品質管理データベースソフト 2 の場合：95,1,27,17,96,28,30,31,32,33,34,90,106,92,93

米品質管理データベースソフト 2+の場合：

25,1,16,17,96,18,19,20,21,28,30,31,32,33,34,90,106,22,23,24,92,93,94

・うるち精米

No	画面表示項目名称	項目名称(初期値)	文字制限
1	サンプルNo	サンプルNo	6
2	受付コード	受付コード	5
3	受付日付	受付日付	4
4	年産	年産	2
5	ロットNo	ロットNo	5
6	品位	品位	2
7	品種	品種	2
8	自由項目日付	自由項目日付	7
9	自由小数点1	自由小数点1	7
10	自由小数点2	自由小数点2	7
11	自由項目1	自由項目1	7
12	自由項目2	自由項目2	7
13	自由項目3	自由項目3	7
14	自由項目4	自由項目4	7
15	米鑑定ユニット受付番号	受付番号(米鑑定)	11 ※
16	米鑑定ユニット測定日付	測定日付(米鑑定)	11 ※
17	測定区分	測定区分	4 ※
18	容積重	容積重	3 ※
19	農検(水分)	農検(水分)	6 ※
20	水分(米鑑定)	水分(米鑑定)	7 ※
21	米鑑定ユニット型式	米鑑定ユニット型式	9 ※
22	米鑑定ユニット機体番号	製造番号(米鑑定)	11 ※
23	米鑑定ユニット精度確認日	精度確認日(米鑑定)	12 ※
24	米鑑定ユニットUUID	レコードID(米鑑定)	11 ※
25	穀粒判別器受付番号	受付番号(穀粒)	9
26	穀粒判別器測定日付	測定日付(穀粒)	9
27	精米JAS(穀粒)	精米JAS(穀粒)	9
28	中完全粒重比	完全粒	5
29	中着色粒重比	着色粒	5
30	中被害粒重比(着色含)	被害粒	10
31	中砕粒重比	砕粒	4
32	中粉状質粒重比	粉状質粒	6
33	中異種異物重比	異種異物	6
34	完全粒重比	完全粒	5
35	胴割粒重量比	胴割粒	6
36	全面着色粒重比	全着	7
37	部分着色粒重比	部着	7
38	損傷粒重量比	損傷	6
39	その他被害粒重量比	他被	9
40	砕粒重比	砕粒	4
41	全粉状質粒重量比	全粉	8
42	半粉状質粒重量比	半粉	8
43	背腹白粒重量比	背腹	7
44	異種重量比	異種	5
45	異物重量比	異物	10
46	全粒長さ平均値	長(全)ave.	8
47	全粒長さ標準偏差	長(全)sd.	7
48	整粒長さ平均値	長(整)ave.	8
49	整粒長さ標準偏差	長(整)sd.	7
50	全粒幅平均値	幅(全)ave.	8

No	画面表示項目名称	項目名称(初期値)	文字制限
51	全粒幅標準偏差	幅(全)sd.	7
52	整粒幅平均値	幅(整)ave.	8
53	整粒幅標準偏差	幅(整)sd.	7
54	全粒厚み平均値	厚(全)ave.	8
55	全粒厚み標準偏差	厚(全)sd.	7
56	整粒厚み平均値	厚(整)ave.	8
57	整粒厚み標準偏差	厚(整)sd.	7
58	全粒表面積平均値	表面(全)ave.	9
59	全粒表面積標準偏差	表面(全)sd.	8
60	整粒表面積平均値	表面(整)ave.	9
61	整粒表面積標準偏差	表面(整)sd.	8
62	全粒横面積平均値	横面(全)ave.	9 ※
63	全粒横面積標準偏差	横面(全)sd.	8 ※
64	整粒横面積平均値	横面(整)ave.	9 ※
65	整粒横面積標準偏差	横面(整)sd.	8 ※
66	全粒推定体積平均値	体積(全)ave.	9 ※
67	全粒推定体積標準偏差	体積(全)sd.	8 ※
68	整粒推定体積平均値	体積(整)ave.	9 ※
69	整粒推定体積標準偏差	体積(整)sd.	8 ※
70	全粒縦横比平均値	縦横比(全)ave.	10 ※
71	全粒縦横比標準偏差	縦横比(全)sd.	9 ※
72	整粒縦横比平均値	縦横比(整)ave.	10 ※
73	整粒縦横比標準偏差	縦横比(整)sd.	9 ※
74	全粒白度平均値	白度(全)ave.	9
75	全粒白度標準偏差	白度(全)sd.	8
76	整粒白度平均値	白度(整)ave.	9
77	整粒白度標準偏差	白度(整)sd.	8
78	全粒水分平均値	水分(全)ave.	9 ※
79	全粒水分標準偏差	水分(全)sd.	8 ※
80	測定粒数	測定粒数	4
81	検量線番号	検量線	5
82	穀粒判別器型式	穀粒判別器型式	7
83	穀粒判別器機体番号	製造番号(穀粒)	9
84	穀粒判別器精度確認日	精度確認日(穀粒)	10 ※
85	穀粒判別器UUID	レコードID(穀粒)	9
86	現平均回数	測定回数	5
87	食味計受付番号	受付番号(食味)	7
88	食味計測定日付	測定日付(食味)	7
89	食味値	食味値	3
90	タンパク質	タンパク質	5
91	(D/W/A)	(D/W/A)	7
92	水分(食味計)	水分(食味)	7
93	アミロース	アミロース	5
94	メモ	メモ	2
95	メーカー	メーカー	4

※は、米鑑定ユニット通信時にのみ値がある項目です。

QRコード1に下記順番で初期設定しています。QRコード2,3については未設定です。

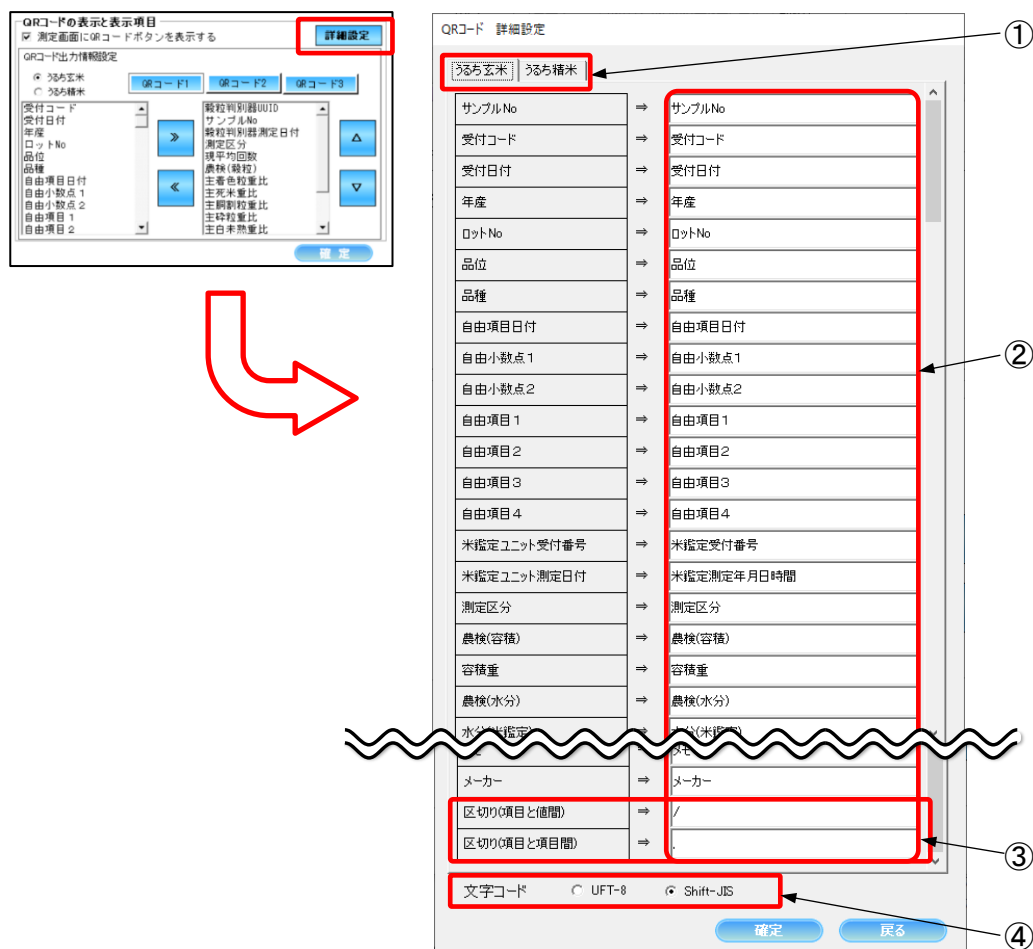
米品質管理データベースソフト2の場合：85,1,26,17,86,27,29,30,31,32,80,95,82,83

米品質管理データベースソフト2+の場合：

24,1,16,17,86,18,19,20,27,29,30,31,32,80,95,21,22,23,82,83,84

4.3.3.3 詳細設定

詳細設定で、項目の表示名、区切り（項目と値間、項目と項目間）、文字コードの設定がQRコード毎に出来ます。



設定画面の操作

表 4-6 各部名称

No.	名 称	機 能
①	米の種類	うるち玄米とうるち精米に設定を切り替えます。
②	項目の表示名	QRコードに表示する名称を変更することが出来ます。
③	区切り	QRコードの項目と値の間、項目と項目の間の区切り文字を変更することが出来ます。
④	文字コード	QRコードの文字コードを変更することが出来ます。

＜例示＞「うるち玄米」の「QRコード2」に項目を設定する場合を例示します。

- (1) 「QRコードの表示」にチェックを入れ、「うるち玄米」が選択されているか確認します。

QRコードの表示と表示項目

☐ 測定画面にQRコードボタンを表示する

QRコード出力情報設定

☒ うるち玄米

QRコード1 QRコード2 QRコード3

受付コード
受付日付
年産
ロットNo
品位
品種
自由項目日付
自由小数点1
自由小数点2
自由項目1
自由項目2

穀粒判別器UUID
サンプルNo
穀粒判別器測定日付
測定区分
現平均回数
農機(穀粒)
主着色粒重比
主死米重比
主胴割粒重比
主砕粒重比
主白未熟重比

詳細設定

確定

- (2) 「QRコード2」を選択します。

QRコードの表示と表示項目

☒ 測定画面にQRコードボタンを表示する

QRコード出力情報設定

☒ うるち玄米

QRコード1 QRコード2 QRコード3

受付コード
受付日付
年産
ロットNo
品位
品種
自由項目日付
自由小数点1
自由小数点2
自由項目1
自由項目2

穀粒判別器UUID
サンプルNo
穀粒判別器測定日付
測定区分
現平均回数
農機(穀粒)
主着色粒重比
主死米重比
主胴割粒重比
主砕粒重比
主白未熟重比

詳細設定

確定

- (3) 候補項目欄から項目を選択し、「>>」ボタンで移動します。

また、表示項目欄の項目を選択し、「<<」ボタンを押すと候補項目欄に移動します。

QRコードの表示と表示項目

☒ 測定画面にQRコードボタンを表示する

QRコード出力情報設定

☒ うるち玄米

QRコード1 QRコード2 QRコード3

サンプルNo
受付コード
受付日付
年産
ロットNo
品位
品種
自由項目日付
自由小数点1
自由小数点2
自由項目1
自由項目2

穀粒判別器UUID
サンプルNo
穀粒判別器測定日付
測定区分
現平均回数
農機(穀粒)
主着色粒重比
主死米重比
主胴割粒重比
主砕粒重比
主白未熟重比

詳細設定

確定

- (4) 表示項目内で順番を変更したい場合は、表示項目を選択し△▽ボタンで移動します。

QRコードの表示と表示項目

☒ 測定画面にQRコードボタンを表示する

QRコード出力情報設定

☒ うるち玄米

QRコード1 QRコード2 QRコード3

米鑑定ユニット受付番号
米鑑定ユニット測定日付
米鑑定ユニット型式
米鑑定ユニット機体番号
米鑑定ユニット精度確認
米鑑定ユニットUUID
穀粒判別器受付番号
穀粒判別器測定日付
主農機穀粒
主異物
中整粒重比

水分(米鑑定)
農機(穀粒)
主整粒重比
主着色粒重比
主死米重比
主胴割粒重比
主砕粒重比
主白未熟重比
メーカー

詳細設定

確定

- (5) 表示項目の選択と表示順を設定したら、「確定」を押し保存します。

- (6) 表示名、区切り、文字コードを変更する場合は、「詳細設定」を押し、QRコード詳細設定で出来ます。次ページ<<QRコードの詳細設定例>>参照。

補 足

- QRコード2の詳細設定画面に、うるち玄米とうるち精米タブがあるため変更したい米の種類になっているか確認してから、変更してください。

- (7) 詳細設定で変更後は、確定を押し保存します。

<<QR コードの詳細設定例>>

- 項目名変更の例として、「サンプル No.」を「測定番号」に変更

The image shows two side-by-side screenshots of the 'QRコード 詳細設定' (QR Code Detailed Settings) screen. The left screenshot shows the 'サンプルNo' field highlighted with a red box. A red arrow points to the right screenshot, where the '測定番号' field is highlighted with a red box. The settings are for 'うるち玄米' and 'うるち精米'.

うるち玄米	うるち精米
サンプルNo	測定番号
受付コード	受付コード
受付日付	受付日付
年産	年産
ロットNo	ロットNo
品位	品位
品種	品種
自由項目日付	自由項目日付
自由小数点1	自由小数点1

- 区切り変更の例として、「区切り(項目と値間)」を「:」に変更

The image shows two side-by-side screenshots of the 'QRコード 詳細設定' (QR Code Detailed Settings) screen. The left screenshot shows the '区切り(項目と値間)' field highlighted with a red box. A red arrow points to the right screenshot, where the ':' character is highlighted with a red box. The settings are for '水分(食味計)', 'アミロース', '脂肪飽和度', 'メモ', 'メーカー', and '区切り(項目と項目間)'.

水分(食味計)	アミロース	脂肪飽和度	メモ	メーカー	区切り(項目と値間)	区切り(項目と項目間)
水分(食味計)	アミロース	脂肪飽和度	メモ	メーカー	:	

文字コード: ☒ UTF-8 ☐ Shift-JIS

※項目やメモに①のような機種依存文字を使用した状態でQRコードを生成すると認識できない場合があります

確定 戻る

- 文字コードの変更例として「UTF-8」を「Shift-JIS」に変更

The image shows two side-by-side screenshots of the 'QRコード 詳細設定' (QR Code Detailed Settings) screen. The left screenshot shows the '文字コード' field highlighted with a red box, with 'UTF-8' selected. A red arrow points to the right screenshot, where 'Shift-JIS' is selected. The settings are for '水分(食味計)', 'アミロース', '脂肪飽和度', 'メモ', 'メーカー', '区切り(項目と値間)', and '区切り(項目と項目間)'.

水分(食味計)	アミロース	脂肪飽和度	メモ	メーカー	区切り(項目と値間)	区切り(項目と項目間)
水分(食味計)	アミロース	脂肪飽和度	メモ	メーカー		

文字コード: ☐ UTF-8 ☒ Shift-JIS

※項目やメモに①のような機種依存文字を使用した状態でQRコードを生成すると認識できない場合があります

確定 戻る

補 足

- 文字コードは、QR コード番号で、うるち玄米とうるち精米で共通に設定されます。
- 初期設定は、「UTF-8」です。QR コードリーダーで読取りし文字が正しく表示されない場合に「Shift-JIS」をお試しください。
- 項目やメモに『①』のような機種依存文字を使用した状態で QR コードを生成すると認識できない場合があります。

4.4 印刷設定

印刷時のヘッダータイトル、フッタータイトルを編集出来ます。



表 4-7 各部名称

No.	名 称	機 能	参照
①	単票印刷設定	最大 15 文字まで入力が可能です。単票、分布グラフ、粒選シミュレータ(フッタータイトルのみ)、検索内容印刷のヘッダータイトルとフッタータイトルを自由に変更することが出来ます。変更したい文字を入力してください。	-
②	一覧印刷設定	最大 15 文字まで入力が可能です。一覧印刷のヘッダータイトルとフッタータイトルを自由に変更することが出来ます。変更したい文字を入力してください。	P44
③	設定変更の確定	各設定の変更後「確定」をクリックして、設定値を保存します。	-

4.4.1 一覧印刷設定

一覧印刷のヘッダータイトルとフッタータイトルを自由に変更することが出来ます。
変更したい文字を入力してください。(最大 15 文字まで入力が可能です。)

ヘッダータイトル

The image shows two screenshots of a software interface. The left screenshot displays a '測定結果' (Measurement Results) header title being edited. The right screenshot displays a '測定結果' (Measurement Results) footer title being edited. Both screenshots show a table of measurement data with columns for '測定項目' (Measurement Item), '測定値' (Measurement Value), and '単位' (Unit). The left screenshot also includes a '測定結果' (Measurement Results) table with columns for '測定項目' (Measurement Item), '測定値' (Measurement Value), and '単位' (Unit). The right screenshot shows a table with columns for '測定項目' (Measurement Item), '測定値' (Measurement Value), and '単位' (Unit).

フッタータイトル

4.5 マスタ設定

サンプル詳細欄で選択するリスト内容(マスタ)を編集出来ます。



表 4-8 各部名称

No.	名 称	機 能	参照
①	編集出来るマスタの種類	サンプル詳細欄のリスト選択を行う項目、品位、品種、自由項目 1～4 のリスト内容を編集できます。編集したマスタをクリックしてください。	-
②	マスタの編集欄	マスタ編集欄は、コード、名称、使用マスタで構成されています。	P46
③	すべて選択	クリックすると、使用マスタのチェックボックスが全てチェックされます。	-
④	選択解除	クリックすると、使用マスタのチェックボックスのチェックが全て解除されます。	-
⑤	行 追加	クリックすると、マスタ編集欄の最後に新たな行が追加されます。	-
⑥	行 削除	不要なマスタがある場合にクリックすると、削除出来ます。	-
⑦	マスタの全件削除	マスタを全件削除します。使用中のマスタ名称を変更すると、サンプル詳細欄の測定データ全てが変更後の名称へ変更されます。	P46
⑧	マスタの CSV 取り込み	マスタを既定の CSV ファイルから取り込むことが出来ます。	P47
⑨	設定変更の確定	「確定」をクリックすると、変更した内容を保存します。	-

4.5.1 マスタ編集欄

1) マスタ編集欄は、コード、名称、使用マスタで構成されています。

① コード	② 名称	③ 使用マスタ
0	*****	<input checked="" type="checkbox"/>
1	品位 1	<input checked="" type="checkbox"/>
2	品位 2	<input type="checkbox"/>

ここをクリック

表 4-9 各部名称

No.	名 称	機 能
①	コード	リストへ表示する際の順位を入力します。 コードは必ず異なる半角数値を入力してください。
②	名称	リストへ表示する際の名称を入力します。
③	使用マスタ	サンプル詳細欄のリスト選択を行う際、使用マスタへチェックの入ったマスタのみリストへ表示されます。

2) 最大マスタ入力数

各マスタには、最大入力コード数と最大文字数があります。

マスター	コード(最大桁数)	名 称(最大文字数)
品 位	4	5
品 種	4	10
自由項目1	9	13
自由項目2	9	13
自由項目3	9	13
自由項目4	14	20

4.5.2 CSV 取り込み

「CSV 取り込み」 ボタンを押すと、以下画面が表示されます。

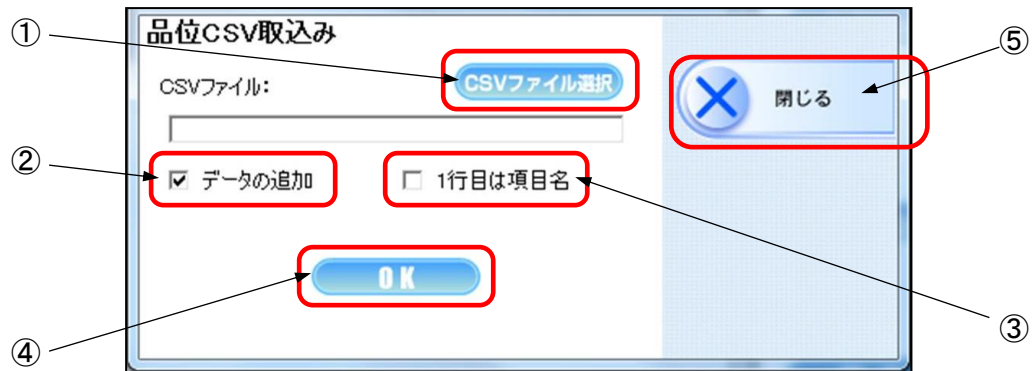


表 4-10 各部名称

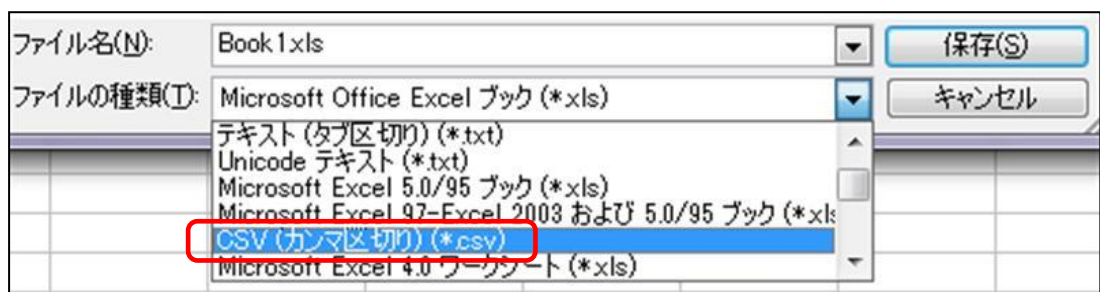
No.	名 称	機 能																																
①	CSV ファイル選択	クリックするとファイル選択画面が表示されます。																																
②	データの追加	本ソフトウェアに保存しているマスターデータに追加したい場合はチェックを入れてください。																																
③	1 行目は項目名	<p>準備している CSV ファイルの 1 行目が項目名になっている場合はチェックを入れてください。※チェックが入っている場合、1 行目を読み飛ばします。</p> <table><tr><td></td><td>A</td><td>B</td><td></td></tr><tr><td>1</td><td>コード</td><td>名称</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>1</td><td>品位1</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>2</td><td>品位2</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>3</td><td>品位3</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>4</td><td>品位4</td><td></td></tr><tr><td>6</td><td>5</td><td>品位5</td><td></td></tr><tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		A	B		1	コード	名称		2	1	品位1		3	2	品位2		4	3	品位3		5	4	品位4		6	5	品位5		7			
	A	B																																
1	コード	名称																																
2	1	品位1																																
3	2	品位2																																
4	3	品位3																																
5	4	品位4																																
6	5	品位5																																
7																																		
④	OK	CSV ファイルのコードと名称を読み込みます。※コードが重複している場合は読み飛ばします。																																
⑤	閉じる	CSV 取込みの画面を終了します。																																

4.5.2.1 CSV ファイルの取込み手順

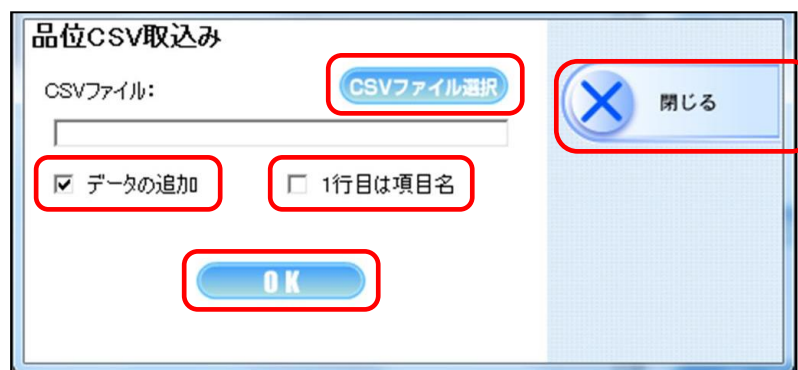
- (1) Microsoft Excel にて、1 列目にコード、2 列目に対象のマスタ内容を入力した CSV ファイルを用意します。

	A	B
1	1	品位1
2	2	品位2
3	3	品位3
4	4	品位4
5	5	品位5

- (2) 保存する際に、ファイルの種類で CSV(カンマ区切り)形式を選択して保存すれば CSV ファイルを作成出来ます。



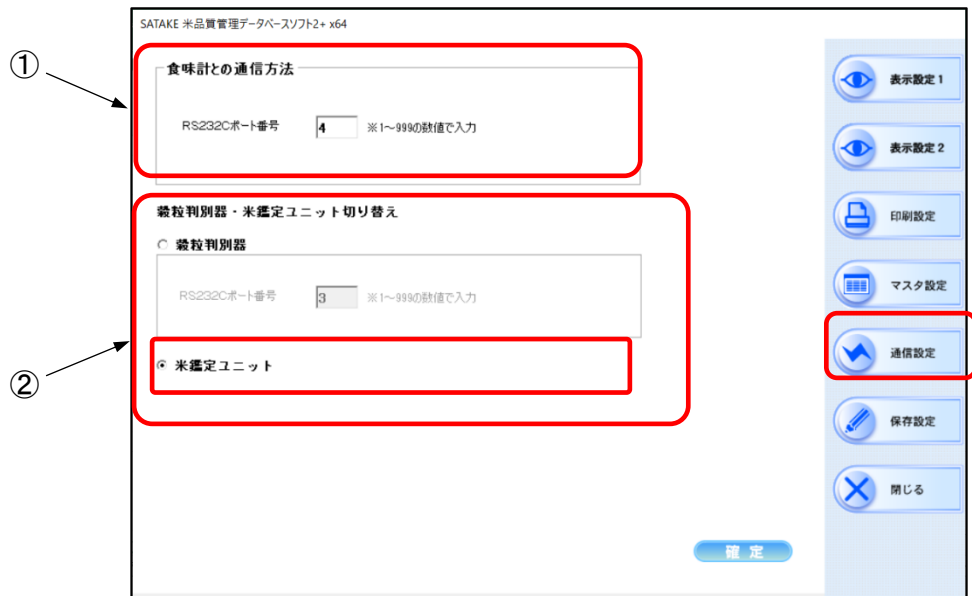
- (3) 「CSV ファイル選択」をクリックして用意した CSV ファイルを選択します。



- (4) 必要に応じて、「データの追加」、「1 行目は項目名」にチェックを入れます。
- (5) 「OK」 ボタンを押し、CSV 取込みを開始します。
- (6) 「閉じる」 ボタンを押し、CSV 取込みを終了します。

4.6 通信設定

「通信設定」をクリックすると、通信設定画面が表示されます。この画面では米粒食味計と穀粒判別器の通信設定が出来ます。米品質管理データベースソフト 2+は、上記設定に加え、米鑑定ユニットの通信設定が出来ます。



設定画面の操作

表 4-11 各部名称

No.	名 称	機 能
①	米粒食味計とのシリアル通信設定	米粒食味計とのシリアル通信ポートの設定を行います。 P25「3.4 米粒食味計シリアル通信設定」を参照してください。
②	穀粒判別器または米鑑定ユニットとの通信設定	穀粒判別器または米鑑定ユニット*との接続を選択し、穀粒判別器の場合はシリアル通信ポートの設定、米鑑定ユニット*との接続の場合は測定方法の選択を行います。P21「3.1 穀粒判別器シリアル通信設定」、P22「3.2 穀粒判別器本体の通信設定変更」、P23「3.3 米鑑定ユニット通信設定（2+の場合）」を参照してください。 *米品質管理データベースソフト 2+の場合にのみ米鑑定ユニットとの接続が表示されます。米品質管理データベースソフト 2 の場合、米鑑定ユニットとの接続選択はありません。

4.7 保存設定

「保存設定」をクリックすると、保存設定画面が表示されます。

表 4-12 各部名称

No.	名 称	機 能	参照
①	データベースの移動	データベースの保存先の変更	P51
②	データベース読込フォルダの変更	バックアップやデータ出力で保存したフォルダを指定することで、データベースの切り替えを行うことができます。	P52
③	CSV 個別データ保存	CSV 個別データ保存の保存先、測定毎の自動保存、個別データ出力ボタンの表示の設定ができます。	P53
④	QR コード画像保存	QR コード画像の保存先、測定毎の自動保存の設定ができます。	P55

4.7.1 データベースの移動

- (1) 「フォルダ選択」をクリックすると、新しい保存先の選択画面が表示されるので、保存先の設定をしてください。



設定画面の操作

- (2) 「確定」をクリックして保存先の変更を行います。保存先変更後は本ソフトウェアを再起動します。



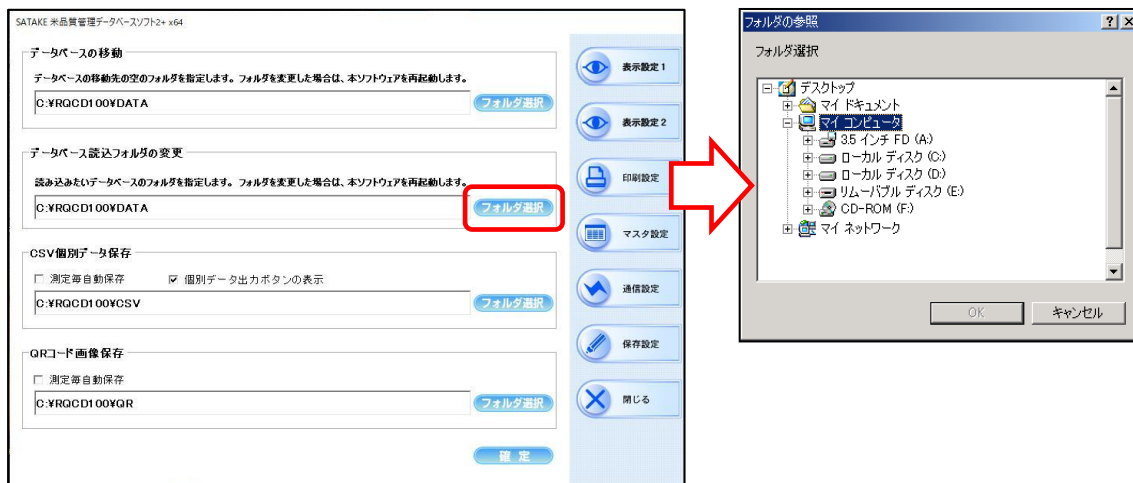
取扱注意

- 通常は初期値（本ソフトウェアのインストールされているフォルダ内）のままでご使用ください。
- パソコンに詳しい方のみ変更を行うようにしてください。

4.7.2 データベースの読込フォルダの変更

バックアップやデータ出力で保存したフォルダを指定することで、データベースの切り替えを行うことが出来ます。以下のようにデータベースの読込フォルダを変更します。

- (1) 「フォルダ選択」をクリックすると、新しい保存先の選択画面が表示されるので、読込先フォルダの設定をしてください。



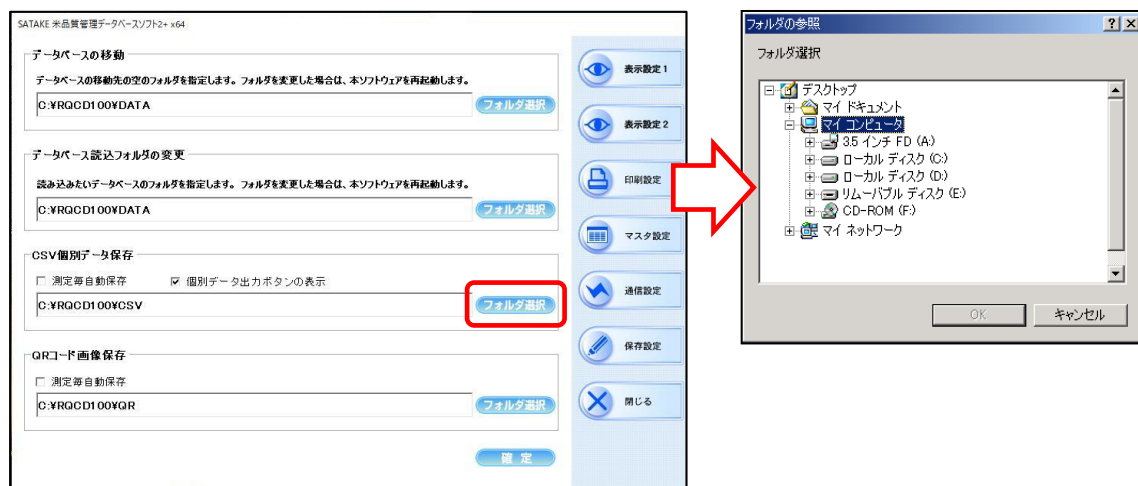
- (2) 「確定」をクリックして保存先の変更を行います。保存先変更後は本ソフトウェア再起動します。



4.7.3 CSV 個別データの保存

CSV 個別データ保存の保存先、測定毎の自動保存、個別データ出力ボタンの表示の設定が出来ます。

- (1) 「フォルダ選択」をクリックすると、新しい保存先の選択画面が表示されるので、読込先フォルダの設定をしてください。



設定画面の操作

- (2) 以下必要に応じてチェックを入れます。

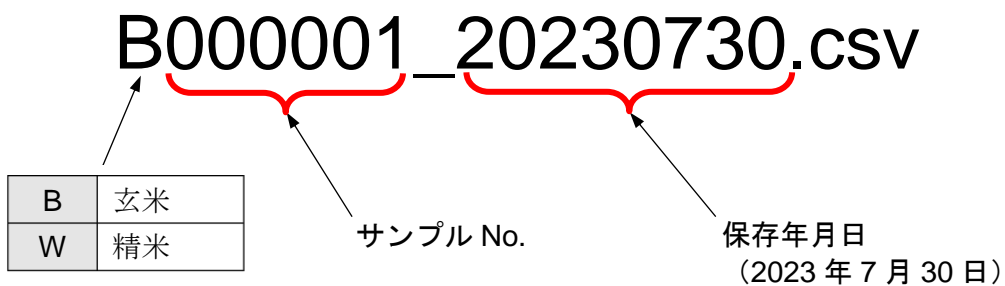


表 4-13 各部名称

No.	名 称	機 能
①	測定毎自動保存	チェックを入れるとうるち玄米・うるち精米測定時、一覧 CSV 出力と同じ項目、順の平均したデータを、測定後、選択している保存先に自動で保存します。
②	個別データの出力ボタンの表示	チェックを入れると、うるち玄米・うるち精米測定画面に「個別」ボタンが表示され、ボタンを押すと一覧 CSV 出力と同じ項目、順の平均したデータを、選択している保存先に保存します。

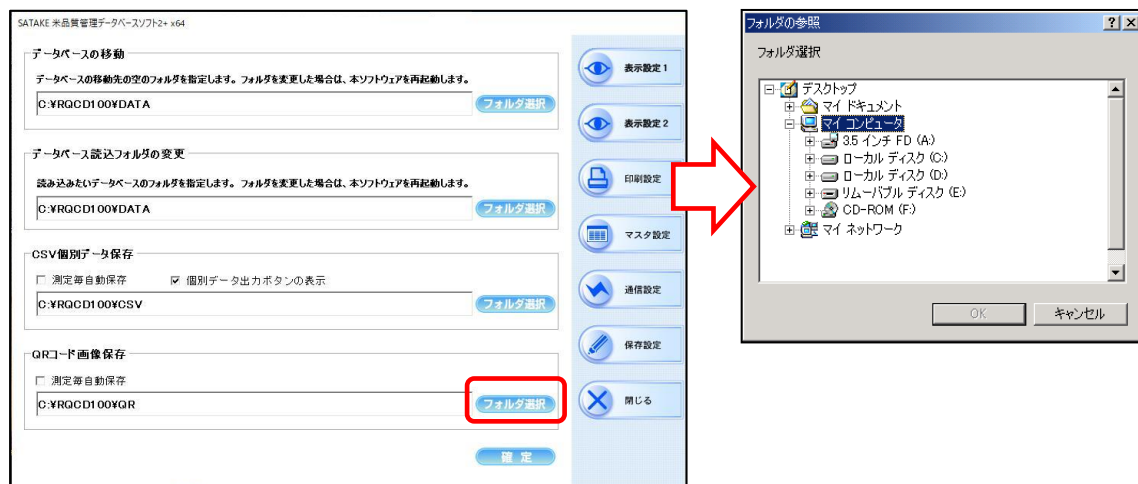
(3) 「確定」をクリックして指定した保存先に保存します。

保存された CSV ファイル名の意味は以下のとおりです。



4.7.4 QRコード画像保存

- (1) 「フォルダ選択」をクリックすると、新しい保存先の選択画面が表示されるので、保存先の設定をしてください。



設定画面の操作

- (2) 「測定毎自動保存」の設定をします。チェックを入れると、うるち玄米・うるち精米測定時、選択していたQRコードを測定後、選択している保存先に自動で保存します。



(3) 「確定」をクリックして指定した保存先に保存します。

SATAKE 米品質管理データベースソフト2+ x64

データ保存先
測定結果を保存するフォルダを指定します。
C:\RQCD100\DATA フォルダ選択

フォルダを変更した場合は、米品質管理データベースソフト2+ x64 を再起動して下さい。

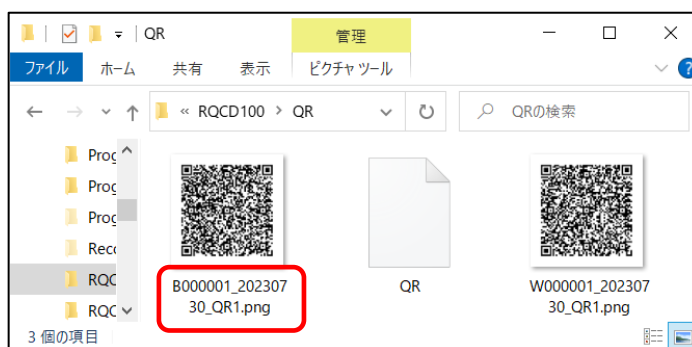
CSV個別データ保存
☒ 測定毎自動保存 ☒ 個別データ出力ボタンの表示
C:\RQCD100\CSV フォルダ選択

QRコード画像保存
☒ 測定毎自動保存
C:\RQCD100\QR フォルダ選択

確定

表示設定1
表示設定2
印刷設定
マスタ設定
通信設定
保存設定
閉じる

保存された QR コード画像のファイル名の意味は以下のとおりです。



B000001_20230730_QR1.png

B	玄米
W	精米

サンプル No.

保存年月日
(2023 年 7 月 30 日)

選択 QR 番号

5 保守画面の操作

保守画面では、出力したデータの読み込み、マスターデータの出力と読み込み、バックアップが出来ます。

5.1 保守画面の表示

起動画面の保守を選択します。



表 5-1 各部名称

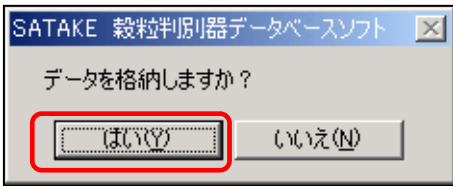
No.	名 称	機 能	参照
①	測定データ読み込み	データ出力した測定データを読み込み、現在のデータベースへ保存します。	P58
②	マスターデータ移動	マスターデータを移動(コピー)して、現在のマスターをバックアップします。	P59
③	マスターデータ読み込み	移動されたマスターデータを読み込み、現在のマスターへ保存します。	P60
④	バックアップ	全てのデータをコピーしてバックアップします。	P61

5.2 測定データ読み込み

一覧画面にある「データ出力」機能で出力した測定データ(画像含む)を読み込み、現在のデータベースの最後尾に連結して保存します。



表 5-2 各部名称

No.	名 称	機 能
①	フォルダ選択	データ読み込み先フォルダを選択します。「フォルダ選択」をクリックすると、読み込み先フォルダの選択画面が表示されるので、あらかじめデータ出力しているデータフォルダを選択してください。
②	読み込み	<p>選択した測定データを現在のデータベースへ読み込みます。データ読み込みの確認メッセージが表示されます。読み込みを実行する場合は、「はい」を選択してください。</p> 

補 足

- 既に保存されているデータと同一データ (ソフト No とサンプル No が一致するもの)と判断した測定データは読み込みません。
- データ読み込みを行う際には、ハードディスクの残り容量に注意してください。

5.3 マスターデータ移動

「マスターデータ移動」をクリックすると、マスターデータ移動画面が表示されます。

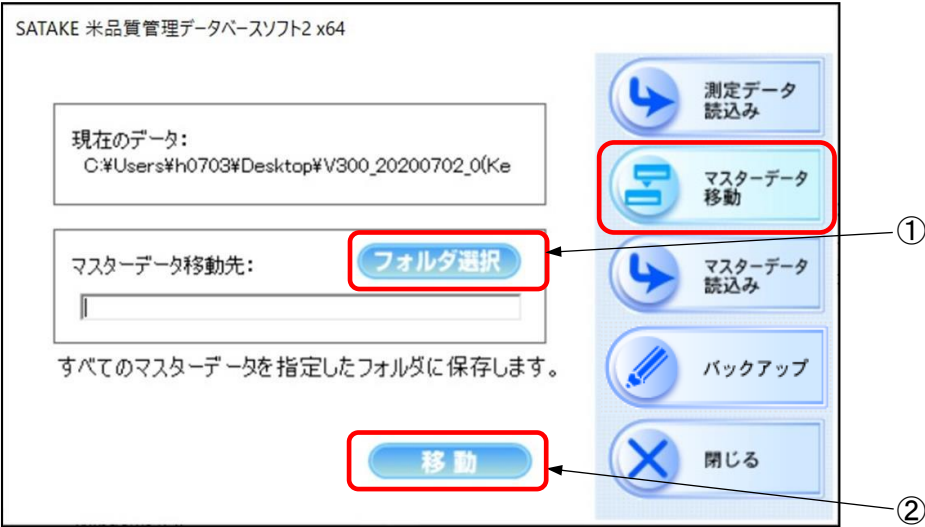


表 5-3 各部名称

No.	名 称	機 能
①	フォルダ選択	マスターデータ移動（コピー）先フォルダを選択します。
②	移動	フォルダ選択で移動（コピー）先として選択されたフォルダ内へマスターデータを移動します。

補 足

- 設定にてマスタ設定を行った場合は必ずマスターデータ移動を行ってください。作成したマスターデータを別途読み込みたい場合に、マスターデータ移動したマスターデータを読み込むことで別途使用することが出来ます。

5.4 マスターデータ読み込み

「マスターデータ読み込み」 をクリックするとマスターデータ読み込み画面が表示されます。



表 5-4 各部名称

No.	名 称	機 能
①	フォルダ選択	マスターデータ読み込み先フォルダを選択します。
②	読み込み	フォルダ選択で読み込み先として選択されたフォルダ内のマスターデータを現在のマスターデータベースへ読み込みます。

補 足

- 設定にてマスタ設定を行った場合は必ずマスターデータ移動を行ってください。作成したマスターデータを別途読み込みたい場合に、マスターデータ移動したマスターデータを読み込むことで別途使用することが出来ます。

5.5 バックアップ

「バックアップ」をクリックすると、バックアップ画面が表示されます。

測定データ及びマスターデータ全てをコピーして、バックアップします。

通常インストール先を変更していない場合は、C:\¥RQCD100¥DATA フォルダに測定データ及びマスターデータが保存されています。DATA フォルダをコピーしてバックアップを行います。バックアップを行ったフォルダは『設定-保存設定-データベース読込フォルダの変更』にて、データを切り替えることが可能です。データ数が増えると、データの読み込みに時間がかかるようになります。年度毎に本バックアップを行い、データ削除して使用することをお勧めいたします。



保守画面の操作

表 5-5 各部名称

No.	名 称	機 能
①	フォルダ選択	バックアップ先のフォルダを選択します。「フォルダ選択」をクリックすると、フォルダの選択画面が表示されるので、バックアップ先の空のフォルダを選択してください。
②	バックアップ	バックアップ元からバックアップ先へコピーを行います。「バックアップ」をクリックすると、保存の確認メッセージが表示されます。バックアップを実行する場合は「はい」を選択してください。

補 足

- バックアップを行う場合は、コピー先に十分なハードディスク容量があることを確認してください。コピーするサイズはバックアップ元の DATA フォルダを参照してください。

6 測定画面の操作

うるち玄米、うるち精米、醸造用玄米、その他測定共に基本的な操作は同じです。以後の基本的な説明は、米品質管理データベースソフト 2+の「うるち玄米測定」を例として行います。

6.1 測定方法について

- (1) ソフトウェア起動後「うるち玄米測定」をクリックします。



- (2) 穀粒判別器本体のモードと対応した円盤かを確認し、また米粒食味計本体のモードを確認し「OK」をクリックします。



「玄米搬送円盤」と記載

- (3) 「測定レコード作成」をクリックし、空の保存領域（測定レコード）をデータベースに作成します。

補 足

- インストール直後は「測定レコード作成」をクリックしないと測定出来ません。
- 新規の測定レコードを作成していない場合は、上書き測定となります。

- (4) サンプル詳細欄へ測定するサンプルの詳細な情報を入力することでデータの管理が出来、保存された測定データの検索が容易になります。(P69「6.5 サンプル詳細欄」参照)

ここにサンプルの詳細情報を入力します。

- (5) 測定を開始します。米鑑定ユニット・穀粒判別器と米粒食味計両方を測定する場合、まず最初に「食味計測定」をクリックし、次に「米鑑定ユニット測定」もしくは「穀粒判別器測定」をクリックします。どちらか1機種だけの場合は、対応する測定ボタンをクリックしてください。

取扱注意

- 必ず「食味計測定」→「米鑑定ユニット測定」もしくは「穀粒判別器測定」の順番で測定を開始してください。「米鑑定ユニット測定」もしくは「穀粒判別器測定」を先にクリックした場合、「食味計測定」がクリック出来なくなります。

The screenshot shows the SATAKE software interface for rice measurement. On the right side, there are two buttons: '食味計測定 (F5)' and '米鑑定ユニット測定 (F2)'. These buttons are highlighted with red boxes and numbered 1 and 2 respectively. The interface also displays various measurement parameters and a histogram of grain length distribution.

- ①「食味計測定」
②「米鑑定ユニット測定」
もしくは、
「穀粒判別器測定」

の順でクリック

補 足

- マウスでクリックするかわりに、キーボードでも以下ボタンで運転操作できます。

F5 : 食味計測定

F2 : 米鑑定ユニット測定・穀粒判別器測定

- (6) 測定データの保存が完了すると、測定結果が表示されます。



6.2 測定結果画面

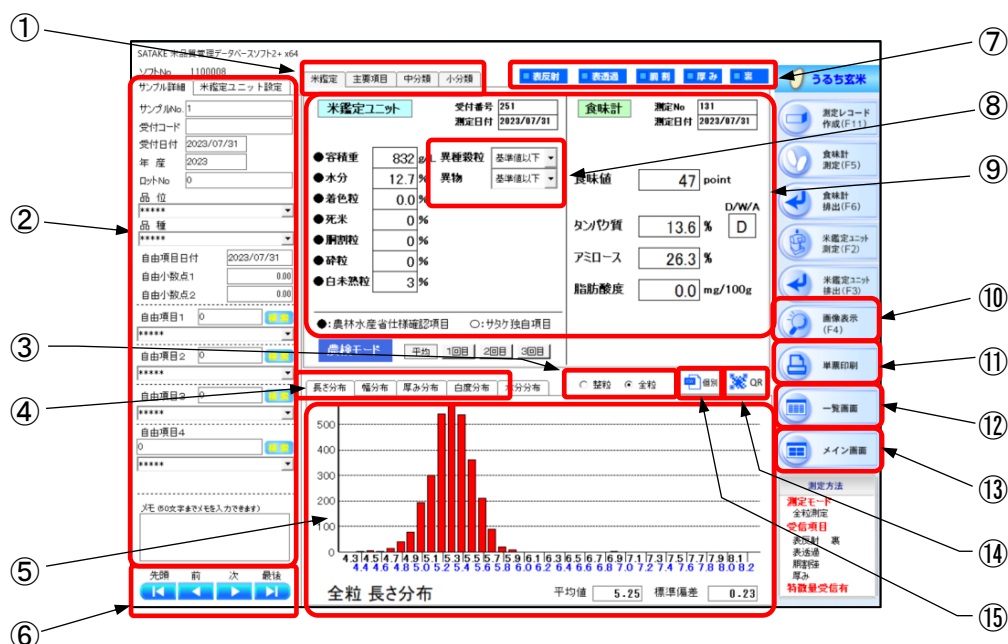


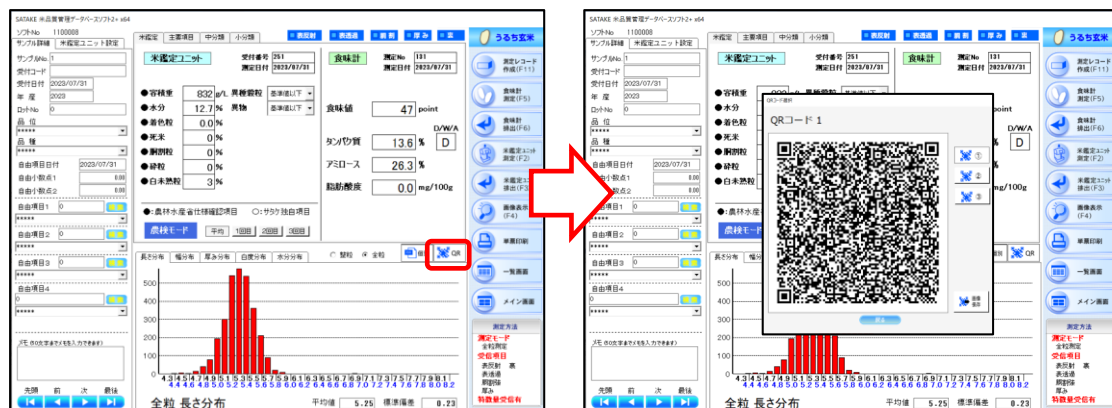
表 6-1 各部名称

No.	名 称	機 能	参照
①	表示分類切換えタブ	米鑑定ユニット、穀粒判別器の分類を切替えることが出来ます。 「米鑑定」のタブは米品質管理データベースソフト 2+の場合のみ表示されます。	
②	サンプル詳細欄	「サンプル詳細」、「米鑑定ユニット設定」、「穀粒判別器設定」のタブを選択します。	P69
③	整粒・全粒切替え	「整粒」もしくは「全粒」の分布グラフに切替え出来ます。	
④	ヒストグラム切替えタグ	表示するグラフを切替えることが出来ます。	
⑤	ヒストグラム	以下接続機器で測定した項目の分布グラフが表示されます。 米鑑定ユニット：水分 穀粒判別器：長さ、幅、厚み、白度	
⑥	履歴移動ボタン	保存した測定結果を順次表示することが出来ます。	P68
⑦	保存画像の種類	保存画像の種類を表示します。	
⑧	異種穀粒・異物のドロップダウンリスト	「異種穀粒」、「異物」の目視鑑定を選択入力します。 「空欄」、「基準値以下」、「基準値超過」の中から選択できます。 米品質管理データベースソフト 2+の場合のみ表示されます。	

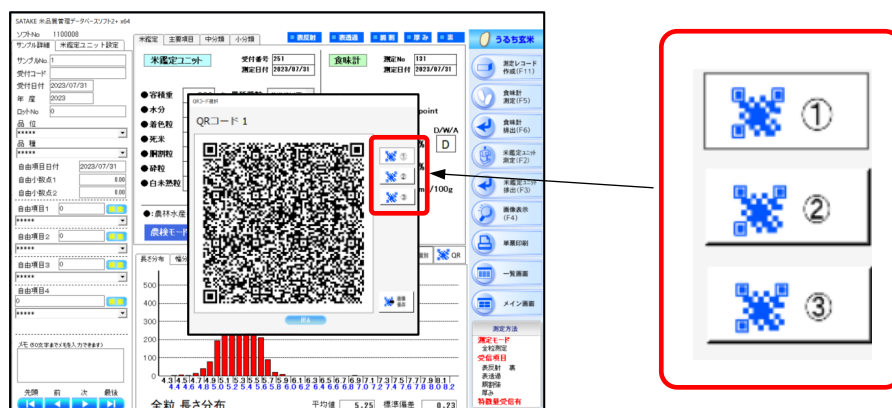
No.	名 称	機 能	参照
⑨	測定結果	米品質管理データベースソフト 2+ : 米鑑定ユニット及び食味計の測定結果が表示されます。 米品質管理データベースソフト 2 : 穀粒判別器及び米粒食味計の測定結果が表示されます。	-
⑩	「画像表示」 ボタン	保存した画像が表示されます。	P77
⑪	「単票印刷」 ボタン	測定結果の単票印刷画面が表示され、印刷することが出来ます。	P82
⑫	「一覧画面」 ボタン	測定結果の一覧表示をするための絞り込みの画面に移動します。	P84
⑬	「メイン画面」 ボタン	起動画面に移動します。	-
⑭	QR コードの 表示ボタン	QR コードの表示画面を開くことが出来ます。	P32 P67
⑮	CSV 個別データ の出力ボタン	うるち玄米・うるち精米では CSV 個別データの保存が出来ます。	P50

6.3 QR コードの表示ボタン

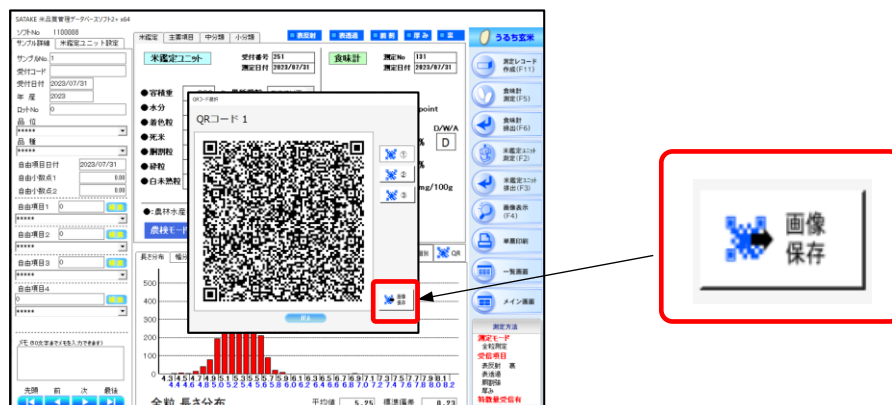
- (1) クリックすると、「表示設定 2」の「QR コードの表示と表示項目」で設定した QR コード選択画面が開きます。



- (2) QR コード 1、QR コード 2、QR コード 3 のボタンをクリックすることで QR コードを切り替えることができます。



- (3) 選択している QR コードを予め設定した保存場所に保存することが出来ます。(P55「4.7.4 QR コード画像保存」参照。) また、この画面で選択した QR コードを単票印刷で印刷します。



6.4 履歴移動ボタン

保存した測定結果を順次表示することが出来ます。

The screenshot shows the SATAKE software interface. The sidebar on the right contains buttons for '測定記録作成 (F11)', '食味計測定 (F5)', '食味計抽出 (F6)', '米鑑定ユニット測定 (F2)', '米鑑定ユニット抽出 (F3)', '画像表示 (F4)', '履歴印刷', '一覧画面', and 'メイン画面'. The main area displays various measurement data for '米鑑定ユニット' (Rice Quality Unit). A red box highlights the '履歴移動' (History Movement) buttons at the bottom left of the main area, which are labeled '先頭' (First), '前' (Previous), '次' (Next), and '最後' (Last).

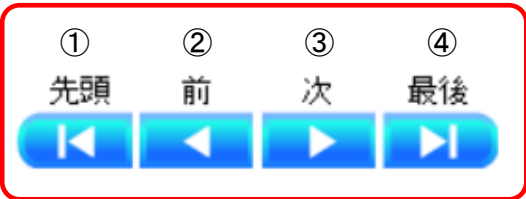


表 6-2 各部名称

No.	名 称	機 能
①	先頭	最初に保存した測定結果を表示します。
②	前	表示測定結果の前の結果を表示します。
③	次	表示測定結果の次の結果を表示します。
④	最後	最後に保存した測定結果を表示します。

6.5 サンプル詳細欄

サンプル詳細欄へ測定するサンプルの詳細な情報を入力することで、データの管理が出来、保存された測定データの検索が容易になります。

The screenshot displays the 'Sample Details' (サンプル詳細) tab. It includes fields for sample number, delivery code, date, year, lot number, and grade. A table shows grain analysis results for various parameters like weight ratio, grain ratio, and grain count. A histogram at the bottom shows the distribution of grain length (全粒 長さ分布) with a mean of 5.84 and a standard deviation of 0.28.

尚、表示されるタブは、以下のようにご使用されるソフトウェアにより異なります。

Three screenshots showing different tabs available in the software interface:

- ① サンプル詳細 (Sample Details): Shows sample information input fields.
- ② 穀粒判別器設定 (Grain Discriminator Settings): Shows settings for grain analysis, including measurement mode, measurement time, and communication settings.
- ③ 米鑑定ユニット設定 (Rice Identification Unit Settings): Shows settings for rice identification, including measurement mode and communication settings.

測定画面の操作

表 6-3 表示されるタブとソフトウェア

No.	表示されるタブ	ご使用のソフトウェア
①	サンプル詳細	米品質管理データベースソフト 2 米品質管理データベースソフト 2+
②	穀粒判別器設定	米品質管理データベースソフト 2 米品質管理データベースソフト 2+
③	米鑑定ユニット設定	米品質管理データベースソフト 2+

6.5.1 サンプル詳細

「サンプル詳細」タブをクリックして、サンプル詳細欄を表示させます。

The screenshot shows a web form titled 'サンプル詳細' (Sample Details) with a sub-tab '穀粒判別器設定' (Grain Discriminator Settings). The form contains the following fields and callouts:

- ①: サンプルNo. (Sample No.)
- ②: 受付コード (Reception Code)
- ③: 受付日付 (Reception Date)
- ④: 年 産 (Year of Production)
- ⑤: ロットNo. (Lot No.)
- ⑥: 品 位 (Grade)
- ⑦: 品 種 (Variety)
- ⑧: 自由項目日付 (Free Item Date)
- ⑨: 自由小数点1 (Free Decimal 1)
- ⑨: 自由小数点2 (Free Decimal 2)
- ⑩: 自由項目1 (Free Item 1)
- ⑩: 自由項目2 (Free Item 2)
- ⑩: 自由項目3 (Free Item 3)
- ⑩: 自由項目4 (Free Item 4)
- ⑪: メモ (Memo)

表 6-4 各部名称

No.	名 称	機 能
①	サンプル No	【データ入力不可】測定レコード作成時に、自動的に番号が割り振られます。重複しない番号が割り振られます。削除したデータの番号は欠番となります。
②	受付コード	<p>【12桁の数値入力が可能】穀粒判別器本体の受付コードを保存し、表示します。手入力も可能です。</p> <p>注意）穀粒判別器から受付コードを受信する場合は測定画面の「穀粒判別器設定」タブの通信設定「受付コードを受信する」にチェックを入れる必要があります。</p>
③	受付日付	<p>【年月日データの入力が可能】測定サンプルの受付日付、または測定データ受信日付を入力します。※最新レコードの受付日付の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。</p>

No.	名 称	機 能
④	年産	【4 桁の数値入力が可能】測定サンプルの生産年度を入力します。 ※最新レコードの年産の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。
⑤	ロット No	【9 桁の数値入力が可能】測定サンプルのロット No を入力します。 ※最新レコードのロット No の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。
⑥	品位	【マスター設定により 5 文字のテキストの入力が可能】測定サンプルの品位を選択します。 ※最新レコードの品位の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。
⑦	品種	【マスター設定により 10 文字のテキストの入力が可能】測定サンプルの品種名を選択します。 ※最新レコードの品種の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。
⑧	自由項目日付	【年月日データの入力が可能】ユーザーが自由な項目で日付を設定出来ます。 ※最新レコードの自由項目日付の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。
⑨	自由小数点 1～2	【整数部分 4 桁、小数部分 2 桁の数値入力が可能】ユーザーが自由な項目で数値を設定出来ます。(使用例：別途計測した水分値を入力) ※最新レコードの自由小数点の内容を「測定レコード作成」で次のレコードに引き継ぎます。
⑩	自由項目 1～4	【マスター設定により自由項目 1～3 は 13 文字、自由項目 4 は 20 文字のテキストの入力が可能】入力する項目をユーザーが自由に設定出来ます。
⑪	メモ	【50 文字のテキストの入力が可能】ユーザーが自由にテキストを入力出来ます。

6.5.2 穀粒判別器設定／米鑑定ユニット設定

- 穀粒判別器と通信設定をしている場合、「穀粒判別器設定」タブをクリックして、サンプルの測定方法を設定します。
- 米鑑定米鑑定ユニットと通信設定をしている場合、「米鑑定ユニット設定」タブをクリックして、サンプルの測定方法を設定します。

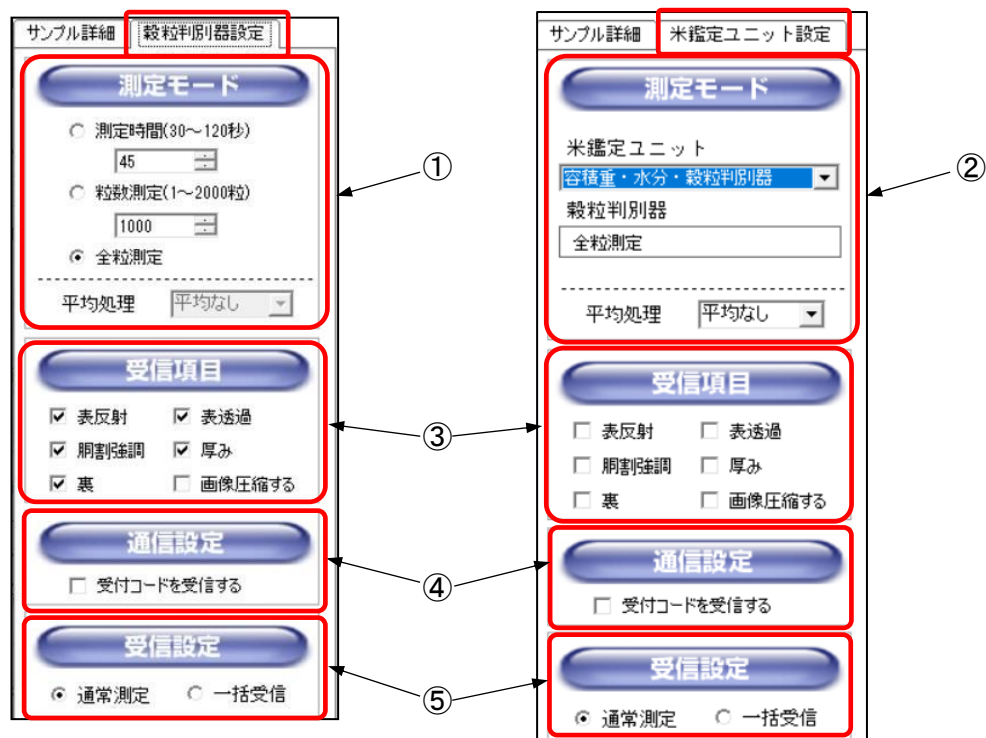


図 6-1 穀粒判別器と通信

図 6-2 米鑑定ユニットと通信

表 6-5 各部名称

No.	名 称	機 能	参照
①	測定モード (穀粒判別器と通信)	穀粒判別器のサンプル測定方法に関する設定を変更します。	P73
②	測定モード (米鑑定ユニットと通信)	米鑑定ユニットのサンプル測定方法に関する設定を変更します。	P74
③	受信項目	穀粒判別器より受信する画像の種類を選択出来ます。	P75
④	通信設定	穀粒判別器より受付コードを受信するか選択できます。	P76
⑤	受信設定	測定データの受信方法を「通常測定」・「一括受信」の2つのモードより選択することが出来ます。	P76

6.5.2.1 測定モード（穀粒判別器と通信）

穀粒判別器のサンプル測定方法に関する設定を変更します。

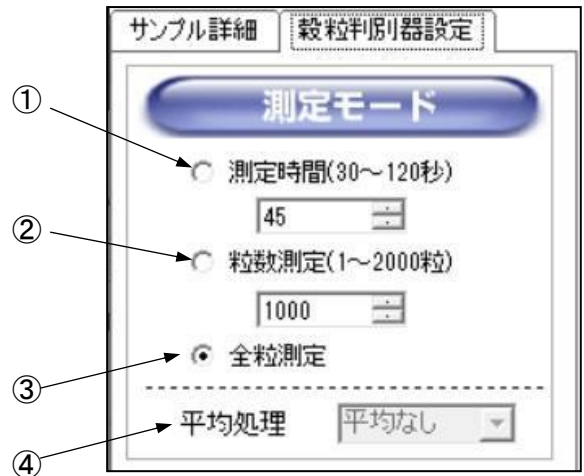


表 6-6 各部名称

No.	名 称	機 能
①	測定時間	設定した時間経過するかサンプルが無くなると測定を終了します。
②	粒数測定	設定した粒数に達するかサンプルが無くなると測定を終了します。 下記③全粒測定との違いは、粒数が足りなかった場合エラーになり、測定結果が保存されません。
③	全粒測定	設定した粒数に達するかサンプルが無くなると測定を終了します。 粒数の設定は本体で行ってください。 設定を変更して、測定を開始することで、穀粒判別器本体の設定も変更されます。
④	平均処理	平均 3 回:1つのレコード内で 3 回測定することが可能になります。 平均 2 回:1つのレコード内で 2 回測定することが可能になります。 平均なし: 1 回測定です。

測定画面の操作

補 足

- 重量比・粒数比は平均値で保存されます。
- 粒数・測定粒数・統計情報は積算値で保存されます。
- 画像は保存する設定にしていれば測定回数分保存が出来ます。
- 測定(平均)回数が設定した上限に達した場合、そのレコードで測定ボタンをクリックすると上書き測定に切り替わります。

6.5.2.2 測定モード（米鑑定ユニットと通信）

米鑑定ユニットのサンプル測定方法に関する設定を変更します。

① 米鑑定ユニット
容積重・水分・穀粒判別器

② 穀粒判別器
全粒測定

③ 平均処理
平均なし

表 6-7 各部名称

No.	名 称	機 能	
①	米鑑定ユニット	測定組合せを下記の中から選択します。	
		項 目	説 明
		容積重・水分・穀粒判別器	左記の 3 測定器で測定します。
		容積重・水分	左記の 2 測定器で測定します。併せて穀粒判別器の供給口から排出があります。
		容積重・穀粒判別器	左記の 2 種類で測定します。併せて水分計の受箱に排出があります。
		容積重	容積重の測定をします。併せて穀粒判別器の供給口、水分計の受箱に排出があります。
		水分	水分の測定をします。測定開始後、米鑑定ユニットの画面表示に従って測定します。
		容積重・水分・穀粒判別器（少量）	左記の 3 測定器で少量のサンプルを使って繰り返し測定します。測定開始後、米鑑定ユニットの画面表示に従って測定します。
②	穀粒判別器	米鑑定ユニットの仕様により、「全粒測定」に固定されます。測定が 1000 粒に達するかサンプルが無くなると終了します。	
③	平均処理	平均 3 回：1 つのレコード内で 3 回測定することが可能になります。 平均 2 回：1 つのレコード内で 2 回測定することが可能になります。 平均なし：1 回測定です。	

6.5.2.3 受信項目設定

穀粒判別器より受信する画像の種類を選択出来ます。



表 6-8 各部名称

No.	名 称	機 能
①	表反射	サンプルを上側から撮像した反射画像です。
②	胴割強調	サンプルの胴割部分を強調した透過画像です。
③	裏	サンプルを裏側から撮像した反射画像です。
④	表透過	サンプルを上側から撮像した透過画像です。
⑤	厚み	サンプルを横面（厚み）から撮像した反射画像です。
⑥	画像圧縮する	チェックを入れると、選択した画像が全て圧縮された画像で保存されます。画像圧縮した場合、画像が少し荒くなりますが、データ容量が小さくなります。

測定画面の操作

補 足

- 画像データは非常にデータ容量が大きい為、ハードディスク容量等を考慮し必要な画像データのみ受信することをお勧めします。

6.5.2.4 通信設定

- 穀粒判別器より受付コードを受信する場合「受付コードを受信する」にチェックを入れてください。
- 米鑑定ユニットと通信の場合は、米鑑定ユニットに受付コードはないため、チェックを入れても受付コードは受信されません。



6.5.2.5 受信設定

測定データの受信方法を「通常測定」・「一括受信」の 2 つのモードより選択することが出来ます。使用したいモードをクリックします。



表 6-9 各部名称

No.	名 称	機 能
①	通常設定	本ソフトウェアから穀粒判別器／米鑑定ユニットへ測定命令を送信し測定データを受信する通常モードです。
②	一括受信	穀粒判別器／米鑑定ユニット内部に保存された測定データを、本ソフトウェア内へ一度に受信し保存します。現場などで取りためたデータを持ち帰って、一括で受信したい場合に使います。

補 足

- 本ソフトへ既に保存されているデータは受信されません。
- うるち玄米・うるち精米・醸造用玄米それぞれの一括受信機能を使用してください。種類の異なるデータは受信しません。

6.6 画像表示について

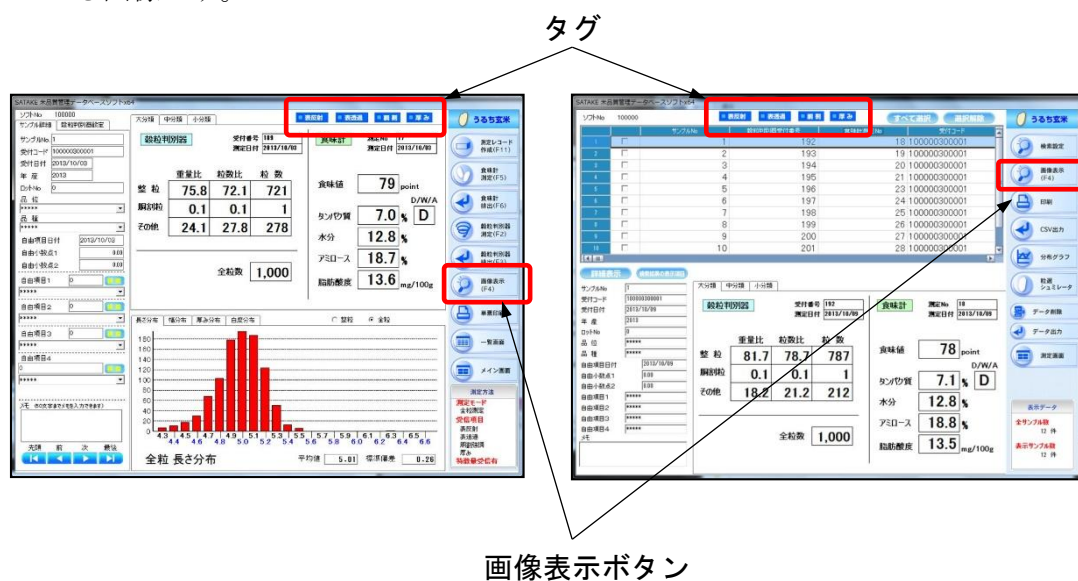
穀粒判別器から取得した米画像を表示することが出来ます。

補 足

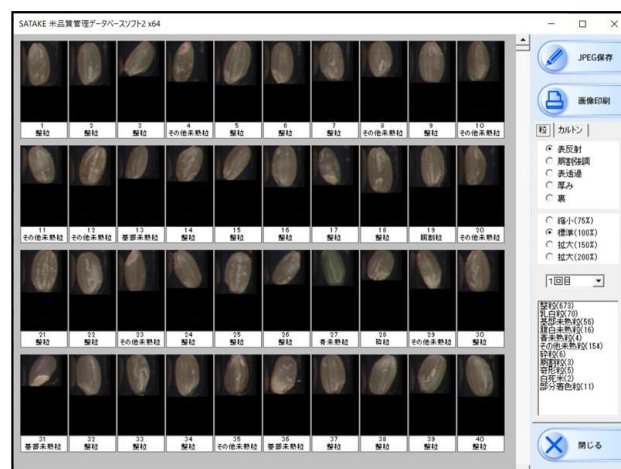
- 画像を表示するには、画像データを受信しておく必要があります。
- 受信画像の選択については、受信項目の設定を確認してください。

6.6.1 受信画像の表示

「画像表示」をクリックして、画像を表示します。画面上部にあるタグ表示が、保存されている画像です。



測定画面の操作



6.6.2 画像表示の機能

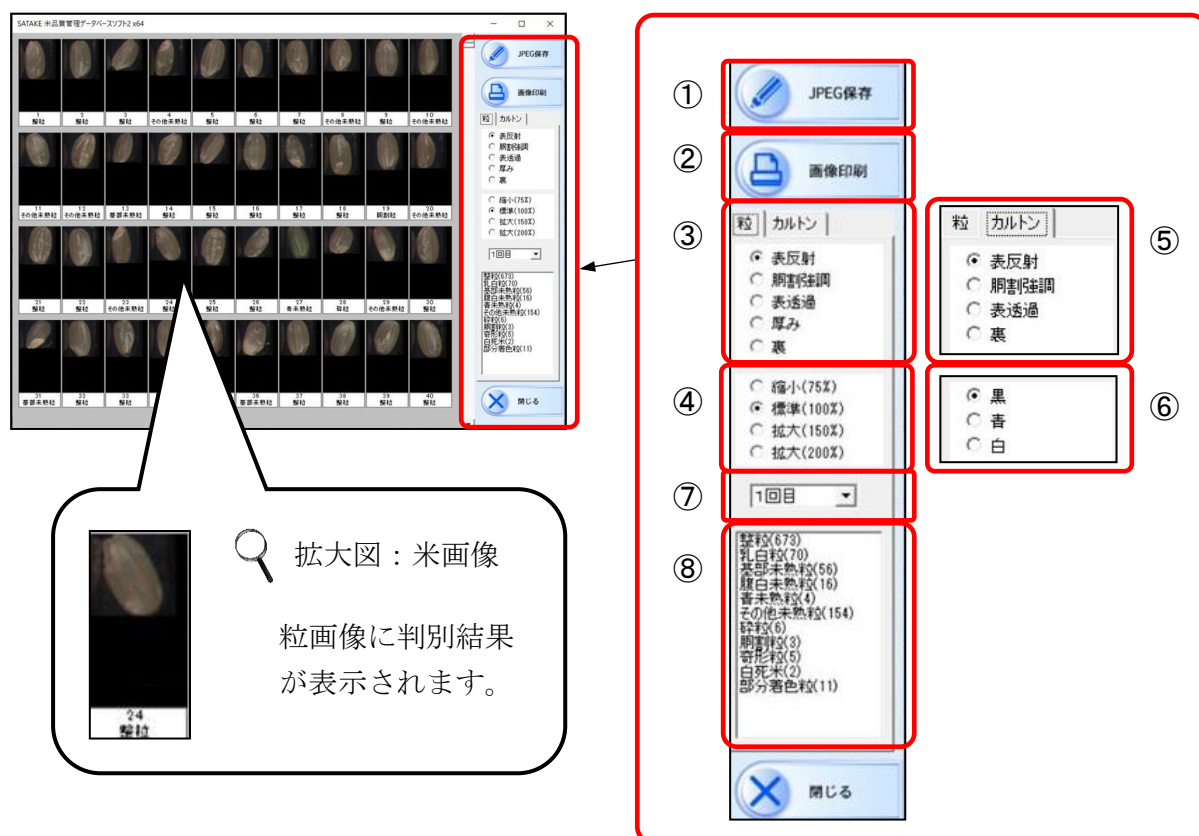


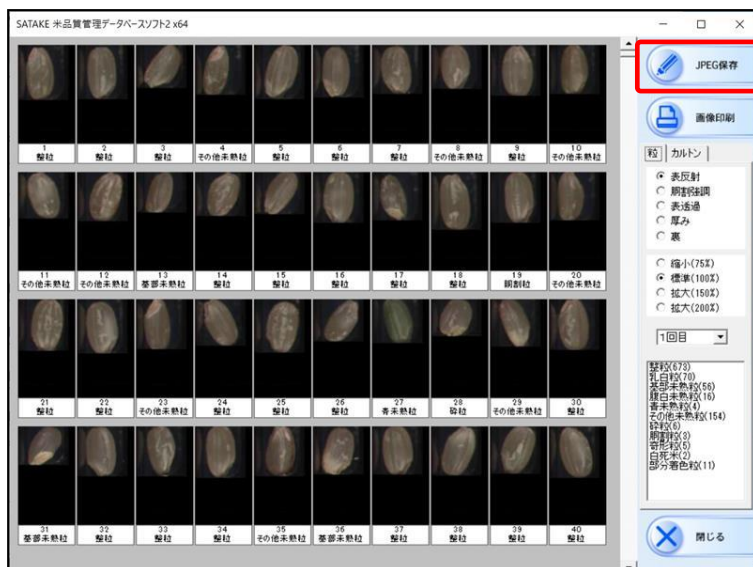
表 6-10 各部名称

No.	名 称	機 能	参照
①	JPEG 保存	表示中のサンプル画像を、JPEG ファイル（画像ファイル）として出力出来ます。	P79
②	画像印刷	A4 プリンターで印刷することができます。	P80
③	粒画像 種類変更	表示する画像の種類を選択します。表示する画像のチェックボックスへチェックを入れてください。	-
④	粒画像 表示倍率変更	表示する画像の倍率を変更出来ます。表示させる倍率のチェック欄へチェックを入れてください。	-
⑤	カルトン画像 種類変更	表示する画像の種類を選択します。表示する画像のチェックボックスへチェックを入れてください。	P81
⑥	カルトン画像 背景色変更	背景色を選択します。表示する色のチェックボックスへチェックを入れてください。	P81
⑦	粒画像／カルトン画像 平均測定時○回目の画像選択	平均測定時に画像保存していれば最大3回分の画像を保存し、○回目を選択して表示出来ます。	-
⑧	選択項目の画像表示	選択された分類の画像のみ画面内に表示されます。全ての選択を解除すると全粒画像が表示されます。	-

6.6.2.1 JPEG 保存

表示中のサンプル画像を、JPEG ファイル（画像ファイル）として出力出来ます。

- (1) 「JPEG 保存」をクリックします。



- (2) 保存先の選択画面が表示されるので、保存先を決定しファイル名を入力します。

- (3) 「保存」を選択します。



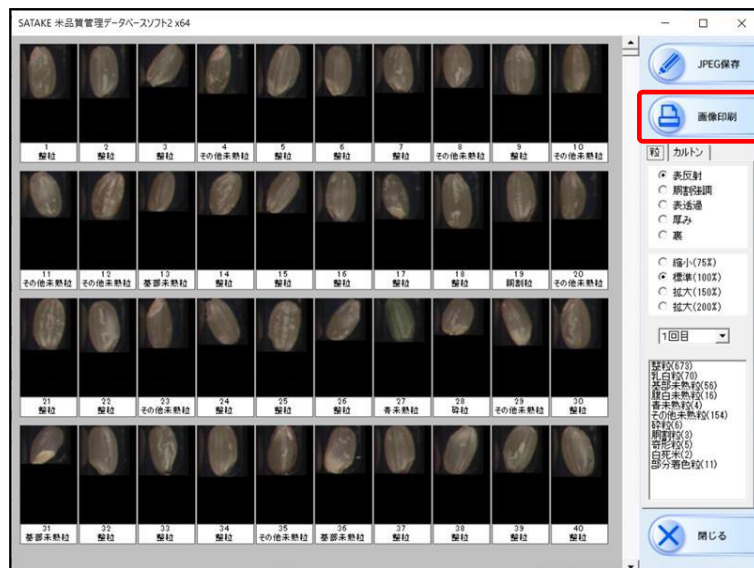
保存先

ファイル名

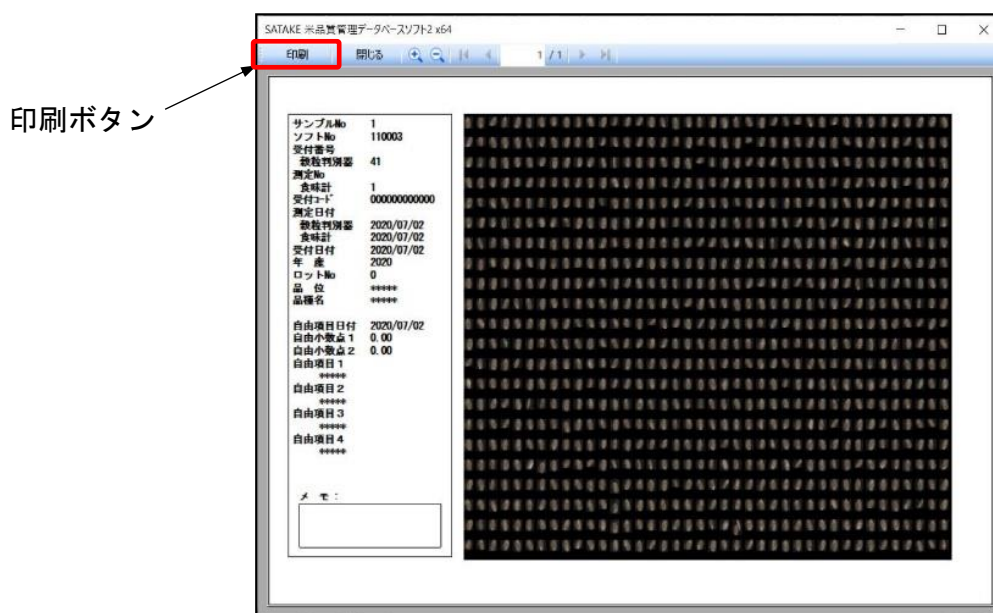
「保存」ボタン

6.6.2.2 画像印刷

- (1) 「画像印刷」 をクリックすると、全粒画像の印刷プレビューが表示されます。



- (2) 「印刷」 をクリックするとお客様の A4 プリンターで印刷することが可能です。

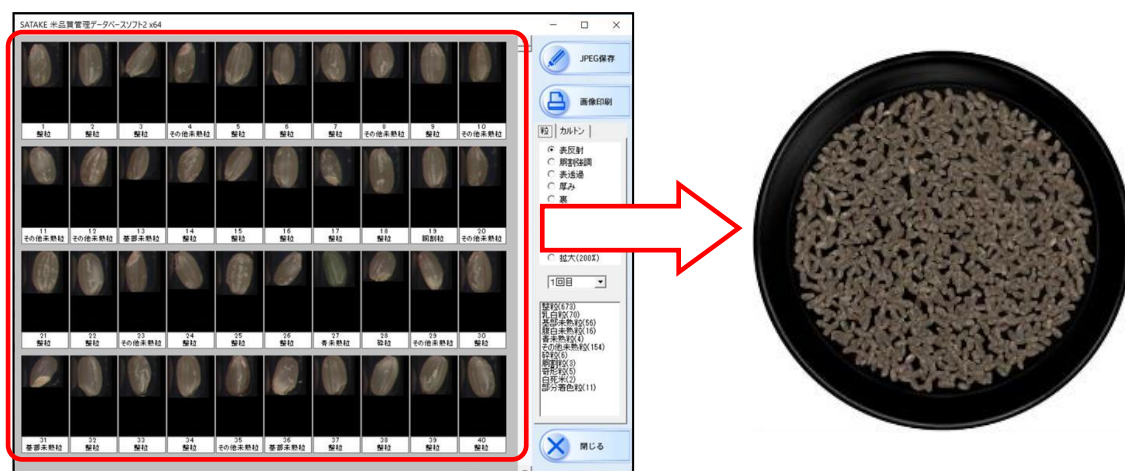


補 足

- 選択項目の画像表示機能と合わせて使用すると、必要な画像のみ JPEG ファイルに変換することができます。

6.6.2.3 カルトン画像

カルトン画像とは、粒画像をカルトンの画像の上に無造作に並びかえた画像です。穀粒判別器本体側で保存する設定にしている場合のみ保存・表示することが可能です。米鑑定ユニットに接続している穀粒判別器も同様に、穀粒判別器本体側で保存する設定にしている場合のみ保存・表示することができます。



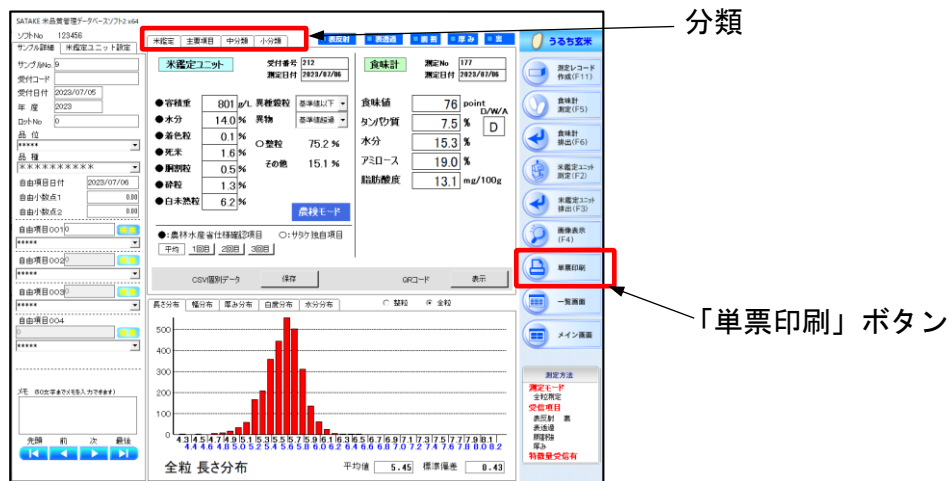
補 足

- 画像圧縮設定にしている場合は保存出来ません。対応する粒画像がない場合も保存出来ません。

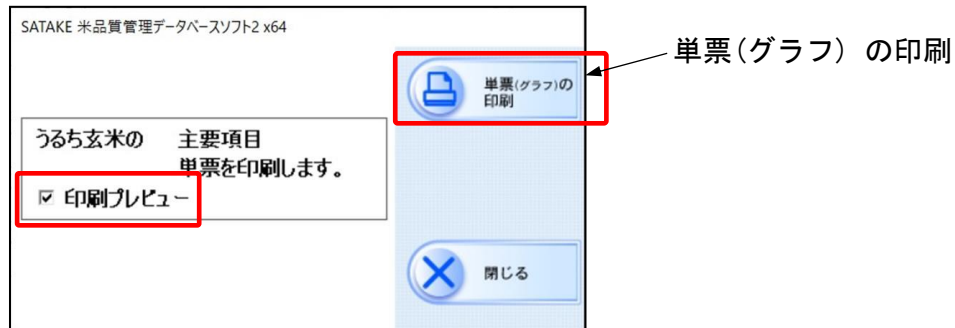
6.7 印刷(単票印刷について)

測定結果を印刷します。測定画面からの印刷は、選択した分類の単票印刷となります。

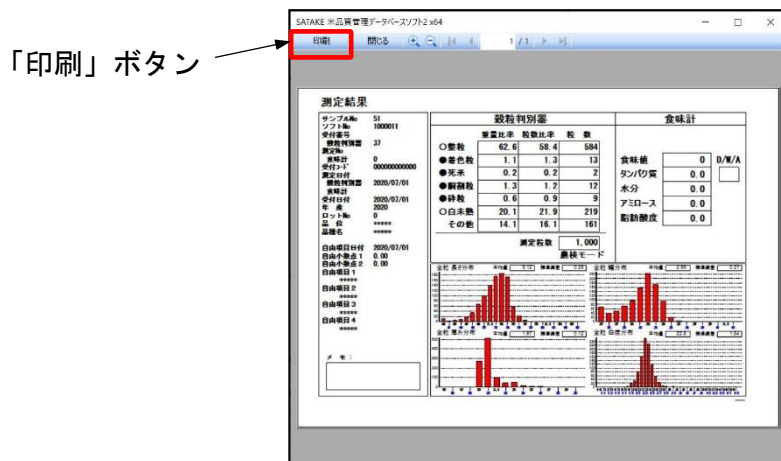
- (1) 印刷したい分類を選択し、「単票印刷」をクリックします。



- (2) ポップアップが立ち上がるので、「単票(グラフ) の印刷」をクリックします。
次ステップ(3)の印刷プレビューが不要であれば、「印刷プレビュー」にチェックを外してください。



- (3) プレビューが表示されます。「印刷」をクリックすると、表示内容の印刷を開始します。



【印刷内容】

印刷内容は接続している機器によって異なります。

表 6-11 穀粒判別器と接続している場合

No.	名 称	説 明
1	サンプル詳細欄	測定するサンプルの詳細な情報
2	測定分類	主、中、小分類
3	その他	長さ、幅、厚み、白度
4	QR コード	表示設定 2 にて QR コードの表示にチェックを入れている場合で、測定画面上の QR コードの表示で選択した QR コード

表 6-12 米鑑定ユニットと接続している場合

No.	名 称	説 明
1	サンプル詳細欄	測定するサンプルの詳細な情報
2	測定分類	米鑑定、主、中、小分類
3	その他	長さ、幅、厚み、白度、水分の内表示設定 2 の米鑑定ユニット表示項目で選んだ 4 項目の分布
4	QR コード	表示設定 2 にて QR コードの表示にチェックを入れている場合で、測定画面上の QR コードの表示で選択した QR コード

7 一覧画面の操作

(1) 測定画面の「一覧画面」ボタンをクリックします。



(2) 絞り込み「検索開始」ボタンをクリックすると、一覧画面が表示されます。



補 足

- 一覧画面に表示される測定データは、検索の条件で絞り込まれたデータです。
- 全ての測定データを表示していない場合があります。
- 絞り込みの設定をしていない場合は一覧画面に全件表示されます。

7.1 一覧画面

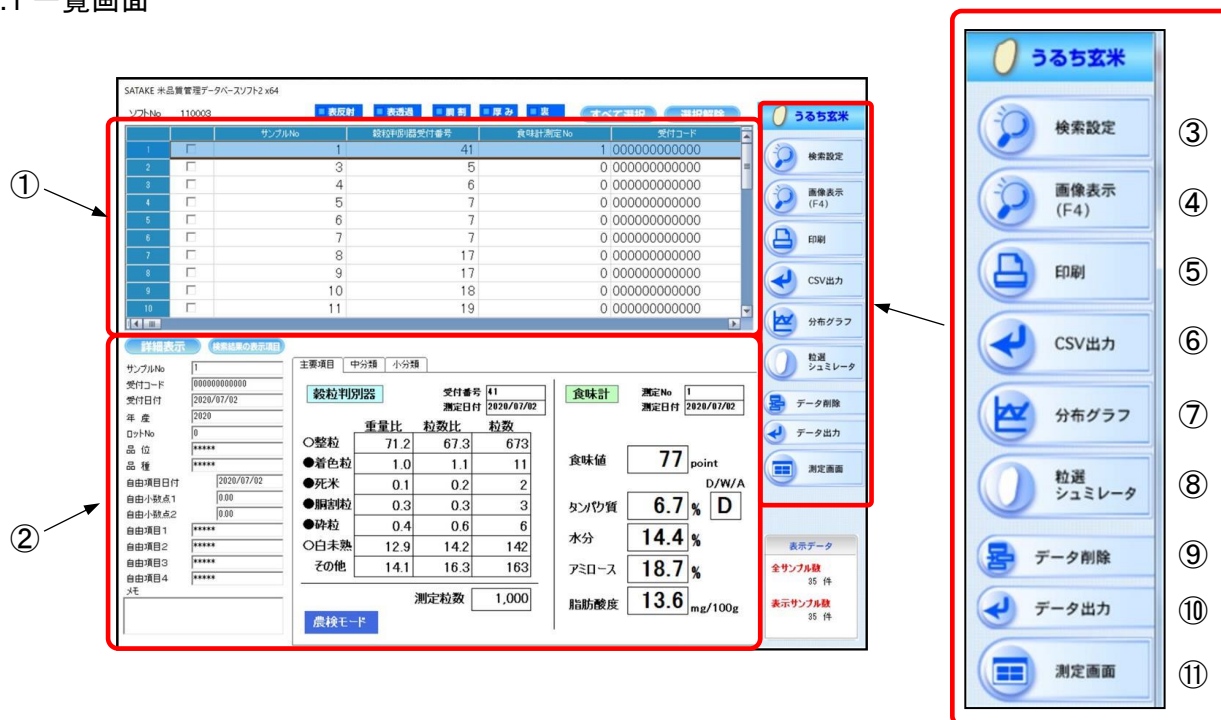


表 7-1 各部名称

No.	名 称	機 能	参照
①	測定データの一覧表示	検索された測定データが一覧に表示されます。	P85
②	測定データの 詳細表示	測定データを選択すると、選択された測定データが一覧画面下 に表示されます。	P85
③	検索設定	一覧へ表示する測定データの表示条件を設定する検索条件の画 面が表示されます。	P 88
④	画像表示	画像データが保存されている場合、画像が表示されます。	P90
⑤	印刷	選択した測定データの一覧、単票を連続で印刷します。	P91
⑥	CSV 出力	選択した測定データを Microsoft Excel 等の表計算ソフトで読 込める CSV 形式でファイル出力します。	P92
⑦	分布グラフ	選択した測定データを元に、測定分類毎の分布グラフを作成し、 結果を印刷出来ます。	P96
⑧	粒選シミュレ ータ	選択した測定データを元に、厚みデータを使用した粒選工程を シミュレートする分布グラフを作成し、結果を印刷出来ます。	P98
⑨	データ削除	選択した測定データの削除が出来ます。	P102
⑩	データ出力	選択した測定データのコピーが出来ます。	P103
⑪	測定画面	測定画面に戻ります。	-

7.1.1 測定データの選択方法

- (1) 確認したい測定データをクリックします。表示の色が反転し、画面下部に反転させたデータの詳細情報が表示されます。



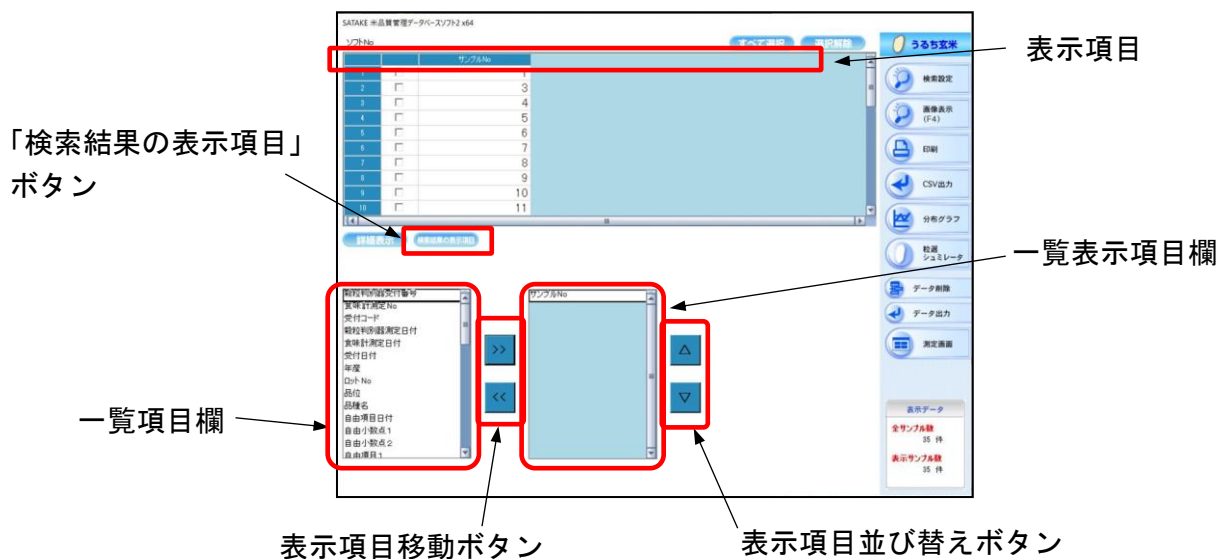
- (2) 一覧へ表示された測定データを元に、一覧コマンドにある機能を活用したい場合は、一覧画面上部にある「すべて選択」をクリックするか、一覧内左側にあるチェックボックスをクリックして、チェックを入れてください。





- (3) 印刷、CSV 出力、分布グラフ、粒選シミュレータ、データ削除、データ出力等の各機能は、ステップ(2)で選択された測定データに対して処理が行われます。

7.1.2 一覧項目の表示設定



一覧内の表示項目の並び、表示・非表示を変更することが出来ます。



【一覧項目の表示・非表示設定】

- (1) 表示したい項目を一覧項目欄より選択します。
- (2) 表示コマンドの  をクリックします。
- (3) 一覧表示欄に表示したい項目が追加されます。
- (4) 一覧表示項目欄より目的の項目を選択し、非表示  をクリックすると、一覧表示項目欄より削除されます。

【一覧項目の並び替え】

- (1) 一覧表示項目欄より並び替えたい項目をマウスで選択します。
- (2) 「表示項目並び替え」ボタンをクリックし、表示を並び替えます。
現在の項目位置よりも一覧の上側へ表示する場合は、 をクリックします。
現在の項目位置よりも一覧の下側へ表示する場合は、 をクリックします。

7.2 検索設定

検索条件には、ラベル（主にサンプル詳細ラベル項目）と詳細（主に測定データ項目）があります。「ラベル」ボタン／「詳細」ボタンを押すと、画面が切り替わります。

例）ここではラベルにて検索します。

- (1) 「検索設定」をクリックします。

The screenshot shows the SATRAE software interface. At the top, there are tabs for '検索設定' (Search Settings), '検索結果' (Search Results), 'ラベル' (Label), and '詳細' (Details). The '検索設定' tab is active. On the right side of the interface, there is a vertical toolbar with several icons. The top icon, labeled '検索設定' (Search Settings), is highlighted with a red box. An arrow points from the text '「検索設定」ボタン' to this icon.

- (2) 「ラベル」画面が表示されます。この画面で検索する際は、次のステップへ進んでください。

「詳細」画面で検索の場合は「詳細」ボタンをクリックし、「詳細」画面へ切り替えます。
「ラベル」ボタンをクリックすると、「ラベル」画面に戻ります。

The image consists of two side-by-side screenshots of the SATRAE software interface, connected by a large red double-headed arrow. The left screenshot shows the '詳細' (Details) button highlighted with a red box, with an arrow pointing to it from the text '「詳細」ボタン'. The right screenshot shows the 'ラベル' (Label) button highlighted with a red box, with an arrow pointing to it from the text '「ラベル」ボタン'. Both screenshots show the same interface with various search criteria and results displayed.

(3) 各検索条件の入力欄へ入力します。必ず左欄の数値を右欄の数値以下に設定してください。

例) サンプル No の 1 番から 400 番を検索する場合

検索条件入力画面のスクリーンショット。左側の検索条件入力欄で「サンプルNo」の項目が赤い枠で囲まれ、その値が「1 ~ 400」に設定されていることが示されています。右側には「検索開始」ボタンがあります。

(4) 検索条件に使用する項目には、各項目の左にあるチェックボックスをクリックしてチェックを入れてください。

「サンプルNo」の検索条件入力欄の拡大図。左側のチェックボックスがチェックされていることが確認できます。

(5) 検索条件を入力した後に、「検索開始」をクリックして、検索を実行してください。自動的に一覧画面へ移動し、検索条件に合った測定データが一覧に表示されます。検索条件が指定されていない場合は、全件を表示します。

検索開始ボタン

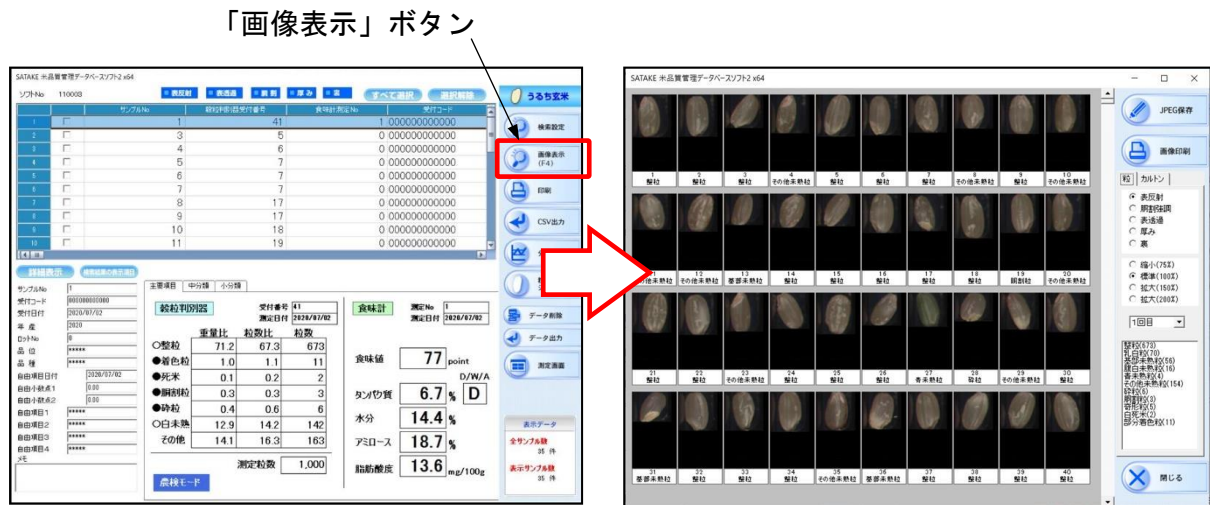
検索条件入力画面と検索結果画面のスクリーンショット。左側の画面では「検索開始」ボタンが赤い枠で囲まれ、右側の画面では検索結果が一覧表示されていることが確認できます。

サンプルNo	穀物判別測定番号	食味計測定No	受付コード
1	41	1	00000000000000
2	3	5	0 00000000000000
3	4	6	0 00000000000000
4	5	7	0 00000000000000
5	6	7	0 00000000000000
6	7	7	0 00000000000000
7	8	17	0 00000000000000
8	9	17	0 00000000000000
9	10	18	0 00000000000000
10	11	19	0 00000000000000

一覧画面の操作

7.3 画像表示

一覧で選択した測定データに画像が保存されている場合は、「画像表示」をクリックすると、画像が表示されます。



補 足

- 画像データの表示には、画像データを受信しておく必要があります。

7.4 印刷

(1) 印刷する測定データにチェックを入れ(1 データ以上)、「印刷」をクリックします。



(2) 印刷設定画面が表示されるので、以下項目を設定し、「印刷開始」をクリックします。



表 7-2 各部名称

No.	名 称	機 能
①	印刷モード	印刷形式を単票形式／一覧形式のどちらかに設定します。
②	分類	印刷分類データを、主要項目・中分類・小分類より選択します。
③	グラフ	ヒストグラムの集計方法を整粒・全粒より選択します。
④	比率	印刷分類データの表示を、重量比・粒数比・粒数より選択します。(一覧印刷のみ有効)
⑤	印刷プレビュー	チェックを入れると、印刷前に印刷プレビュー画面が表示されます。
⑥	印刷開始	印刷を開始します。

7.5 CSV 出力

測定データを CSV ファイル形式で出力することが出来ます。

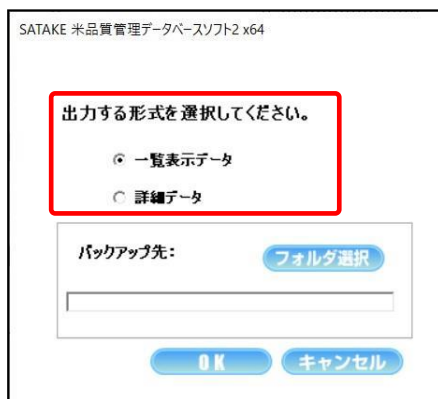
補 足

- CSV ファイルとは、値（数値やテキスト等）をコンマ（,）で区切ったテキストファイルのことを言います。
- 表計算ソフトで値の表示や編集を行うことができます。
- Microsoft Excel 等で CSV ファイルを読み込む場合は、一度 Microsoft Excel で CSV ファイルを認識させる必要があります。

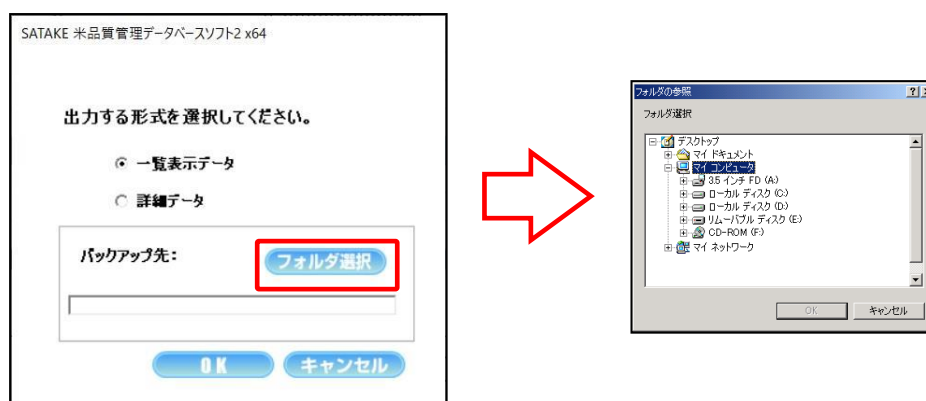
(1) CSV 出力する測定データにチェックを入れ(1 データ以上)、「CSV 出力」をクリックします。



(2) CSV 出力設定画面が表示されるので、出力形式を選択します。
詳細は P94 「7.5.1 CSV 出力設定」をご参照ください。



(3) 「フォルダ選択」 ボタンをクリックし、バックアップ先のフォルダを選択します。



(4) 「OK」 をクリックすると、CSV ファイルが出力されます。



補 足

- 複数の詳細データを出力する場合、データ容量及びファイル数が非常に多くなりますのでご注意ください。

7.5.1 CSV 出力設定

CSV ファイル出力の設定について説明します。

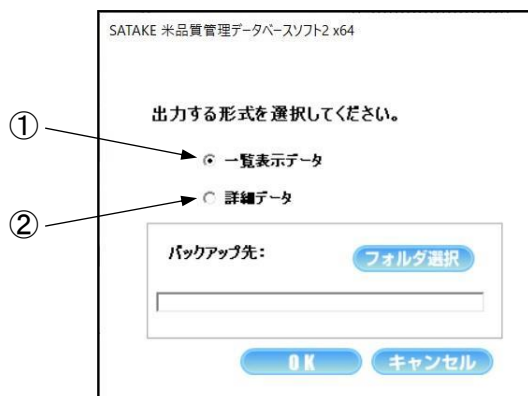


表 7-3 出力する形式

No.	名 称	機 能
①	一覧表示データ	<p>一覧で選択されたデータを、表示されている項目にて CSV ファイルで出力します。</p> <p>一覧で表示される項目や項目の並びを変更することで、より目的に合った CSV ファイルを出力出来ます。項目選択、並び変更は、「検索結果の表示項目」で出来ます。</p>
②	詳細データ	<p>以下の各データを測定サンプル 1 粒毎に CSV ファイルとして出力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ID (粒番号) ・ AreaU (表面積) ・ AreaS (横面積) ・ Length (長さ) ・ Width (幅) ・ Thick (厚み) ・ Hakudo (白度) ・ Volume (推定体積) ・ Aspect (縦横比) ・ Hanbetsu (判別結果) ※1

※1 判別結果 (Hanbetsu) は次ページの数値データとして出力されます。

表 7-4 玄米の判別番号と判別結果

判別番号	玄米判別結果
0,1,2,3	整粒
4,23	乳白粒
5,24	基部未熟粒
6,25	背腹白粒
7	青未熟粒
8	その他未熟粒
9	砕粒
10	胴割粒
11,12,13, 14,15,16, 17,18	その他被害粒
19	青死米
20	白死米
21	全面着色粒
22	部分着色粒
※23,24,25は白未熟粒	

表 7-5 精米の判別番号と判別結果

判別番号	精米判別結果
0,1	完全粒
2	胴割粒
3	全粉状質粒
4	半粉状質粒
5	背腹白粒
6	損傷粒
7	その他被害粒
8,9	部分着色粒
10	全面着色粒
11	砕粒
12	異種
13	異物

表 7-6 醸造用玄米の判別番号と判別結果

判別番号	醸玄判別結果
0,5	心白整粒
1,2,3,4	無心白整粒
6,7,9	心白その他未熟粒
8	青未熟粒
10	無心白その他未熟粒
11	砕粒
12	胴割粒
13,14,15, 16,17,18, 19,20	その他被害粒
21	青死米
22	白死米
23	全面着色粒
24	部分着色粒

7.6 分布グラフ

測定データを使用した分布グラフの作成と印刷が出来ます。

- (1) うるち玄米及び醸造用玄米分布グラフ作成可能項目
(分類項目は、重量比・粒数比の選択が可能です。)

穀粒判別器
整粒
胴割粒
未熟粒
被害粒
死米
着色粒

形状白度
長さ
幅
厚み
白度

食味計
食味値
アミロース
タンパク質
水分
脂肪酸度

- (2) うるち精米分布グラフ作成可能項目
(分類項目は、重量比・粒数比の選択が可能です。)

穀粒判別器
完全粒
碎粒
粉状質粒
被害粒
着色粒
異種・異物

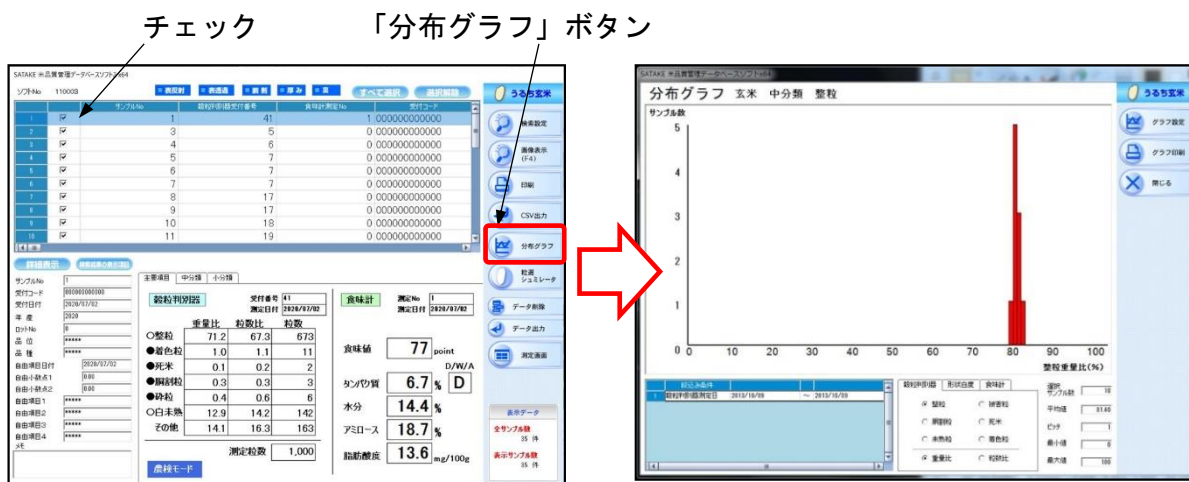
形状白度
長さ
幅
厚み
白度

食味計
食味値
アミロース
タンパク質
水分

※その他測定では、分布グラフの表示は出来ません。

7.6.1 分布グラフ画面

分布グラフ作成の測定データにチェックを入れ (1 データ以上)、「分布グラフ」をクリックすると、分布グラフ画面が表示されます。



7.6.2 分布グラフの操作

分布グラフの操作方法を説明します。

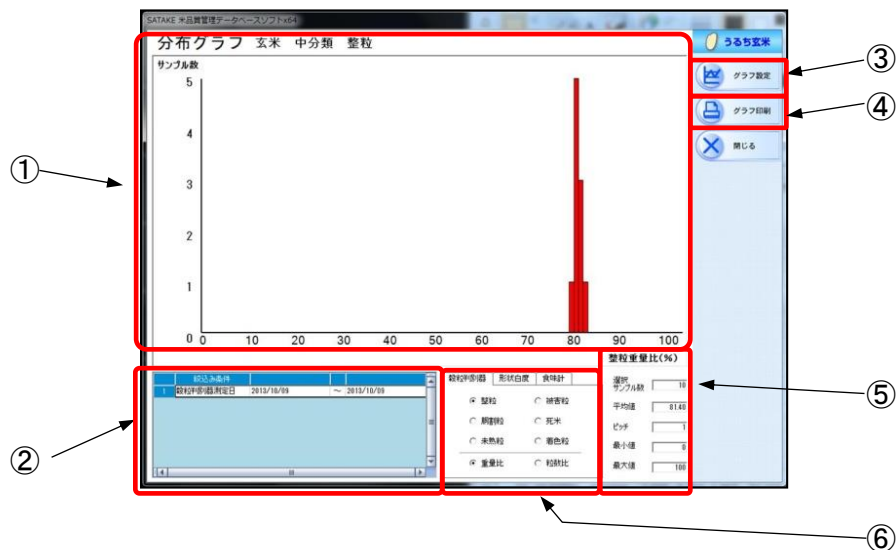


表 7-7 各部名称

No.	名 称	機 能
①	分布グラフ	選択された測定データの分布グラフです。
②	データの絞込条件	検索設定の検索条件が表示されます。
③	グラフ設定	<p>X 軸の最小値、最大値、ピッチを自由に設定出来ます。「グラフ設定」をクリックして、分布グラフ設定画面を表示させ、各項目を設定してください。設定値を元にグラフを作成します。</p> <div style="text-align: center;"> </div>
④	グラフ印刷	作成した分布グラフを印刷することが出来ます。「グラフ印刷」をクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。印刷を実行する場合は、印刷をクリックしてください。
⑤	分布グラフの表示情報	分布グラフの設定と、選択サンプル数、平均値が表示されます。
⑥	グラフ作成項目の選択	分布グラフを作成したい項目をクリックすると、選択された項目の分布グラフが作成されます。

7.7 粒選シミュレータ

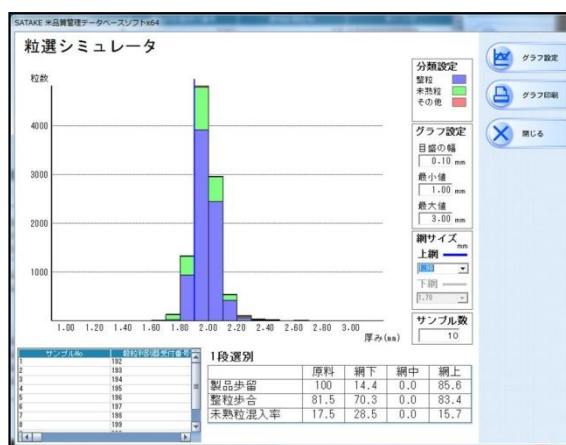
- (1) 粒選シミュレータでは、測定サンプルの厚み分布図の作成と、網選別を行った際の重量比を元にした製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率を網上、網中、網下でシミュレートします。
- (2) 厚みによる分布グラフを作成します。分布グラフはうるち玄米の場合、整粒、未熟粒、その他を厚み毎に粒数により表示します。
- (3) 選別する網の段数を設定出来ます。最大で2段階選別までシミュレーションが行え、網上、網中、網下の製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率が計算出来ます。

7.7.1 表示方法

- (1) 粒選シミュレータを作成する測定データにチェックを入れ(1 データ以上)、「粒選シミュレータ」をクリックします。



- (2) 粒選シミュレータ画面が表示されます。



7.7.2 粒選シミュレータ画面

粒選シミュレータの操作方法を説明します。

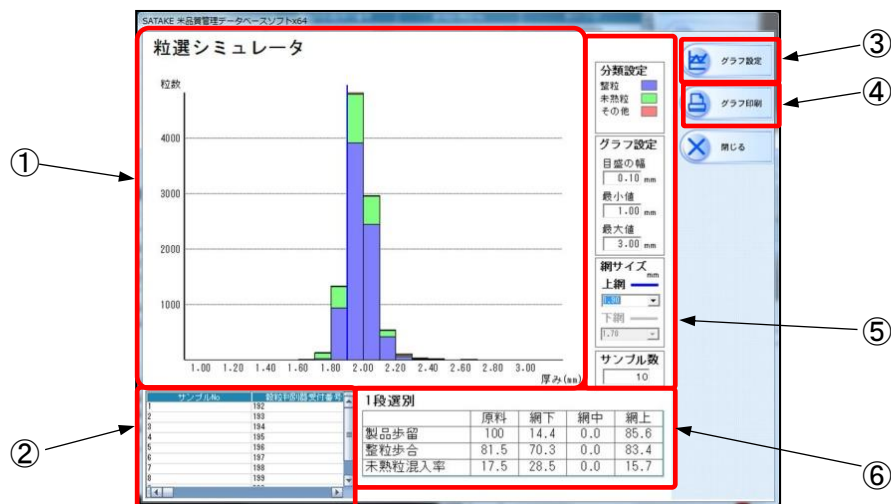


表 7-8 各部名称

No.	名 称	機 能	参照
①	分布グラフ	選択された測定データの厚み分布グラフが表示されます。	-
②	選択サンプル情報	選択サンプルが表示されます。	-
③	グラフ設定	粒選シミュレータに関する設定を変更出来ます。	P100
④	グラフ印刷	作成した分布グラフを印刷することが出来ます。「グラフ印刷」をクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。印刷を実行する場合は、印刷をクリックしてください。	-
⑤	網サイズ選択	選択網サイズで製品歩留、整粒歩留、未熟粒混入率をシミュレートします。	P100
⑥	シミュレーション結果表示	選択された網のサイズを元に、製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率を表示します。	P101

7.7.2.1 グラフ設定

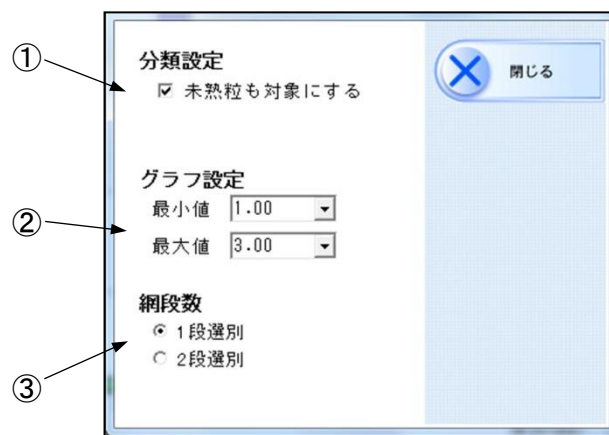

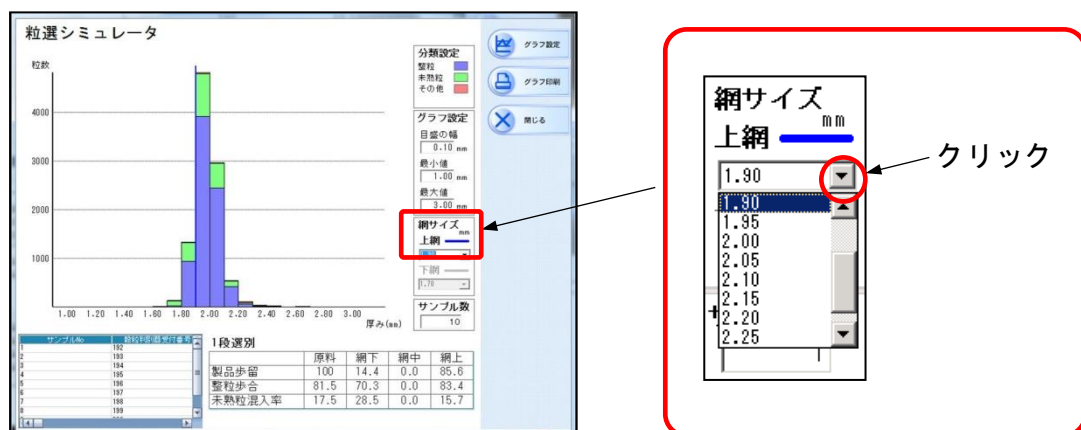


表 7-9 各部名称

No.	名 称	機 能
①	分類設定	分布グラフの未熟粒表示の設定をします。未熟粒を表示するには、チェックボックスをクリックして、チェックを入れてください。
②	グラフ設定	X 軸の最小値、最大値、ピッチを自由に設定出来ます。各項目設定後、設定値を元にグラフを作成します。
③	網段数設定	選別する網の段数を設定出来ます。2 段選別でシミュレートすると、網中の製品歩留、整粒歩留、未熟粒混入率が計算されます。

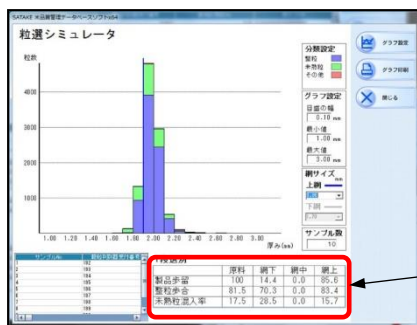
7.7.2.2 網サイズ選択

網サイズの  をクリックすると、網サイズのリストが表示されます。目的の網サイズを選択すると、選択網サイズでシミュレートします。



7.7.2.3 シミュレーション結果表示

選択された網のサイズを元に、製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率を表示します。



	原料	③ 網下	② 網中	① 網上
製品歩留	100	14.4	0.0	85.6
整粒歩合	81.5	70.3	0.0	83.4
未熟粒混入率	17.5	28.5	0.0	15.7

表 7-10 各部名称

No.	名 称	機 能
①	網上	選択された上網サイズ以上の厚みサンプル
②	網中	選択された下網サイズ以上～上網サイズ未満の厚みサンプル
③	網下	選択された下網サイズ未満の厚みサンプル

● 各項目の計算式

網上サンプルの計算式

製品歩留 = 網上サンプル重量 ÷ 全重量

整粒歩合 = 網上整粒重量 ÷ 網上サンプル重量

未熟粒混入率 = 網上未熟粒重量 ÷ 網上サンプル重量

補 足

- シミュレーション結果は、製品歩留、整粒歩合、未熟粒混入率を重量比で計算、表示します。

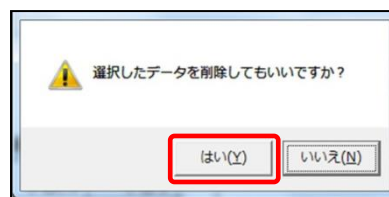
7.8 データ削除

一覧より選択されたデータの削除が行えます。

- (1) 削除する測定データにチェックを入れ(1 データ以上)、「データ削除」をクリックします。



- (2) データ削除の確認メッセージが表示されるので、データ削除を行う場合は「はい」を選択します。データ削除をやめる場合は「いいえ」を選択します。



補 足

- データ削除を行ったデータは、元に戻すことができません。
- データ削除を行う前に、一覧画面にあるデータ出力の実行をお勧めします。

7.9 データ出力

一覧より選択されたデータの出力（コピー）が行えます。測定データのバックアップとしてご利用ください。

- (1) 出力する測定データにチェックを入れ(1 データ以上)、「データ出力」をクリックします。



- (2) データ出力の設定画面が表示されます。「フォルダ選択」をクリックすると、出力先フォルダの選択画面が表示されるので設定し、「OK」を選択してください。



- (3) データ出力時の「画像データの出力」、「移動元データの削除」を設定します。画像データを出力する場合は、「画像データの出力」のチェックボタンをクリックして、チェックを入れてください。移動元データを削除する場合は、「移動元データの削除」のチェックボックスをクリックして、チェックを入れてください。設定後「OK」を押せば設定した保存先にデータが出力されます。



8 測定分類について

8.1 うるち玄米の測定分類

うるち玄米の主要項目・中分類・小分類の分類内容について説明します。中分類は小分類の各項目を合計した値が表示されます。

主要項目	小分類
整粒	整粒
胴割粒	胴割粒
着色粒	全面着色粒
	部分着色粒
碎粒	碎粒
死米	青死米
	白死米
白未熟粒	乳白粒
	基部未熟粒
	背腹白粒

中分類	小分類
整粒	整粒
胴割粒	胴割粒
未熟粒	乳白粒
	基部未熟粒
	背腹白粒
	青未熟粒
	その他未熟粒
被害粒	碎粒
	その他被害粒
死米	青死米
	白死米
着色粒	全面着色粒
	部分着色粒

8.2 うるち精米の測定分類

うるち精米の中分類・小分類の分類内容について説明します。中分類は小分類の各項目を合計した値が表示されます。

中分類	小分類
完全粒	完全粒
	胴割粒
着色粒	全面着色粒
	部分着色粒
被害粒 (着色粒含む)	損傷粒
	その他被害粒
	着色粒
砕粒	砕粒
粉状質粒	全粉状質粒
	半粉状質粒
	背・腹白粒
異種異物	異種
	異物

8.3 醸造用玄米の測定分類

醸造用玄米の大分類・中分類・小分類の分類内容について説明します。大分類、中分類は小分類の各項目を合計した値が表示されます。

大分類	中分類	小分類
整粒	整粒	心白整粒
		無心白整粒
胴割粒	胴割粒	胴割粒
その他	未熟粒	心白その他未熟粒
		青未熟粒
		無心白その他未熟粒
	被害粒	砕粒
		その他被害粒
	死米	青死米
		白死米
	着色粒	全面着色粒
		部分着色粒

※醸造用玄米はオプションです。

9 困ったときには (Q & A)

ソフトウェア使用時にトラブルが発生した場合の原因とその対処方法を紹介します。

Q1 本ソフトウェアが起動出来ない。

- A1 専用 USB メモリがパソコンに接続されていない可能性があります。本ソフトウェアに付属の USB メモリの接続を確認して、再度ソフトウェアを起動してください。
- A2 ソフトウェアが正常にインストール出来ていない可能性があります。本ソフトウェアを一旦アンインストールしてから、再度インストールしてください。
P3 「1.2.3 旧バージョンのアンインストール (バージョンアップ時)」 参照
P3 「1.2.4 米品質管理データベースソフト 2 / 2+のインストール」 参照
- A3 データベースが読み込めていない可能性があります。データの保存先を変更していないか確認してください。
P52 「4.7.2 データベースの読込フォルダの変更」 参照
- A4 USB メモリが破損している可能性があります。他のパソコンにて認識しない場合は最寄りの営業所に連絡してください。

Q2 穀粒判別器との通信が出来ない。

- A1 穀粒判別器の通信設定がされていない可能性があります。通信設定を確認して、再度設定を行ってください。
P8 「1.2.6 穀粒判別器 USB 通信ドライバーのインストール」 参照
P12 「1.2.7 穀粒判別器通信用 IP アドレスの設定」 参照
P21 「3.1 穀粒判別器シリアル通信設定」 参照
P22 「3.2 穀粒判別器本体の通信設定変更」 参照
- A2 新規レコード作成を行っていない可能性があります。測定画面にて新規レコード作成を行ってください。
P62 「6.1 測定方法について」 参照
- A3 穀粒判別器の電源が切れている、またはウォームアップ中の可能性があります。穀粒判別器の電源を入れ、ウォームアップ終了を待って、再度通信確認を行ってください。また穀粒判別器本体が測定画面ではない場合もしくはメッセージダイアログが表示されている場合は通信が出来ません。穀粒判別器の画面を確認してください。

- A4 穀粒判別器とパソコンが USB ケーブルで接続されていない可能性があります。穀粒判別器とパソコンを USB ケーブルで接続してください。穀粒判別器の再起動と USB ケーブルを抜き差しすることで通信が可能になることもあります。
- A5 USB ケーブルの断線・接触不良の可能性があります。別の USB ケーブルにて接続確認を行ってください。
- A6 穀粒判別器のドライバーが正しくインストールされていない可能性があります。穀粒判別器のドライバーを一旦アンインストールしてから、再度インストールしてください。
P8「1.2.6 穀粒判別器 USB 通信ドライバーのインストール」参照

Q3 米鑑定ユニットとの通信が出来ない。

- A1 本ソフトウェアの通信設定がされていない可能性があります。通信設定を確認して、再度設定を行ってください。
P14「1.2.8 米鑑定ユニット通信用 IP アドレスの設定」参照
P23「3.3 米鑑定ユニット通信設定（2+の場合）」参照
- A2 新規レコード作成を行っていない可能性があります。測定画面にて新規レコード作成を行ってください。
P62「6.1 測定方法について」参照
- A3 米鑑定ユニットの電源が切れている、またはウォームアップ及び点検待ちの可能性があります。米鑑定ユニットの電源を入れ、ウォームアップ及び点検終了後、再度通信確認を行ってください。また米鑑定ユニット本体が測定画面ではない場合もしくはメッセージダイアログが表示されている場合は通信が出来ません。米鑑定ユニットの画面を確認してください。
- A4 米鑑定ユニットとパソコンが LAN ケーブルで接続されていない可能性があります。米鑑定ユニットとパソコンを LAN ケーブルで接続してください。
P14「1.2.8 米鑑定ユニット通信用 IP アドレスの設定」参照
P23「3.3 米鑑定ユニット通信設定（2+の場合）」参照

Q4 米粒食味計との通信が出来ない。

- A1 PC 側の通信設定が正しく設定されていない可能性があります。通信設定を確認して、再度設定を行ってください。

P25「3.4 米粒食味計シリアル通信設定」参照

- A2 米粒食味計本体側の設定が正しく設定されていない可能性があります。設定を確認して、再度設定を行ってください。

P27「3.5 米粒食味計本体の通信設定変更」参照

- A3 USB シリアルコンバーターのドライバーがインストールされていない可能性があります。再度インストール手順を確認して、インストールしてください。

P16「1.2.9USB シリアルコンバータードライバーのインストール」参照

- A4 USB シリアルコンバーターの故障・RS232C ケーブルの断線・接触不良の可能性があります。別のケーブルにて接続を行ってください。

Q5 帳票の印刷が出来ない。

A1 プリンターとの接続・設定が正常に行われていない可能性があります。パソコンとプリンターの接続及びプリンターの設定を確認してください。Windows の

【コントロールパネル】⇒【プリンター設定】⇒【通常使うプリンター】

に設定されたプリンターで印刷されます。

Q6 データ受信に時間がかかる。

A1 ソフトウェアの動作環境を確認してください。パソコンのスペックを確認してください。画像受信設定にて、受信画像数を少なくしてください。

Q7 ソフトウェアの動作が不安定になる。

A1 ソフトウェアの動作環境を確認してください。パソコンのスペックを確認してください。

A2 パソコンの再起動を行って、再度操作を実行してください。本ソフトウェア以外のソフトウェアが起動している可能性があります他に起動しているソフトウェアを終了させてください。(常駐ソフトウェアを含む)

Q8 エラーが発生する。

A1 ソフトウェアの動作環境を確認してください。パソコンのスペックを確認してください。「ソフトウェアの動作が不安定になる」の項目も併せて確認してください。

→ 改善されない場合は、『エラー内容』・『エラーが発生する条件』・『お使いの PC の OS・CPU・メモリ・空き HDD 容量』を最寄りの営業所に連絡してください。

あらゆる PC 環境での確認は出来ておりませんので、環境によっては不具合が発生する可能性があります。対応にお時間をいただく可能性もございますがご了承ください。

Q9 本ソフトウェアの仕様が取扱説明書と異なる。

A1 本ソフトウェアのバージョンによっては、取扱説明書の内容と仕様が異なる場合があります。本ソフトウェアは、常に改善、修正を行っております。従って、予告無く仕様変更が発生する場合がありますが、ご了承ください。

困ったときには
(Q8A)